

<注意>

- ① 「2016 試用版ファイル」の各ファイルは、次のすべてのソフトで正常に作動します。
Microsoft Office Excel 2021 64ビット版
Microsoft Office Excel 2019 64ビット版
Microsoft Office Excel 2016 64ビット版

しかし、
Microsoft Office Excel 2021 32ビット版
Microsoft Office Excel 2019 32ビット版
Microsoft Office Excel 2016 32ビット版
では作動しません。
- ② 「2016 試用版ファイル」は、Windows 版上での Excel で作成したもので Mac 版上での Excel では正常に作動することは保証しかねます。また、ssd 搭載のパソコンでは、パーティションをおこない C,D の2つのドライブを割り当てないと登録して使用することはできません。
- ③ 「2016試用版ファイル」の各ファイルで、ファイルに組み込まれたマクロ機能を用いて、データーを次々変更しながら、印刷フォームの印刷範囲を PDF の添付ファイルとして該当者または該当組織にメール送信する処理を行う場合、お使いのパソコンには、必ず Microsoft の Outlook がインストールされている必要があります。
- ④ 「2016 試用版個別ファイル」の登録・ファイル名書き換え処理が完了した後、各ファイルを立ち上げると、立ち上げ画面に

<注意>

著作権法に基づき、このシステムを著作権者に無断で使用すること及び複製すること並びに頒布することを禁止します。また、システムを無断で改変すること等も禁止します。

の注意書きが表示されますが、ファイルの登録・ファイル名書き換え処理が完了された方は、著作権者に使用が許可されたものとみなします。

<目次>

1. 2016 試用版個別ファイル登録書き換え実行前に行うべきこと	P3
(1) ファイルのダウンロード	P3
(2) デ스플레이設定の詳細設定等	P4
① Windows11 の場合	P4
② Windows10 の場合	P9
(3) マクロのセキュリティ設定等	P14
① Exel2021 でおこなう場合	P14
② Exel2019 でおこなう場合	P17
③ Exel2016 でおこなう場合	P19
2. 2016 試用版個別ファイル登録書き換え実行手順	P22

3. 各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について	P34
(1) Winndows11 または Windows10 の場合	P34
(2) Windopws8.1 の場合	P41
4. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合	
「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの開き方	P47
(1) 4個のファイルを個々に開く方法	P48
(2) 4個のファイルを一括して開く方法	P65
5. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合	
登録書き換え後の「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのリンクの編集	P80
6. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合	
登録書き換え後の「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのファイル名変更	
について	P93

1. 2016 試用版個別ファイル登録書き換え実行前に行うべきこと

(1) ファイルのダウンロード

2016 試用版個別ファイル登録書き換え実行前に、ダウンロードフォルダーを整理して空にしておき、私共のホームページのページ「2016 版3台ファイルダウンロード」の「Ⅱ 2016 版3台ファイルの各ファイルのダウンロード」の26個のファイルの中から購入を希望するファイルをすべてダウンロードしてダウンロードフォルダーに保存してください。

そして、ページ「使用マニュアルダウンロード」へ行き、「I 新しいマニュアルのダウンロード」から、「準備」および次の1~17のアルファベット名のマニュアルをそれぞれダウンロードし、その下の1~17の日本語名にそれぞれファイル名を変更してダウンロードフォルダーに保存してください。ファイル名を変更して保存する方法は、それぞれのファイルをダウンロードする箇所に記載されていますのでそれをご覧ください。

(アルファベット名)

- 1.cvexceldatabasefilenosiyoukarainnsatumadenokihonntekinanagara.pdf
- 2.kihonntekinasheet.pdf
- 3.failmeinohennkoufailnouwagakihozonmanyual.pdf
- 4.sheetmeihennkoumacroyorimanyuaru.pdf
- 5.koumokuhyoujisakuseimanyual.pdf
- 6.nyuuryokusheetnogyosuutuikanikannsurumacroyorimanyual.pdf
- 7.innsatuhennsyuusheetnohennsyuuryouikiironurikaesyorimakuromanyual.pdf
- 8.nyuuryokusheetdatanosheetinnsatuformsortdatatounohukusyamacromanyual.pdf
- 9.sheetfilesakuseikopyyounosheetnoinnsatuformtounohukusyamacromanyual.pdf
- 10.innsatuformsheettounoinnsatububunnnoyousikisekkeimanyual.pdf
- 11.innsatunmailmacromeireinyuuryokusheettirannhyoutukifailsakuseinyuuryokusetteinonyuuryokutomailsou sinnmanyual.pdf
- 12.nyuuryokusheetkannoretutannihukusyamacromanyual.pdf
- 13.tuikaworksheetmeisetteimacromanyual.pdf
- 14.hennsyuusheetkaranyuuryokusheetenohyoudatahukusyamacromanyual.pdf
- 15.systemnosyokikasheetnosakujiyosyoukyotoumacromanyual.pdf
- 16.itirannhyoutukifilesakuseinyuuryokusetteinorennzokuinnsatumanyual.pdf
- 17.sellnoataiworiyousitanailnosousinnsyagotononiyasuaihonbunnnosakuseinosikata.docx

(日本語名)

- 1.CV-excel database ファイルの使用から印刷までの基本的な流れ.pdf
- 2.基本的なシート.pdf
- 3.ファイル名の変更、ファイルの上書き保存マニュアル.pdf
- 4.シート名変更マクロ処理マニュアル.pdf
- 5.項目表示作成マニュアル.pdf
- 6.入力シートの行数追加に関するマクロ処理マニュアル.pdf
- 7.「印刷編集シート」の編集領域色塗り替え処理マクロマニュアル.pdf
- 8.入力シートデーターのシート「印刷フォームソートデーター」等への複写マクロマニュアル.pdf
- 9.シート「ファイル作成コピー用」のシート「印刷フォーム」等への複写マクロマニュアル.pdf
- 10.「印刷フォーム」シート等の印刷部分の様式設計マニュアル.pdf
- 11.印刷・メールマクロ命令入力シート「一覧表付ファイル作成入力設定」の入力と印刷・メール送信マニュアル.pdf
- 12.入力シート間の列単位複写マクロマニュアル.pdf
- 13.追加ワークシート名設定マクロマニュアル.pdf
- 14.編集シートから入力シートへの表データー複写マクロマニュアル.pdf
- 15.システムの初期化、シートデーターの削除・消去等マクロマニュアル.pdf
- 16.一覧表付ファイル作成入力設定の連続印刷マニュアル.pdf
- 17.セルの値を利用したメールの送信者ごとの見易いメール本文の作成の仕方

そしてまた、私共からメールで送信された3個の添付ファイル

kobetufileshiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafihennkann2016.xlsm

PC3台ナンバー登録及びシステム購入申込書2016(インストール用).xlsm

2016 試用版個別ファイル登録書き換えマニュアル.pdf

も一旦ダウンロードフォルダーに保存してください。

そして更に、上でダウンロードフォルダーに保存した全てのファイルを、Dドライブに適当なフォルダー（仮にこのフォルダーをフォルダーA（保存用）と呼びましょう）を作成して呼びましょう）にコピーしてください。そして

もう1つDドライブに適当なフォルダー（仮にこのフォルダーをフォルダーBと呼びましょう）を作成してそこにもコピーしてください。ダウンロードフォルダーに保存した全てのファイルをのコピーした2つのフォルダーの1つのフォルダーAは、そのまま何もしないでおき、もう1つのフォルダーB内のファイルは2016版3台個別ファイル登録書き換えを実行するためのもので、フォルダー名を「登録・ファイル名書き換え用」とします。

登録書き換えを実行する場合、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内に「Ⅱ 2016版3台ファイルの各ファイルのダウンロード」の「2016版3台ファイル」の26個のファイルのうち購入を希望するファイルのすべてがないと、「2016試用版個別ファイル登録書き換え」実行は、登録書き換えを行う途中の過程でエラーが出てしまい、本体の「2016版3台ファイル」の26個のファイルのうち購入を希望するファイルのすべての登録書き換えが行われなくなります。

そこで、まずフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」のファイル「PC3台個別ファイルナンバー登録及びシステム購入申込書2016（インストール用）.xlsm」を立ち上げ、購入を希望するファイルのシート「3台登録保存ブック名・保存ファイル形式設定」を選択し、購入希望の欄に数字「1」が入力されているシステム名の欄に購入を希望するファイル名が書かれています。それらのファイルがフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内に保存されているかよく確認してください。なお、確認が済んだらファイル「PC3台個別ファイルナンバー登録及びシステム購入申込書2016（インストール用）.xlsm」は保存しないで必ず閉じてください。閉じないと「2016試用版個別ファイル登録書き換え」が実行できません。

もし、存在しないファイルがある場合には、存在しないファイルを改めて私共のホームページよりダウンロードしてダウンロードフォルダに保存いただき、フォルダー「保存用」と「登録・ファイル名書き換え用」内に必ずコピーしておいてください。

また、何もしないフォルダー「保存用」のファイルは、ホームページからダウンロードしたとき、「2016版3台ファイル」の26個のファイルの中から購入を希望するファイルをダウンロードしたつもりでも欠けてしまうことも考えられます。その場合、再度ホームページから欠けているファイルのみダウンロードしてダウンロードフォルダーに保存し、何もしないフォルダー「保存用」にコピーすれば、すべてのファイルをまたダウンロードしてダウンロードフォルダーに保存する手間が省けます。そして、「2016版3台ファイル」の26個のファイルの中から購入を希望するファイルの内欠けているファイルがあったため「2016試用版個別ファイル登録書き換え」処理実行に失敗した場合、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイルをすべて削除した後、改めてフォルダー「保存用」内の全てのファイルをフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内にコピーすれば、再度「2016試用版個別ファイル登録書き換え」処理を簡単に実行することができます。

（2）ディスプレイ設定の詳細設定等

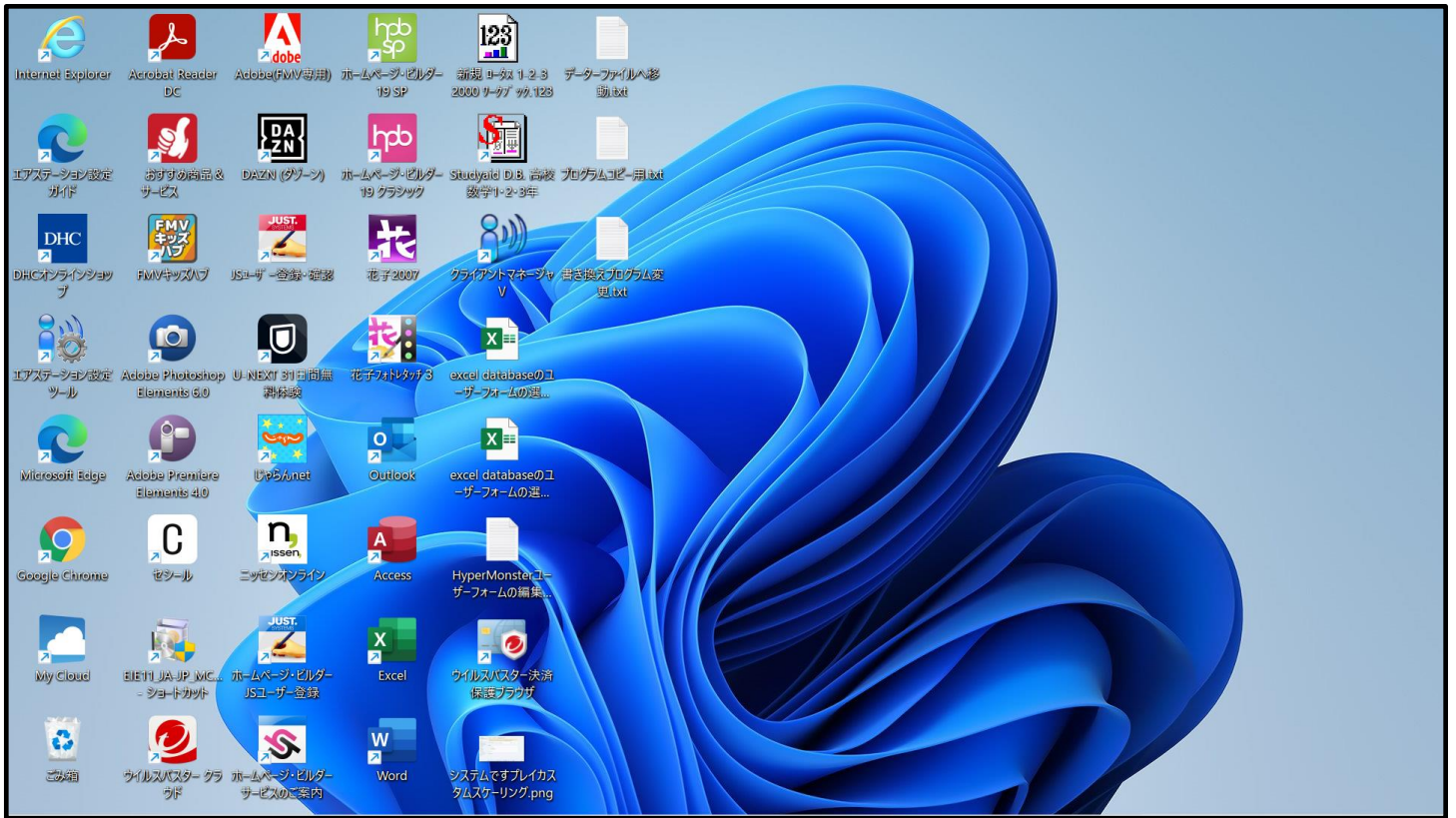
excel database vba | 本格的エクセルデータベース（excel database）である「CV-DataBaseAdvance 製品」の各エクセルファイルや「CV-DataBaseAdvance 試用版」の各エクセルファイルの書き換え操作を行なう場合、ユーザーフォームの表示を適正な表示にするために、OSがWindows11やWindows10のPCで行う場合には、事前にディスプレイ設定の詳細設定を次のようにしておこなってください。

ただし、OSがWindows8.1のPCを用いて行う場合にはこの設定は不要です。

① Windows11の場合

次の[図1]画面は私どもが使用しているwindows11のOSが搭載されたPCのデスクトップの画面です。

[図1]



上のデスクトップで右クリックすると次の[図2]の画面ようなメニューが表示されます。

[図2]



上のメニュー部分を拡大表示すると



のようになっています。このメニューで **ディスプレイ設定** をクリックすると次の[図3]画面が表示されます。

[図3]



上の[図3]の画面の



の部分の右側の **125% (推奨)** > 部分の > をクリックすると次の[図4]の画面になります。

[図4]

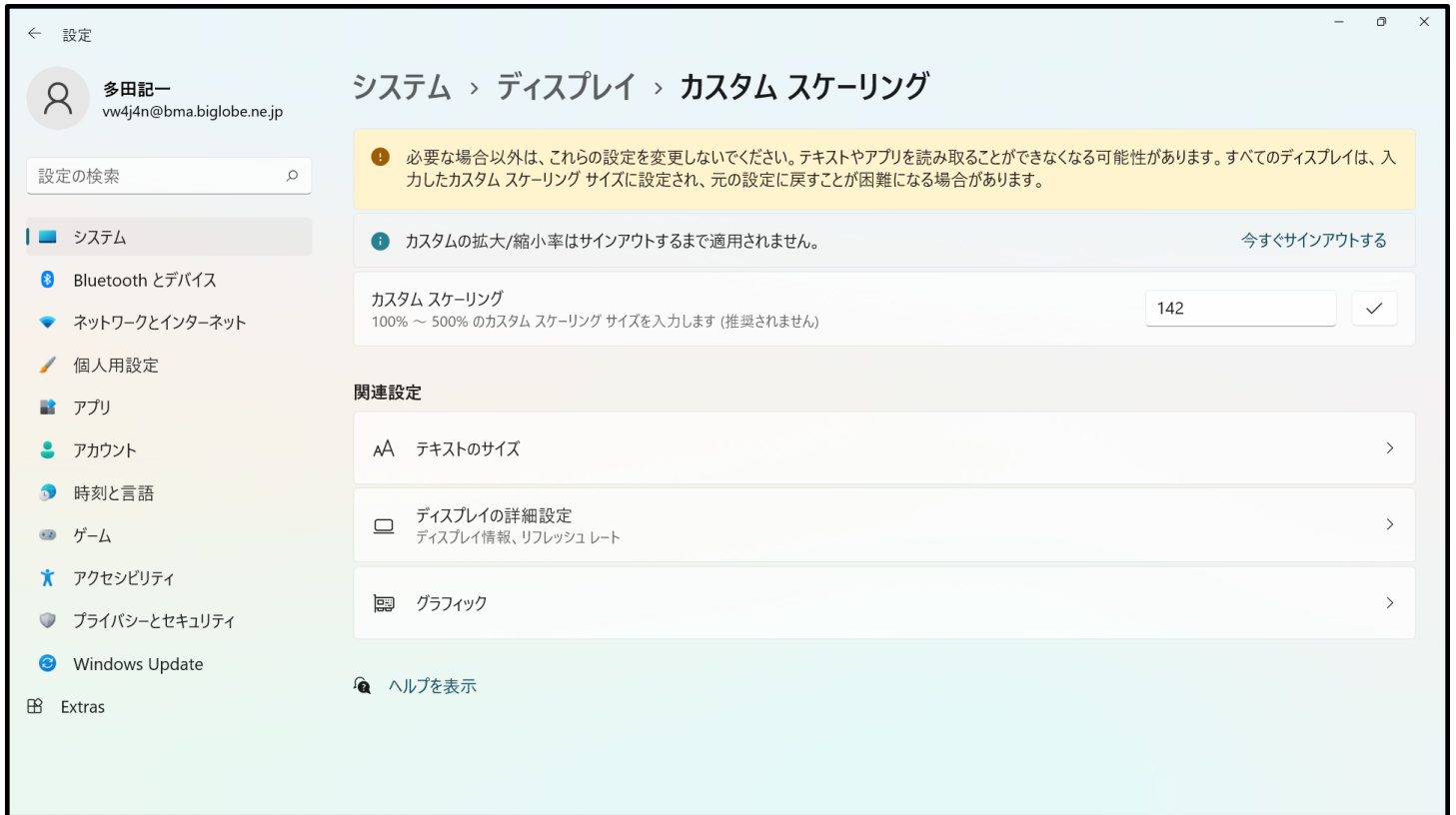


そして上の[図4]の画面における

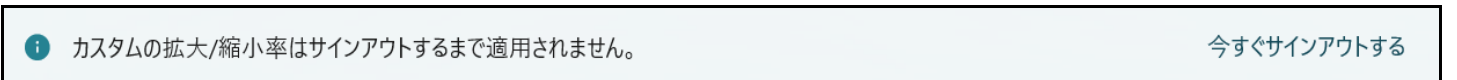


の部分の右側の **100 ~ 500** の部分を選択して **142** と入力
してこの右側の **✓** をクリックすると次の[図5]の画面になります。

[図5]



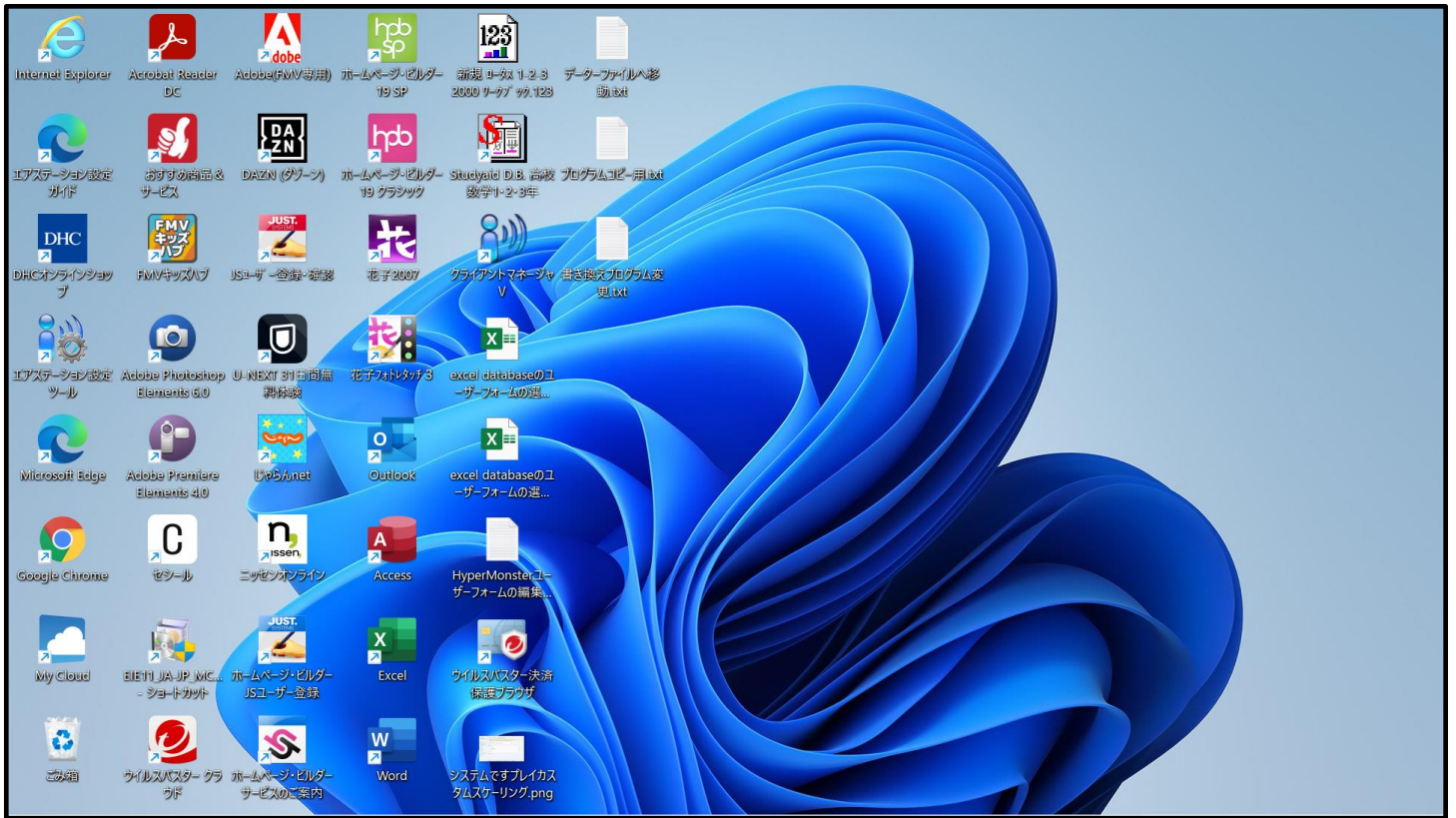
そして上の[図5]画面の



今すぐサインアウトする

の部分の右側の部分文字をクリックするとサインアウトの画面が表示され、その画面で pin の値を入力すると次の[図6]のデスクトップの画面になります。

[図6]

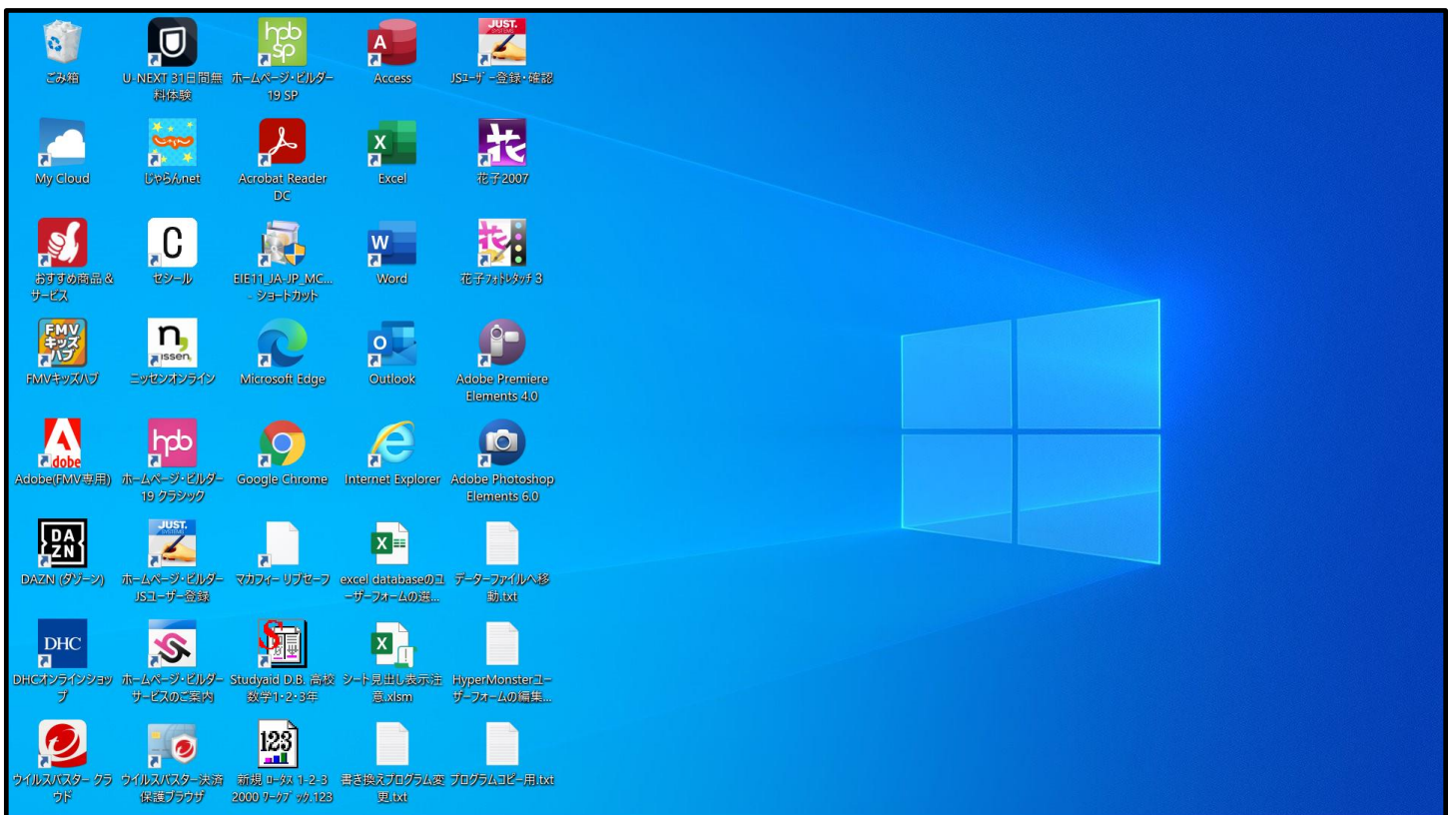


が表示されます。

② Windows10 の場合

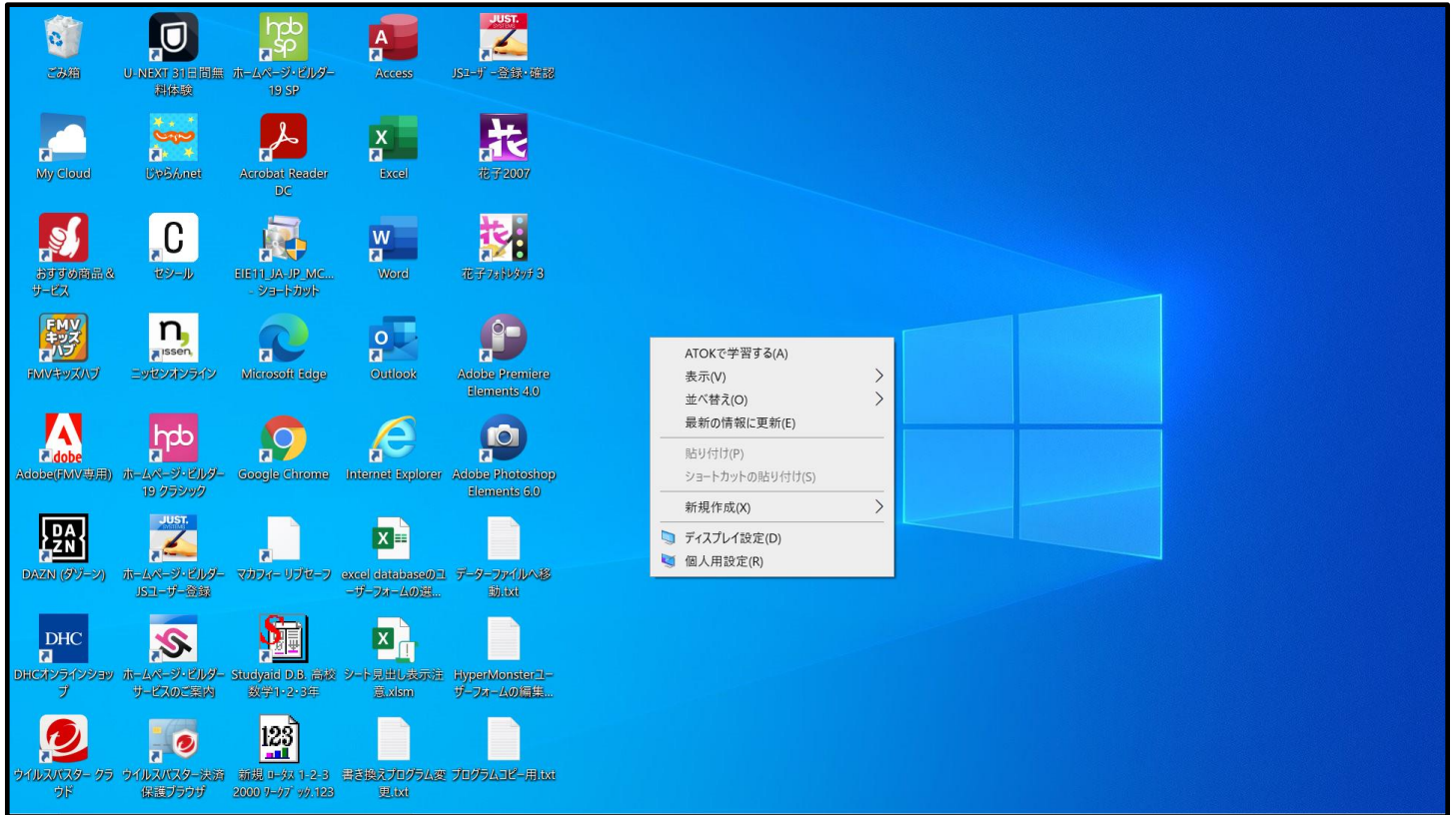
次の[図7]画面の私どもが使用している PC のデスクトップの画面です。

[図7]



デスクトップで右クリックすると次の[図8]画面のようなメニューが表示されます。

[図8]



上の[図8]画面のメニュー部分を拡大表示すると



のようになっています。このメニューで

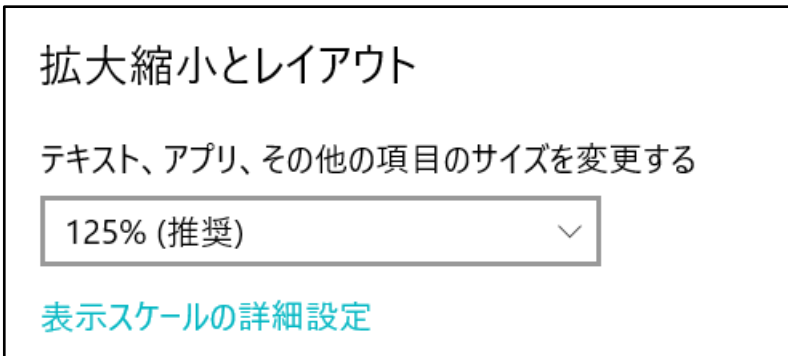
ディスプレイ設定(D)

をクリックすると次の[図9]画面が表示されます。

[図 9]



上の[図 9]画面の

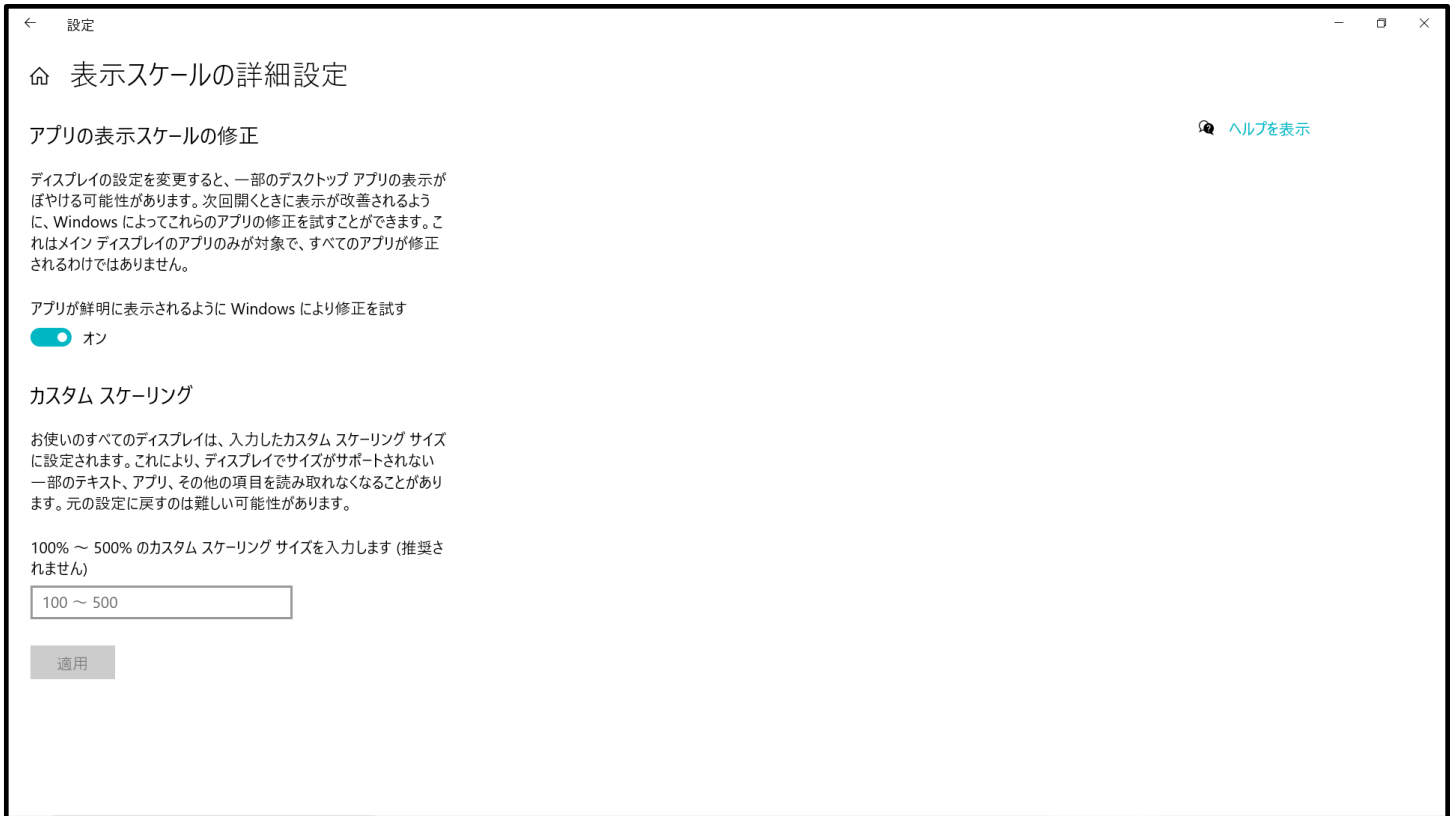


の部分の



をクリックすると次の[図 10]画面が表示されます。

[図 10]



上の[図 10]画面の

100 ~ 500

の部分で、

138

と入力して

適用

をクリックすると下の[図11]の画面になります。

[図11]



上の[図11]の画面の

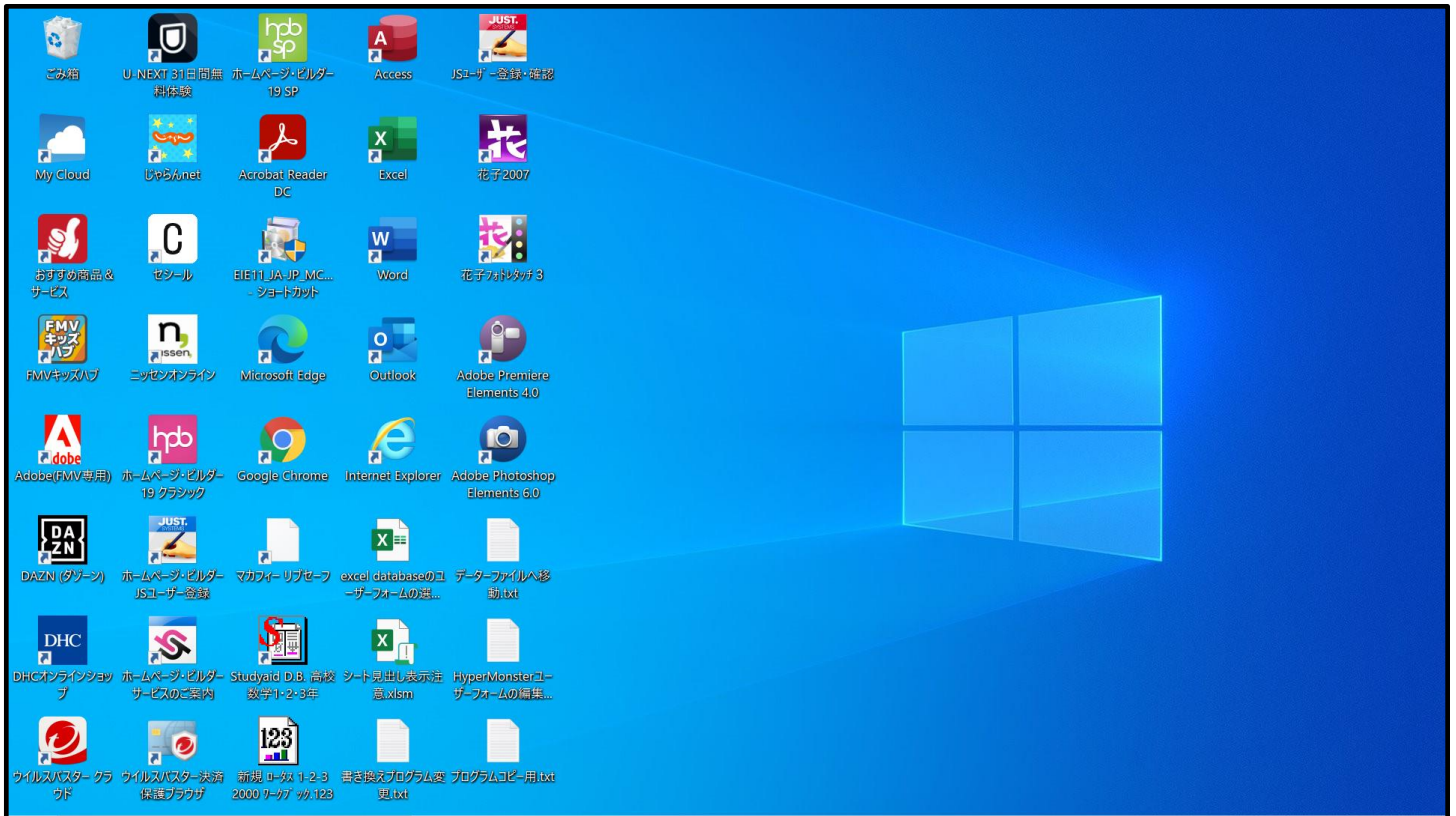
カスタムの拡大/縮小率はサインアウトするまで適用されません。
今すぐサインアウトする

の部分の

今すぐサインアウトする

をクリックし

Pin の値もしくは **Mikurosoft** のアカウントのパスワードを入力してサインアウトするとデスクとトップの画面になります。私の場合のデスクトップの画面は次の[図12]の画面でこの画面に戻りました。



(3) マクロのセキュリティ設定等

必ず次のようにマクロのセキュリティ等を設定してください。このように設定しておかないと登録・ファイル名の書き換えが正常に実施できません。しかも登録・ファイル名書き換えを行なうファイル「kobetufileshiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2016.xlsm」が破損されてしまい、2度とこの登録・ファイル名書き換えファイルは使えなくなります。セキュリティの設定を誤って登録・ファイル名書き換え処理を実行してしまうことも考えられますので、ファイル「kobetufileshiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafilehennkann2016.xlsm」は、登録・ファイル名書き換え処理を実行するフォルダーB以外のフォルダーAにも登録・ファイル名書き換え処理を実行する前に必ずコピーして予備とし保存おいてください。

① Excel2021 でおこなう場合

まず、Excel2021 を起動し、**ファイル**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**→**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブ**を表示させてください。そしてら
 タブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「**トラストセンター**」を表示させます。そして、「**トラストセンター**」における**信頼できる場所**、**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**で次のように設定します。

信頼できる場所

新しい場所の追加 (A) をクリック → 参照 をクリック → ボリューム (D:) を選択 → OK をクリック →

パス (P) 部分を D:¥ とする → この場所のサブフォルダーも信頼する (S) にチェック入れて OK をクリック

*このように設定することによって D ドライブおよび D ドライブ内の全てのフォルダーでホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルやメールの添付ファイルとして送信されたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

また、更に 参照 をクリック → ダウンロード) を選択とするとダウンロードフォルダーでもホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

ActiveX の設定

The screenshot shows the 'Trust Center' window with the 'ActiveX Settings' section selected in the left-hand navigation pane. The main area is titled 'すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定' (ActiveX settings for all Office applications). It contains several radio button options: '警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)' (Disable all controls without warning), '先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)' (Show warning message first, strengthen restrictions for high-risk controls, apply minimum restrictions for safe controls), '先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)' (Show warning message first, apply minimum restrictions, enable all controls), and '確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)' (Enable all controls without warning, not recommended, dangerous controls may be executed). A checkbox for 'セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)' (Safe mode, restricts control access) is also present and unchecked.

マクロの設定

The screenshot shows the 'Trust Center' window with the 'Macro Settings' section selected in the left-hand navigation pane. The main area is titled 'マクロの設定' (Macro settings). It contains four radio button options: '警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)' (Disable all macros without warning), '警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)' (Show warning and disable all macros), 'デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)' (Disable all macros except digitally signed ones), and 'すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)' (Enable all macros, not recommended, dangerous code may be executed). Below this, under the '開発者向けのマクロ設定' (Developer macro settings) section, the checkbox 'VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)' (Trust access to the Visual Basic object model) is checked.

保護ビュー

トラストセンター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー
外部コンテンツ
ファイル制限機能の設定
プライバシー オプション
フォームベースのサインイン

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

- インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)
- 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L)^①
- Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q)^①

信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.syk) を開くためのセキュリティ設定

- 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、syk) を開く(I)

信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

- 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー

トラストセンター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー

すべての Office アプリケーションに適用するメッセージ バーの設定

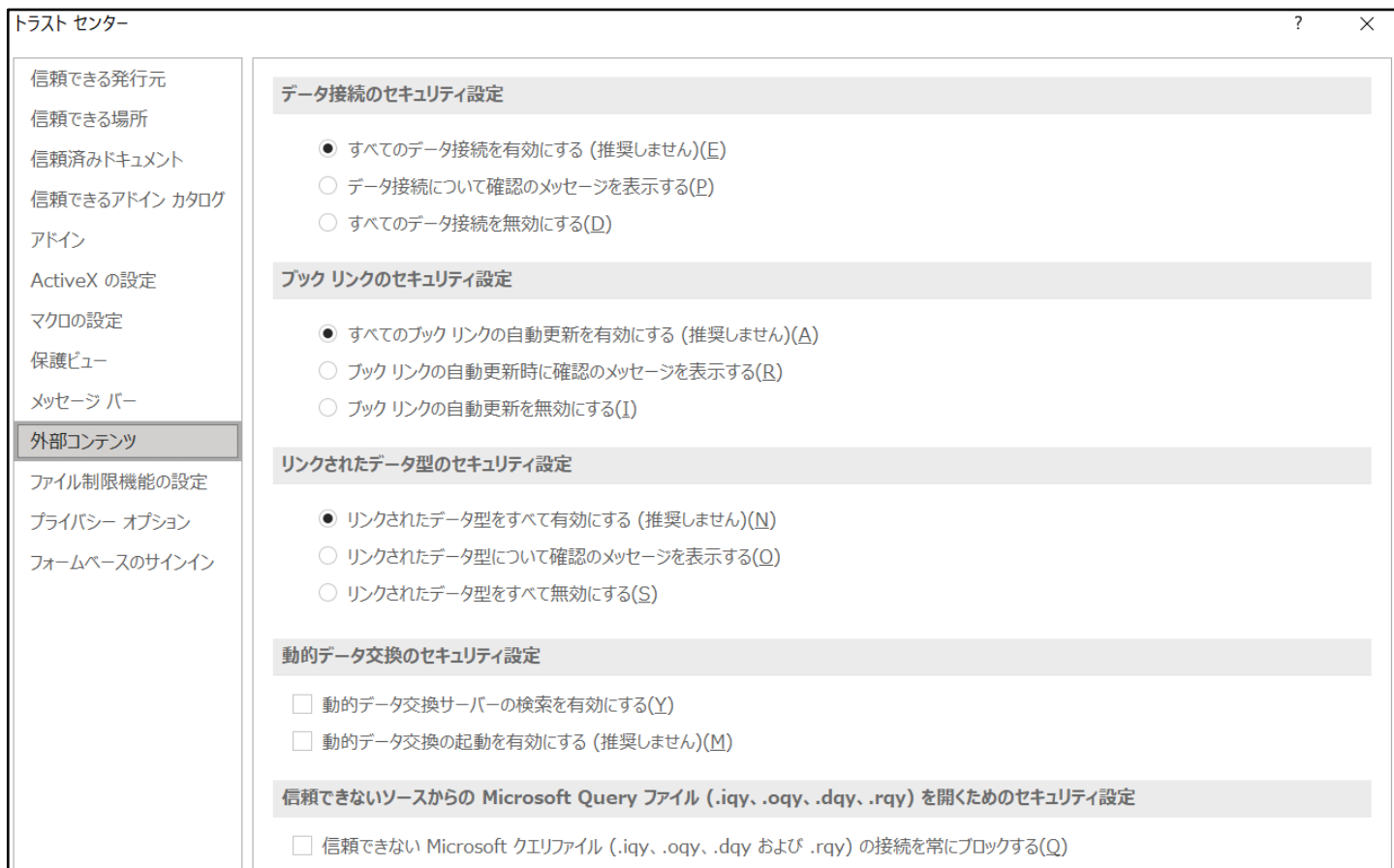
メッセージ バーの表示

- ActiveX コントロールやマクロなどのアクティブ コンテンツがブロックされた場合、すべてのアプリケーションにメッセージ バーを表示する(S)
- ブロックされた内容に関する情報を表示しない(N)

ポリシーのヒント

- ポリシー ヒントをメッセージ バーに表示します。これをオフにすると、組織で必要とされる場合を除いて、ポリシー ヒントはすべて無効になります。

外部コンテンツの設定



② Excel2019 でおこなう場合

まず、Excel2019 を起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**
→ **メインタブ**と選択して行き**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。

そしたらタブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラストセンター」における**信頼できる場所**、**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、**外部コンテンツ**で次のように設定します。

信頼できる場所

新しい場所の追加 (A) をクリック→**参照**をクリック→**ボリューム (D:)**を選択→**OK**をクリック→

パス(P):部分を **D:** とする→**この場所のサブフォルダーも信頼する (S)** にチェック入れて **OK** をクリック

*このように設定することによって **D** ドライブおよび **D** ドライブ内の全てのフォルダーでホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルやメールの添付ファイルとして送信されたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

また、更に**参照**をクリック→**ダウンロード**を選択とするとダウンロードフォルダーでもホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

ActiveX の設定

トラスト センター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー
外部コンテンツ
ファイル制限機能の設定
プライバシー オプション
フォームベースのサインイン

すべての Office アプリケーションに適用する ActiveX の設定

- 警告を表示せずにすべてのコントロールを無効にする(D)
- 先に確認メッセージを表示してから、初期化に危険が伴うコントロールには制限を強化し、初期化しても安全なコントロールには最低限の制限を適用して有効にする(R)
- 先に確認メッセージを表示してから、最低限の制限を適用してすべてのコントロールを有効にする(P)
- 確認メッセージを表示せずに、すべてのコントロールを制限なしに有効にする (推奨しません。危険なコントロールが実行される可能性があります)(E)

セーフ モード (コンピューターに対するコントロールのアクセスを制限します)(S)

マクロの設定

トラスト センター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー
外部コンテンツ
ファイル制限機能の設定
プライバシー オプション
フォームベースのサインイン

マクロの設定

- 警告を表示せずにすべてのマクロを無効にする(L)
- 警告を表示してすべてのマクロを無効にする(D)
- デジタル署名されたマクロを除き、すべてのマクロを無効にする(G)
- すべてのマクロを有効にする (推奨しません。危険なコードが実行される可能性があります)(E)

開発者向けのマクロ設定

VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する(V)

保護ビュー

トラスト センター

信頼できる発行元
信頼できる場所
信頼済みドキュメント
信頼できるアドイン カタログ
アドイン
ActiveX の設定
マクロの設定
保護ビュー
メッセージ バー
外部コンテンツ
ファイル制限機能の設定
プライバシー オプション
フォームベースのサインイン

保護ビュー

保護ビューでは、セキュリティに関するメッセージを表示せずに、危険性のあるファイルを制限モードで開きます。これは、コンピューターへの悪影響を最小限に抑えるのに役立ちます。保護ビューを無効にすると、コンピューターがセキュリティの脅威にさらされる可能性があります。

- インターネットから取得したファイルに対して、保護ビューを有効にする(I)
- 安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護ビューを有効にする(L)^①
- Outlook の添付ファイルに対して、保護ビューを有効にする(Q)^①

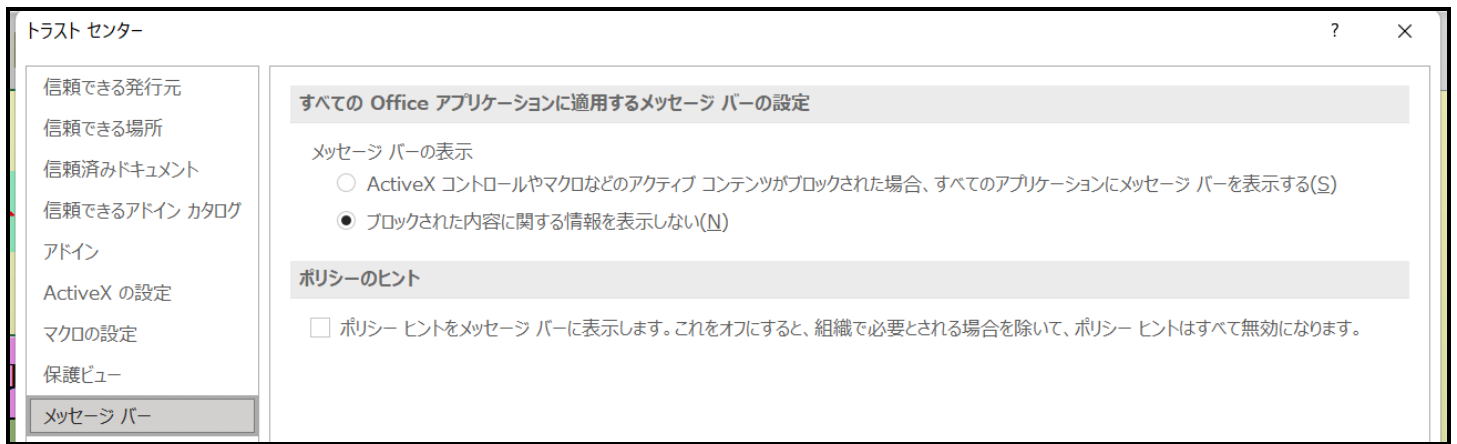
信頼できないソースからのテキストベースのファイル (.csv、.dif、.syilk) を開くためのセキュリティ設定

- 信頼されたビューで常に信頼関係のないテキストベースのファイル (.csv、dif、syilk) を開く(I)

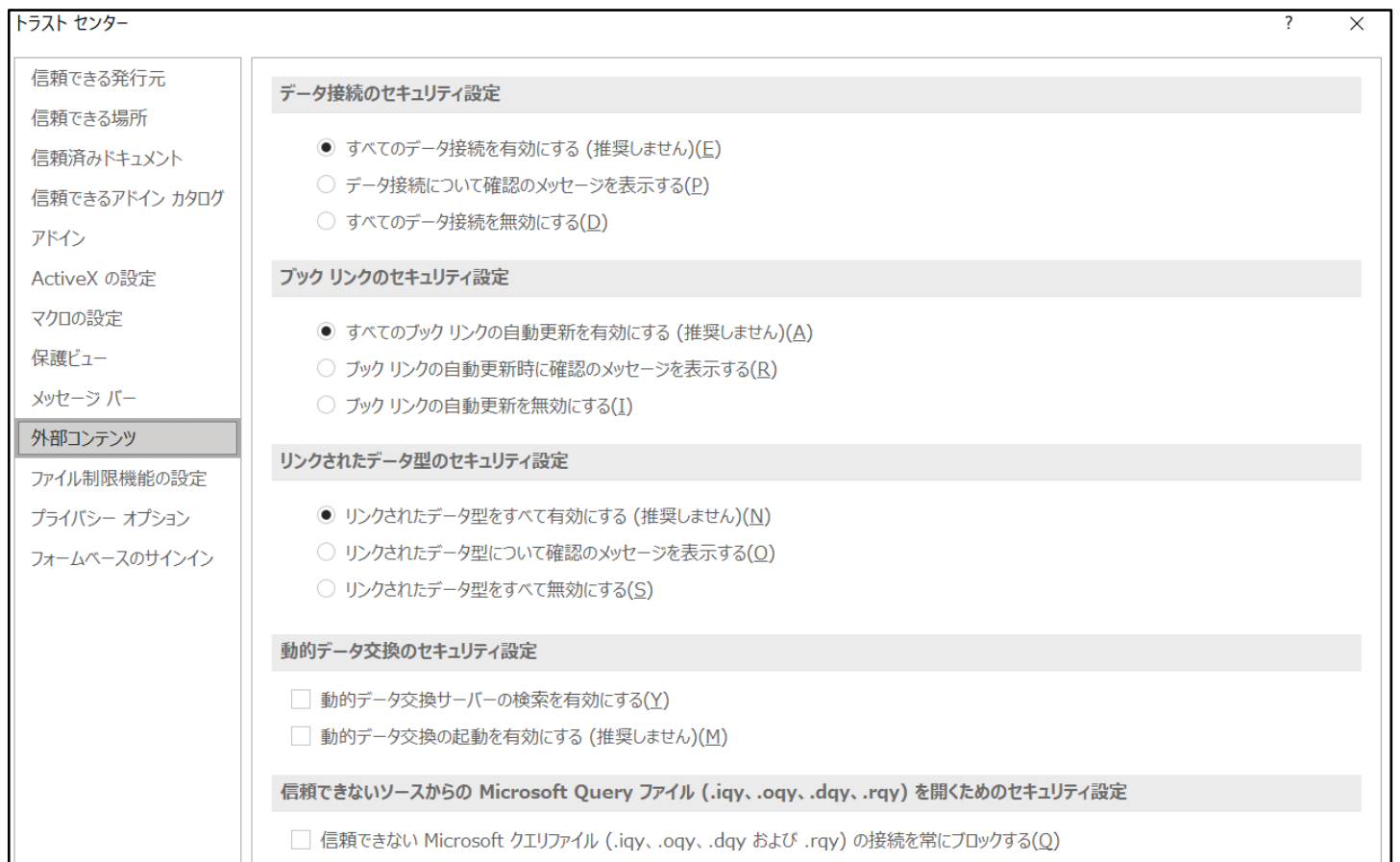
信頼できないソースからのデータベース ファイル (.dbf) を開くためのセキュリティ設定

- 信頼されていないデータベースファイル (.dbf) を常に保護ビューで開く(D)

メッセージバー



外部コンテンツ



③ Excel2016 でおこなう場合

まず、Excel2016 起動し、**ファイル**→**その他**→**オプション**→**Excel のオプション**→**リボンのユーザー設定**

→ **メインタブ**と選択して行き**メインタブ**の「開発」にチェックを入れ**開発タブを表示**させてください。

そしたらタブ**開発**→**マクロのセキュリティ**と選択して「トラストセンター」を表示させます。そして、「トラ

ストセンター」における**信頼できる場所**、**ActiveX の設定**、**マクロの設定**、**保護ビュー**、**メッセージバー**、

外部コンテンツで次のように設定します。

信頼できる場所

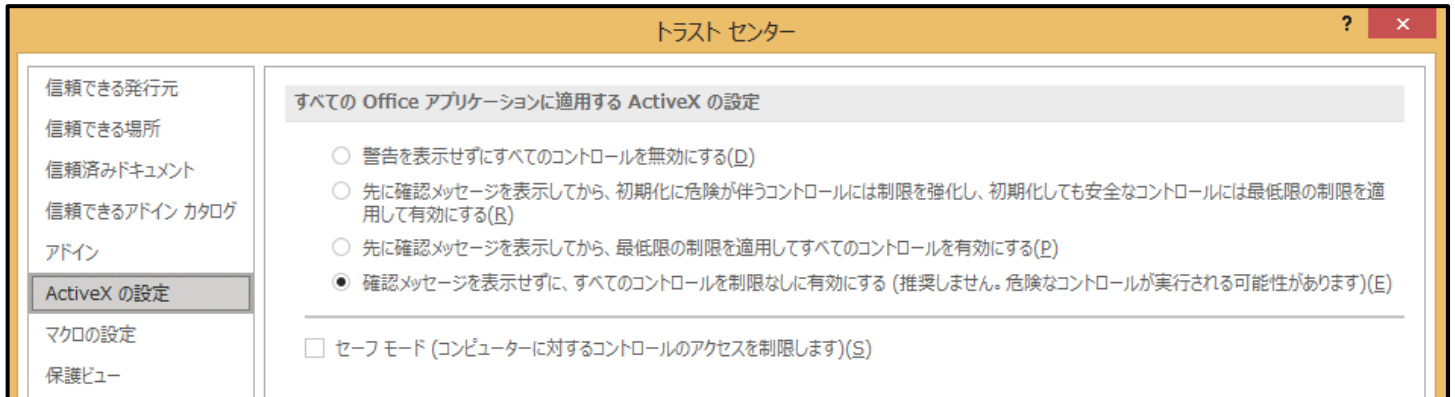
新しい場所の追加 (A) をクリック → 参照 をクリック → ボリューム (D:) を選択 → OK をクリック →

パス (P) 部分を D:\ とする → この場所のサブフォルダーも信頼する (S) にチェック入れて OK をクリック

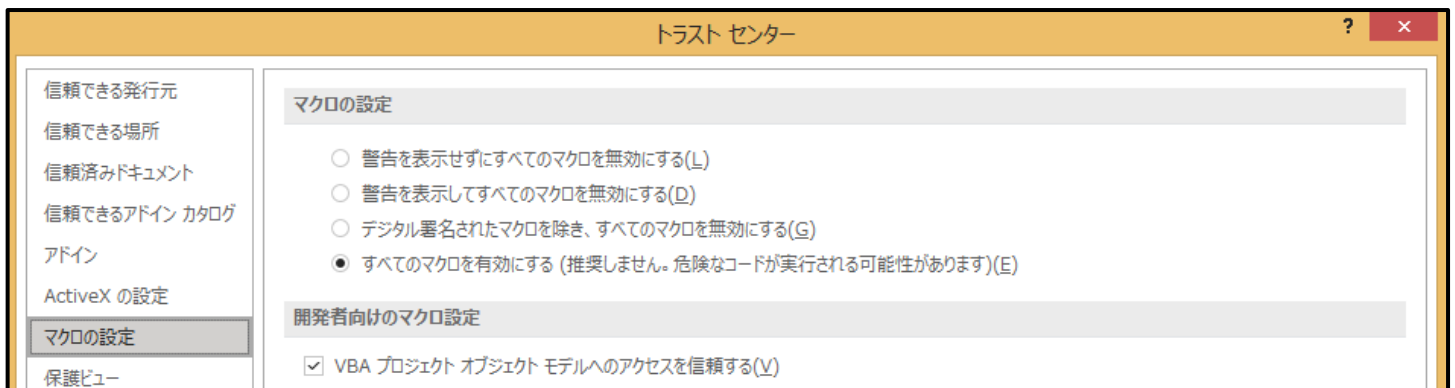
*このように設定することによって D ドライブおよび D ドライブ内の全てのフォルダーでホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルやメールの添付ファイルとして送信されたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

また、更に 参照 をクリック → ダウンロード) を選択とするとダウンロードフォルダーでもホームページからダウンロードしたマクロつきエクセルファイルのマクロを実行することができるようになります。

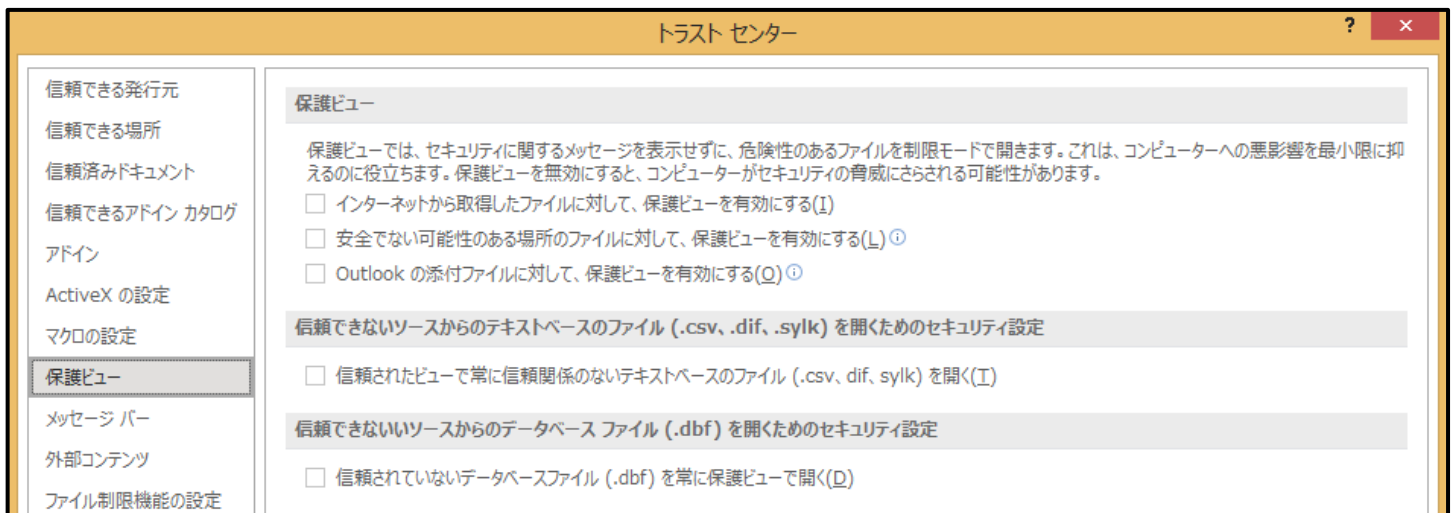
ActiveX の設定



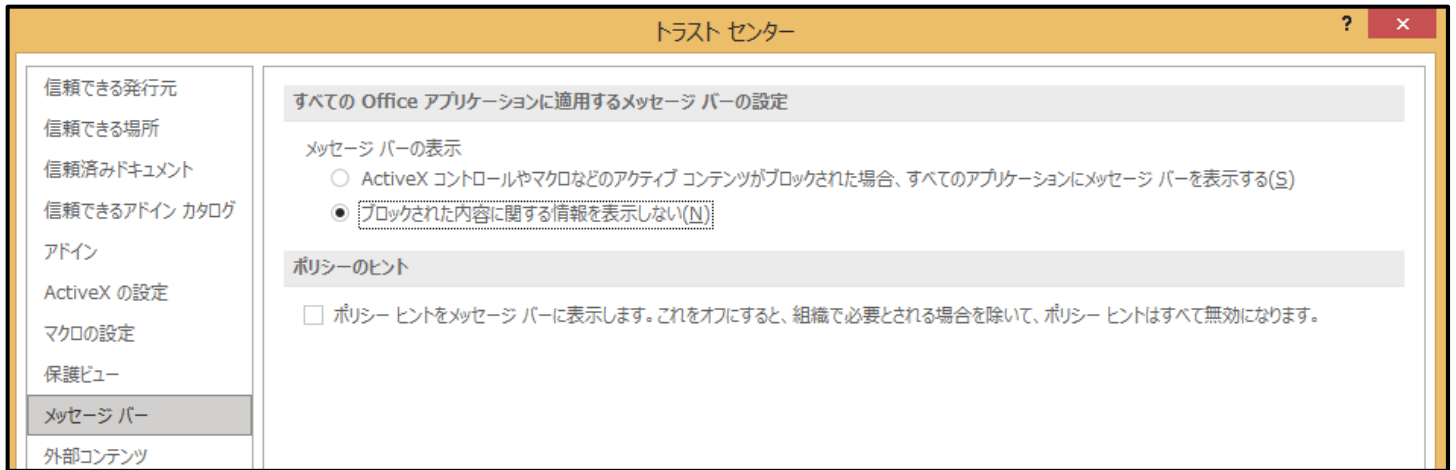
マクロの設定



保護ビュー



メッセージバー



外部コンテンツ



2. 2016 試用版個別ファイル登録書き換え実行手順

登録・書き換えをおこなう前に、フォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイル「kobetufileshiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanaflehennkann2016.xlsm」

を右クリックして「プロパティ」を選択して **全般** をクリックし、下側の

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 許可する(K)

の部分で

セキュリティ: このファイルは他のコンピューターから取得したものです。このコンピューターを保護するため、このファイルへのアクセスはブロックされる可能性があります。 許可する(K)

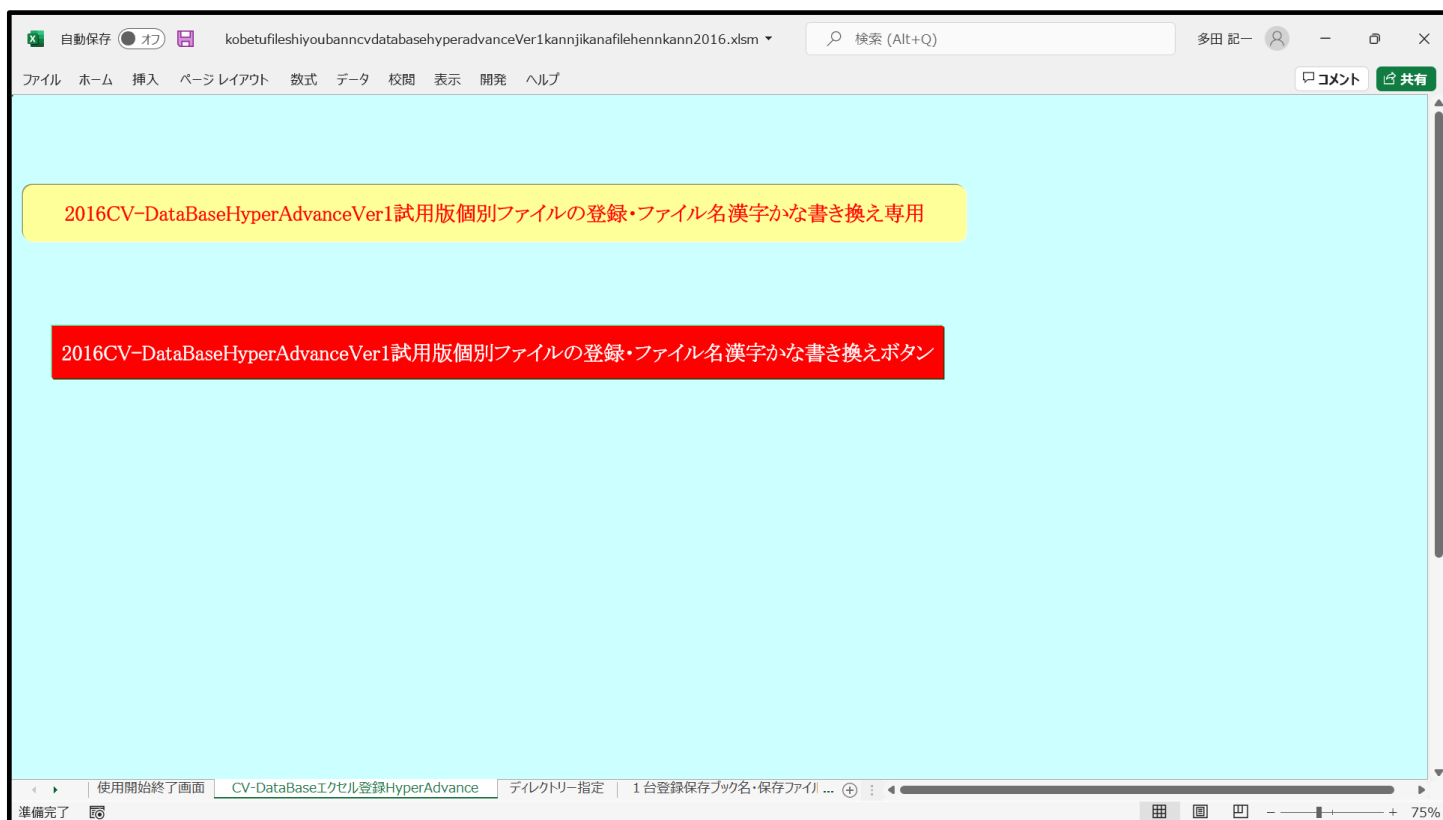
とチェックを入れて **OK** をクリックして

ファイルのマクロのブックスの解除を必ずおこなってください。

上の1の(1)で保存したフォルダー「登録・ファイル名書き換え用」内のファイル

「kobetufileshiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanaflehennkann2016.xlsm」を開くと次の[図13]の画面になります。

[図13]



上の[図13]の画面のコマンドボタン

2016CV-DataBaseHyperAdvanceVer1試用版個別ファイルの登録・ファイル名漢字かな書き換えボタン

をクリックするとマクロによって自動的にファイル名書き換え次々が実行されていきます。

ただ、ファイル名書き換えがおこなわれていく最後の過程で、ファイル

ファイル「2016cvdatabasemonstervollver1siyoubann.xlsm」が呼び出された場合、途中、選択ボタン

更新する(U)

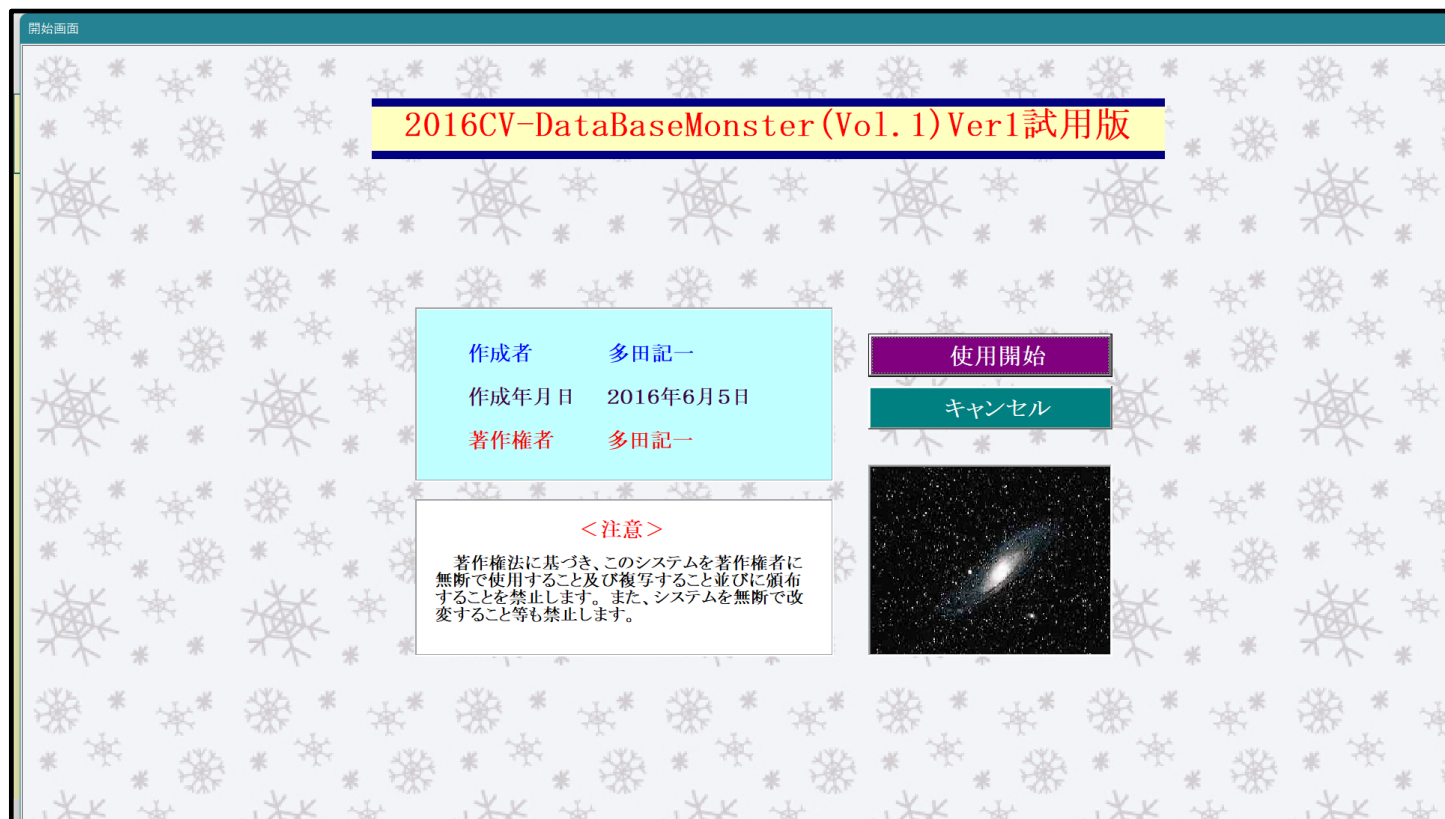
をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図48]の画面が表示されます。

このファイルの立ち上がり画面である次の[図14]の画面が表示されます。

使用開始

そうしたら[図14]の画面のコマンドボタンをクリックしてください。

[図14]



すると引き続き下の[図15]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図16]の画面が表示されます。

[図15]



[図 1 6]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

上の[図 1 6]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は次のステップへ移り、ファイル「2016cvdatabasemonstervol2ver1siyoubann.xlsm」が呼び出されます。

そして、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である次の[図 1 7]の画面が表示されます。そうしたら再度[図 1 7]の画面のコマンドボタン

使用開始

をクリックしてください。

[図 1 7]



すると引き続き下の[図 1 8]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 1 9]の画面が表示されます。

[図 1 8]



[図 1 9]



シート名設定

上の[図 1 9]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は次のステップへ移り、ファイル「2016cvdatabasemonstervol3ver1siyoubann.xlsm」が呼び出されます。

そして、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である次の[図 2 0]の画面が表示されます。そうしたら再度[図 2 0]の

使用開始

画面のコマンドボタン **使用開始** をクリックしてください。

[図 2 0]



すると引き続き下の[図 2 1]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 2 2]の画面が表示されます。

[図 2 1]



[図 2 2]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

上の[図 2 2]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は更に次のステップへ移り、ファイル「2016cvdatabasemonstervol4ver1siyoubann.xlsx」

が呼び出されます。そして、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である下の[図 2 3]の画面が表示されます。そうしたら再び[図 2 3]の画面

使用開始

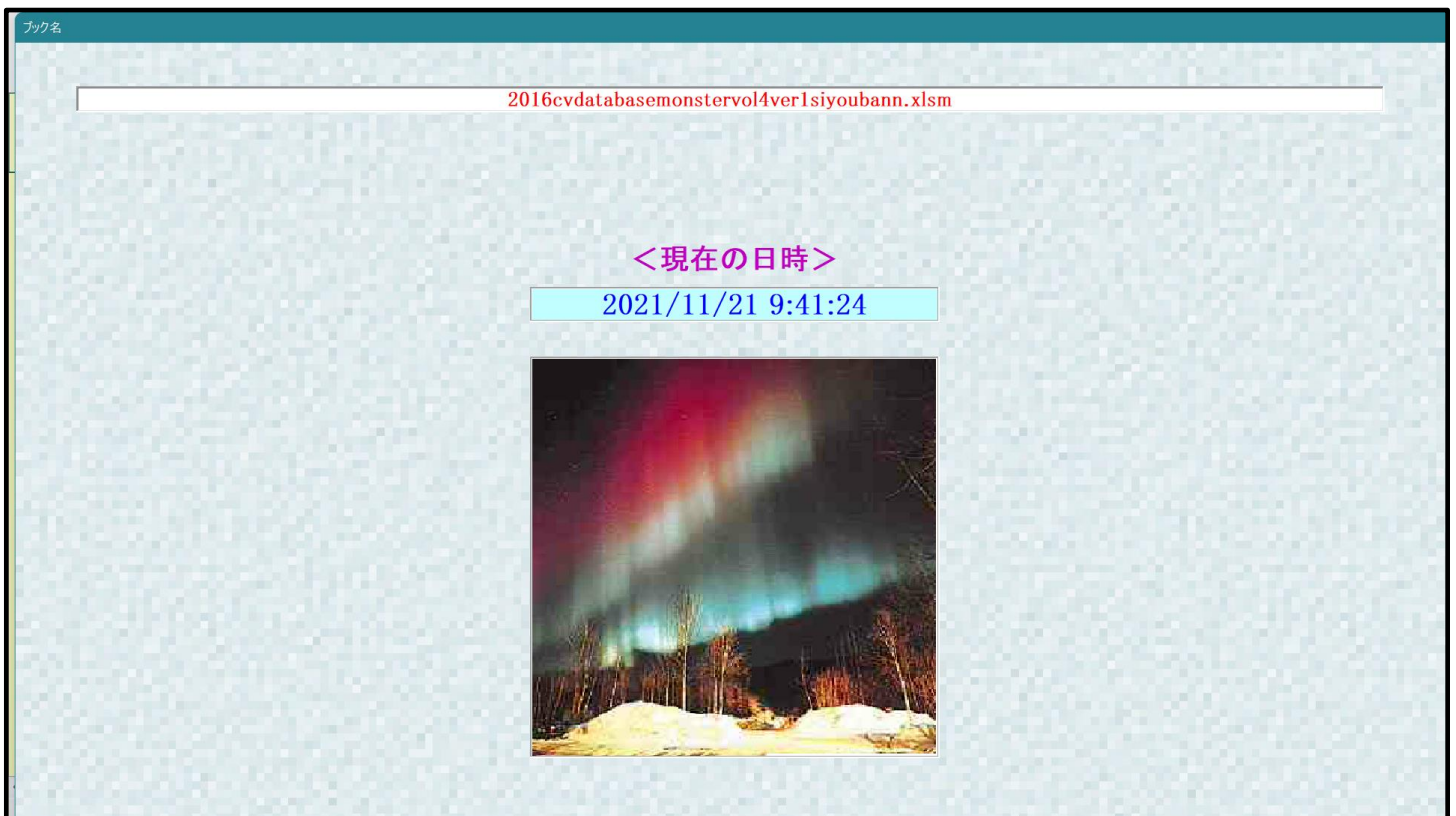
のコマンドボタン **使用開始** をクリックしてください。

[図 2 3]



すると引き続き下の[図 2 4]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 2 5]の画面が表示されます。

[図 2 4]



[図 2 5]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA, BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印刷フォームシート選択 印刷フォームシートデータ選択			
シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

上の[図 2 5]の画面のコマンドボタン **シート名設定** をクリックするとマクロ操作は更に次のステップへ移り、さまざまな処理をおこなって、最後に下の[図 2 6]の画面が表示されたら書き換え処理は完了となります。書き換え処理が完了したらこの書き換え処理のためのファイル「kobetufilesdiyoubanncvdatabasehyperadvanceVer1kannjikanafihennkann2016.xlsm」を閉じてください。閉じる際、ファイルは保存してもしなくても結構です。書き換えの所要時間は、登録書き換えるファイルの個数やパソコンのスペックにもよりますが、概 10 分~30 分前後とお考えください。

[図 2 6]



この書き換え登録処理前のファイル名は下の[図 2 7]のようにアルファベットの小文字と数字混じりになっていますが、この登録書き換え処理後のファイル名は、各 NO に対応して、下の[図 2 8]のように漢字、かな、数字混じりとなります。

NO	システム名
1	2016cvdatabaseadvance40ver1siyoubann.xlsm
2	2016cvdatabaseadvance100ver1siyoubann.xlsm
3	2016cvdatabaseadvance200ver1siyoubann.xlsm
4	2016cvdatabaseadvance400ver1siyoubann.xlsm
5	2016cvdatabaseadvance600ver1siyoubann.xlsm
6	2016cvdatabaseadvance800ver1siyoubann.xlsm
7	2016cvdatabaseadvance1000ver1siyoubann.xlsm
8	2016cvdatabaseadvance2000ver1siyoubann.xlsm
9	2016cvdatabaseadvance4000ver1siyoubann.xlsm
10	2016cvdatabaseadvance8000ver1siyoubann.xlsm
11	2016cvdatabaseadvance16000ver1siyoubann.xlsm
12	2016cvdatabaseadvancekeisou40ver1siyoubann.xlsm
13	2016cvdatabaseadvancekeisou100ver1siyoubann.xlsm
14	2016cvdatabaseadvancekeisou200ver1siyoubann.xlsm
15	2016cvdatabaseadvancekeisou400ver1siyoubann.xlsm
16	2016cvdatabaseadvanceloyobidasiinnsatuver1siyoubann.xlsm
17	2016cvdatabaseadvancesuupayobidasiinnsatuver1siyoubann.xlsm
18	2016tyousasyosakuseisystemtouver1siyoubann.xlsm
19	2016heisei28nenndokojinnbetukaikeihoukokugakunennbunnver1siyoubann.xlsm
20	2016cvdatabaseadvance8000onnseitukiver1siyoubann.xlsm
21	2016cvdatabaseadvance16000onnseitukiver1siyoubann.xlsm
22	2016cvdatabasemonstervol1ver1siyoubann.xlsm
23	2016cvdatabasemonstervol2ver1siyoubann.xlsm
24	2016cvdatabasemonstervol3ver1siyoubann.xlsm
25	2016cvdatabasemonstervol4ver1siyoubann.xlsm
26	2016cvdatabasemonstersiyoubanncontrolfile.xlsm

NO	システム名
1	2016CV-DataBaseAdvance40Ver1試用版.xlsm
2	2016CV-DataBaseAdvance100Ver1試用版.xlsm
3	2016CV-DataBaseAdvance200Ver1試用版.xlsm
4	2016CV-DataBaseAdvance400Ver1試用版.xlsm
5	2016CV-DataBaseAdvance600Ver1試用版.xlsm
6	2016CV-DataBaseAdvance800Ver1試用版.xlsm
7	2016CV-DataBaseAdvance1000Ver1試用版.xlsm
8	2016CV-DataBaseAdvance2000Ver1試用版.xlsm
9	2016CV-DataBaseAdvance4000Ver1試用版.xlsm
10	2016CV-DataBaseAdvance8000Ver1試用版.xlsm
11	2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm
12	2016CV-DataBaseAdvance軽装版40Ver1試用版.xlsm
13	2016CV-DataBaseAdvance軽装版100Ver1試用版.xlsm
14	2016CV-DataBaseAdvance軽装版200Ver1試用版.xlsm
15	2016CV-DataBaseAdvance軽装版400Ver1試用版.xlsm
16	2016CV-DataBaseAdvance呼び出し印刷Ver1試用版.xlsm
17	2016CV-DataBaseAdvanceスーパー呼び出し印刷Ver1試用版.xlsm
18	2016調査書等各種証明書作成システムVer1試用版(CV-DataBase8000Ver1サンプル).xlsm
19	2016平成28年度第3学年個人別会計報告学年分試用版(CV-DataBase100Ver1サンプル).xlsm
20	2016CV-DataBaseAdvance8000Ver1(音声付き)試用版.xlsm
21	2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1(音声付き)試用版.xlsm
22	2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm
23	2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
24	2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
25	2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
26	2016CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm

なお、登録書き換え処理が済んだ後は、下の

5. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合 登録書き換え後の「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのリンクの編集

の部分をよく見ながら、更にフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）でおこなってください。

そして、必ず1の（1）で述べたフォルダーA内の全てのファイルとフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）内全てのファイルをDVDまたはBRD等にコピーして保存しておきましょう。パソコンにトラブルやファイルの編集作業でトラブルが発生した際、対処できるようにしておくためです。

また、登録書き換え処理が済み各ファイルを開く場合、登録書き換えを実行したフォルダーB内では開かないで、つねに更に別のフォルダーをDドライブに作成し、そこにコピーしてそこで開いてファイルの処理編集をおこなうようにしてください。おお元となるフォルダーB（登録・ファイル名書き換え用）のファイルを守るためです。

また、書き換えが済み各ファイルを開く場合、ファイルの書き換えを実行したフォルダーBでは行わず、別のフォルダーをDドライブに作成し、そこに編集したいファイルをコピーしてそこで開くと便利です。試用版は同じファイルは10回までしか開くことができません。同じ種類のファイルを何回も開いてみたい場合、ファイルの書き換えを実行したフォルダーから他のフォルダーへコピーしてそこで開けば何度でも開けるからです。

3. 各エクセルファイルのユーザーフォームの表示設定について

excel database vba | 本格的エクセルデータベース（excel database）である「CV-DataBaseAdvance 製品」の各エクセルファイルや試用版のファイルを開いたら、先ず、必ず次のように設定してください。

どのファイルを使用する場合についても同じですので、ファイル「2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1 試用版.xlsm」を用いて説明させていただきます

（1）Windows11またはWindows10の場合

ファイルを立ち上げていくと次の[図29]の画面「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」のタブ「シート選択、処理呼出1」が表示されます。但し、ファイルの種類によってはコマンドボタンの種類や大きさの表示が異なります。

[図 2 9]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BA, BB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | キャンセル | システム終了

上の [図 2 9]の画面において

インターフェース画面設定

をクリックするとシート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図 3 0]画面のようになります。

[図 3 0]

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

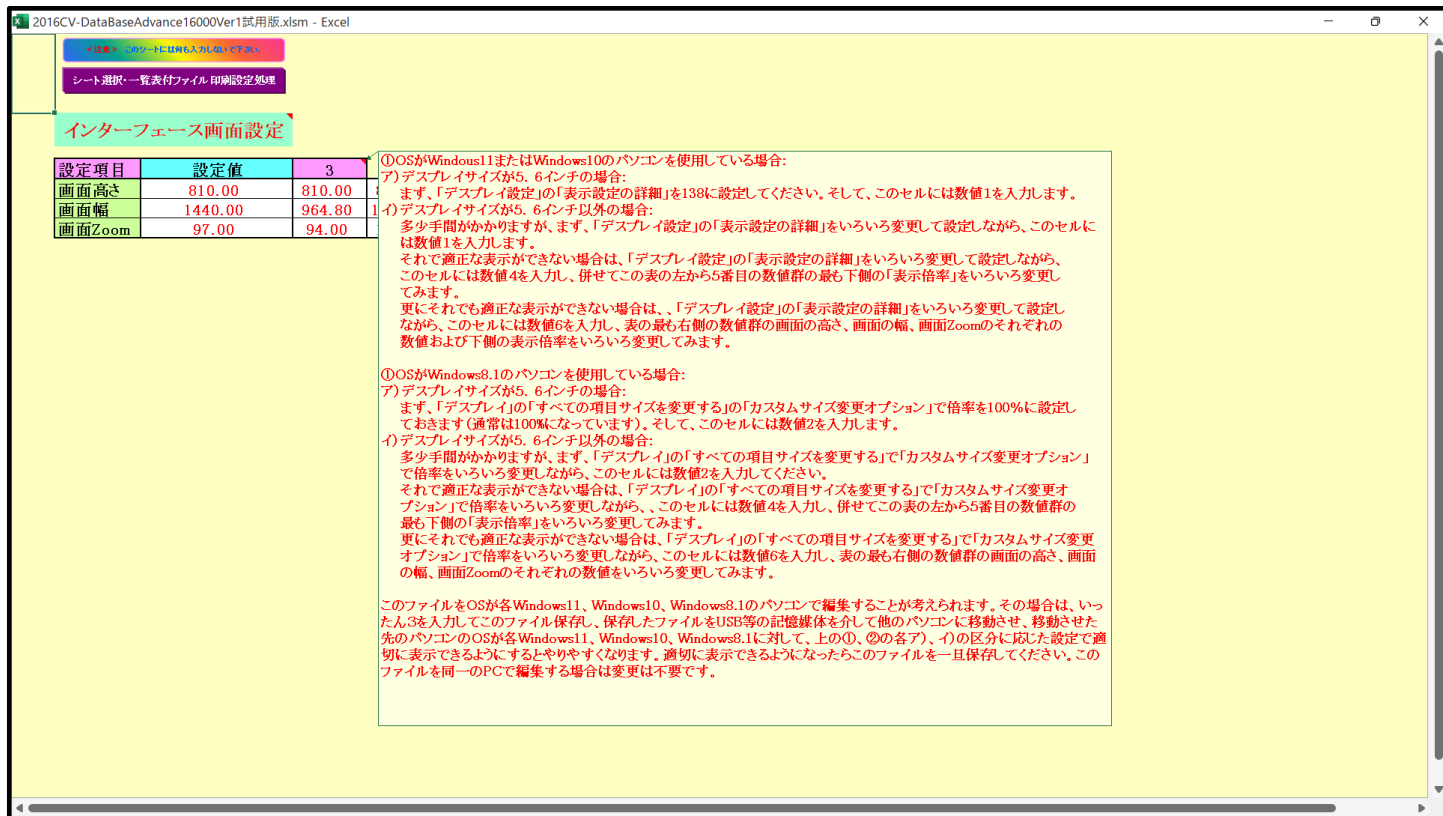
設定項目	設定値	3					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	97.00	94.00	100.00		97.00	94.00	100.00
				表示倍率	1.00	1.00	

上の[図 3 0]画面のセル

3

にポインターを近づけると、次の[図 3 1]画面のようになります。

[図 3 1]



となり、コメント

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:
 ア) デ스플레이サイズが5.6インチの場合:
 まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。
 イ) デ스플레이サイズが5.6インチ以外の場合:
 多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。
 それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
 更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:
 ア) デ스플레이サイズが5.6インチの場合:
 まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。
 イ) デ스플레이サイズが5.6インチ以外の場合:
 多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。
 それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。
 更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

このファイルをOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対して、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

上の[図 3 1]画面のセル **3** の値を **1** に変更し、次の[図 3 2]の画面ようになります。

[図 3 2]

設定項目	設定値	1					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	94.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 3 2]の画面の状況でコマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** をクリックすると次の[図 3 3]の画面ようになり、正常なユーザーフォームの表示となります。

[図 3 3]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 | >

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | キャンセル | システム終了

更に上の[図 3 2]の画面セル **1** の値を **2** に変更し、次の[図 3 4]の画面のようになります。

[図 3 4]

2016CV-DataBaseAdvance16000Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	2					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	100.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の次の[図 3 4]の画面の状況でコマンドボタンをクリックする、次の[図 3 5]の画面のようになります。

[図 3 5]

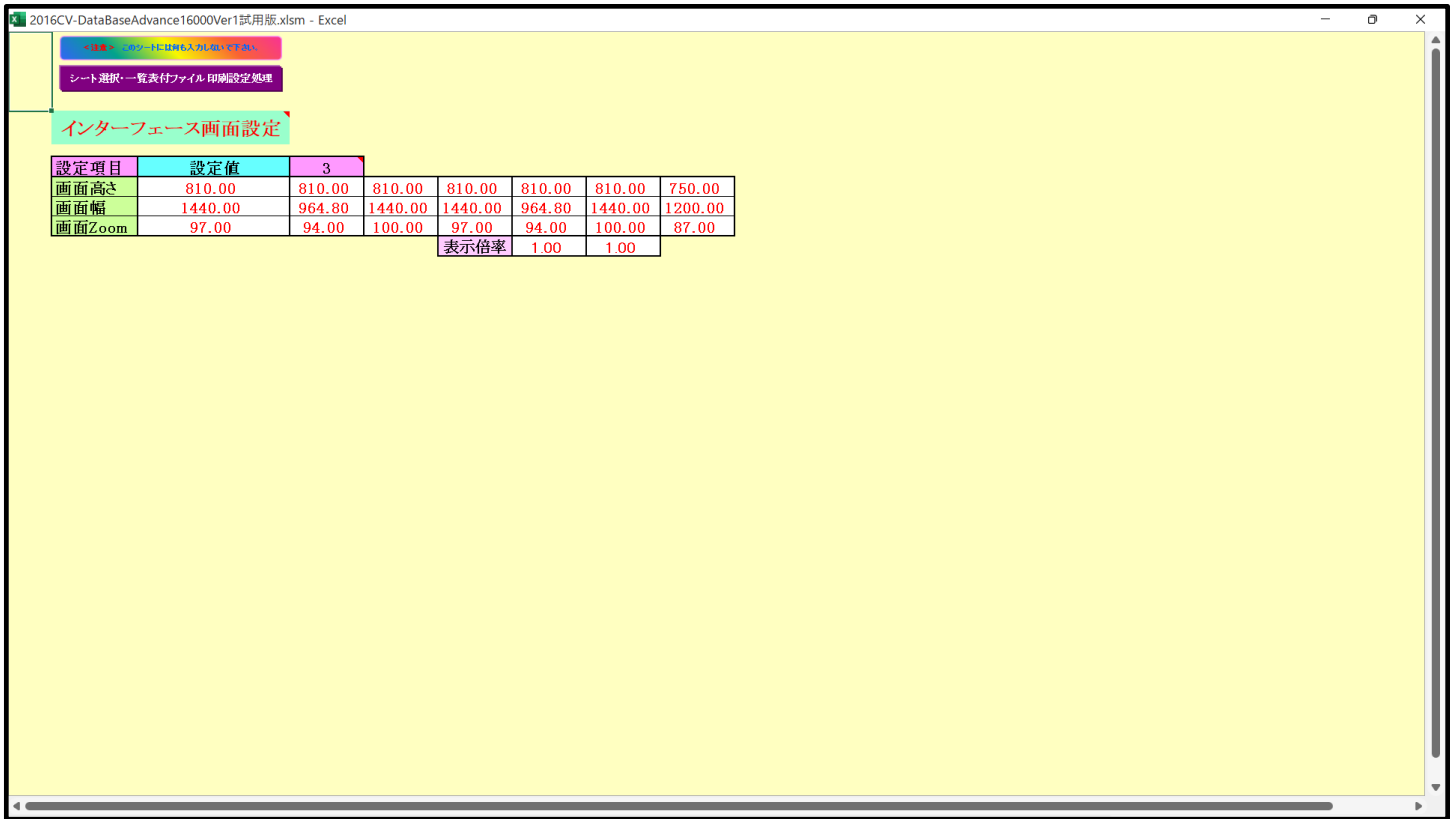
シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
シート選択, 処理呼出1 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA, AB, BA, BB選択 入力シートCA, CB, DA, DB選択 印刷フォームシート選択 印刷フォームソートデータ選択 3			
シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了	

上の[図 3 5]の画面では正常なユーザーフォームの表示よりもかなり大きめの表示となってしまいます。

そして、次に上の[図 3 4]の画面のセル **2** の値を **3** に変更し、次の[図 3 6]の画面のようにしてます。

[図 3 6]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 3 6]の画面の状況でコマンドボタンをクリックすると、次の[図 3 7]の画面のようになります。

[図 3 7]



上の[図 3 7]の画面は正常なユーザーフォームの表示よりもやや大きめの表示となりますが、正常なユーザーフォ

ームの表示にかなり近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

(2) Windopws8.1 の場合

ファイルを立ち上げていくと、次の[図 3 8]の画面「シート選択・一覧表付ファイル作成入力設定処理」のタブ「シート選択、処理呼出1」が表示されます。

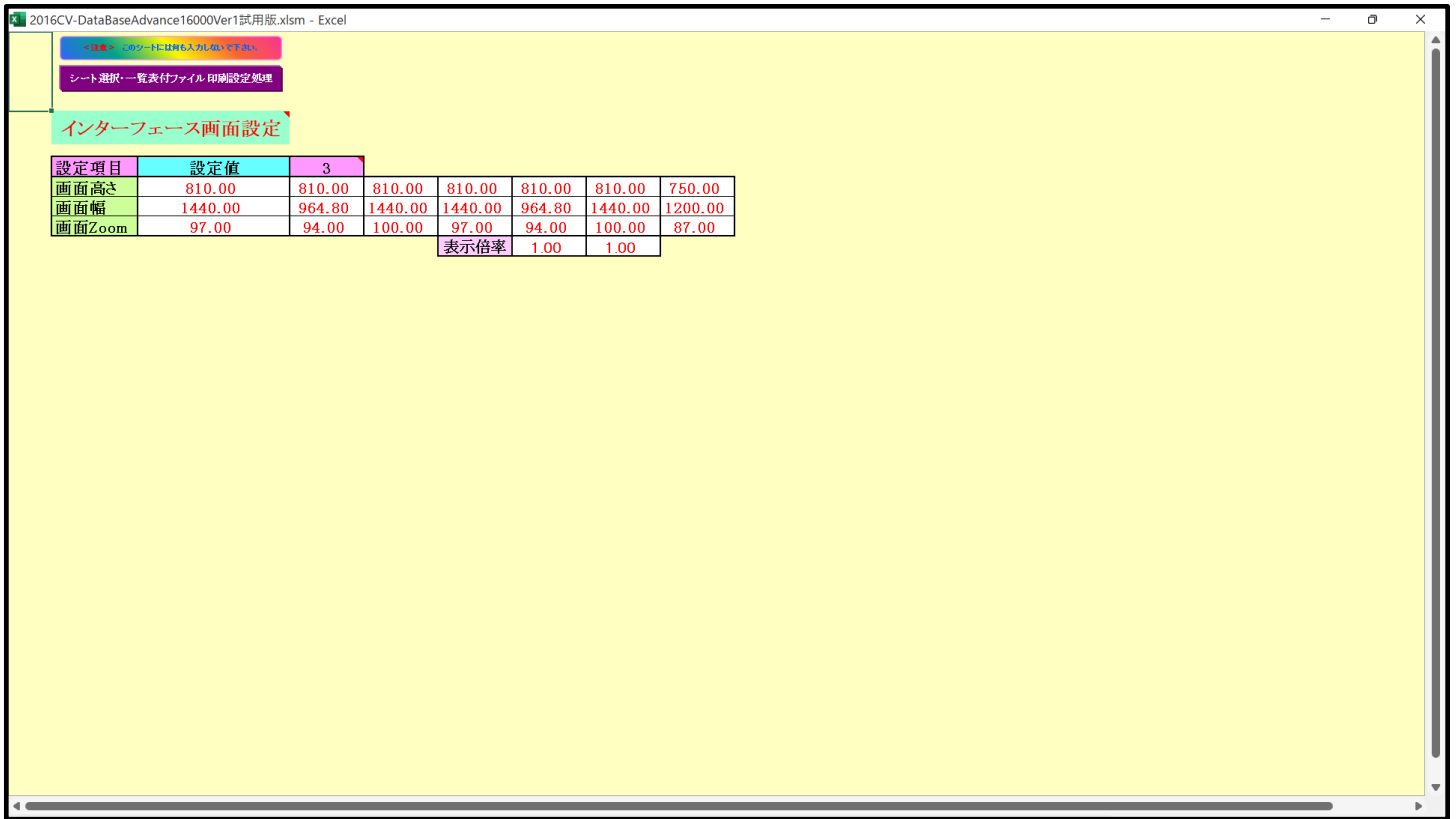
[図 3 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷			
[シート選択、処理呼出1] 処理呼出2 処理呼出3 処理呼出4 処理呼出5 処理呼出6 処理呼出7 処理呼出8 入力シートAA、AB、BABB選択 入力シートCA、CB、DA、DB選択 印刷フォームシート選択 印刷フォームシートデータ			
シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	キャンセル	システム終了	

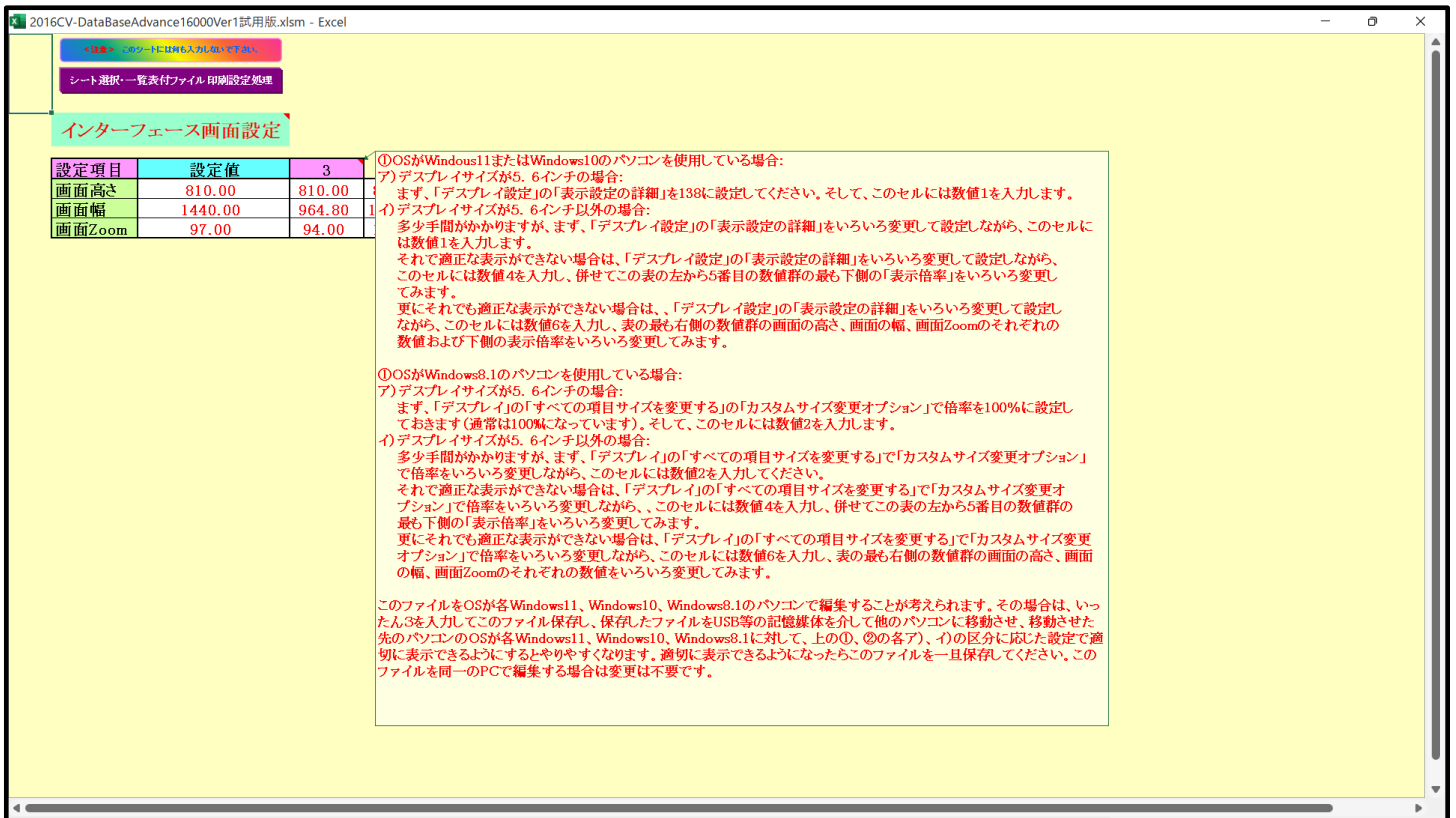
上の[図 3 8]画面において、コマンドボタン **インターフェース画面設定** をクリックすると、シート「インターフェース画面設定」が表示され次の[図 3 9]画面のようになります。

【図 3 9】



上の【図 3 9】画面のセル

【図 4 0】



となりコメント

①OSがWindows11またはWindows10のパソコンを使用している場合:

ア)ディスプレイサイズが5.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」を138に設定してください。そして、このセルには数値1を入力します。

イ)ディスプレイサイズが5.6インチ以外の場合:

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値1を入力します。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ設定」の「表示設定の詳細」をいろいろ変更して設定しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値および下側の表示倍率をいろいろ変更してみます。

①OSがWindows8.1のパソコンを使用している場合:

ア)ディスプレイサイズが5.6インチの場合:

まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」の「カスタムサイズ変更オプション」で倍率を100%に設定しておきます(通常は100%になっています)。そして、このセルには数値2を入力します。

イ)ディスプレイサイズが5.6インチ以外の場合:

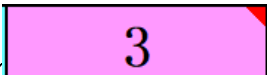

多少手間がかかりますが、まず、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値2を入力してください。

それで適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値4を入力し、併せてこの表の左から5番目の数値群の最も下側の「表示倍率」をいろいろ変更してみます。

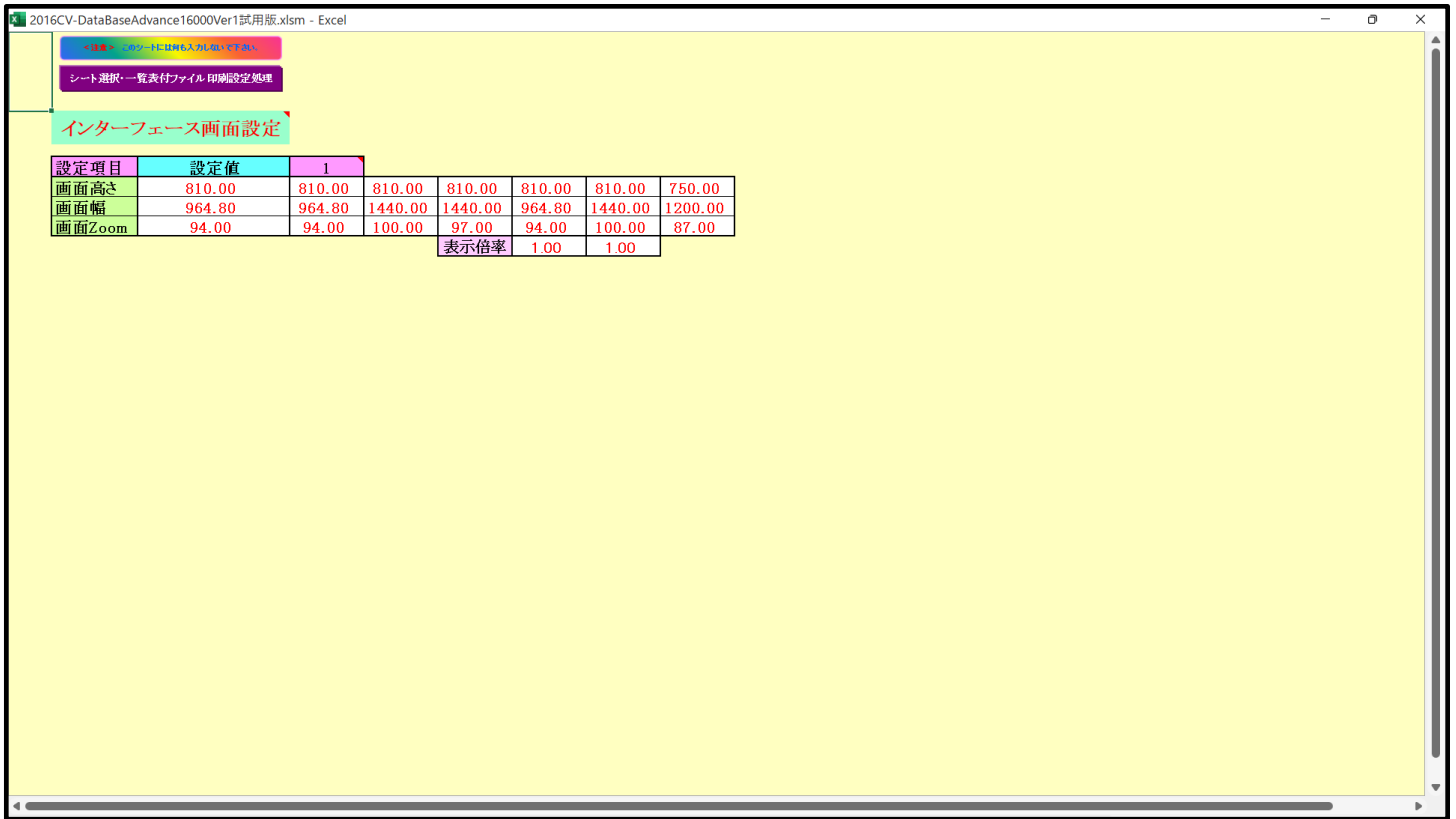
更にそれでも適正な表示ができない場合は、「ディスプレイ」の「すべての項目サイズを変更する」で「カスタムサイズ変更オプション」で倍率をいろいろ変更しながら、このセルには数値6を入力し、表の最も右側の数値群の画面の高さ、画面の幅、画面Zoomのそれぞれの数値をいろいろ変更してみます。

このファイルをOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1のパソコンで編集することが考えられます。その場合は、いったん3を入力してこのファイル保存し、保存したファイルをUSB等の記憶媒体を介して他のパソコンに移動させ、移動させた先のパソコンのOSが各Windows11、Windows10、Windows8.1に対して、上の①、②の各ア)、イ)の区分に応じた設定で適切に表示できるようにするとやりやすくなります。適切に表示できるようになったらこのファイルを一旦保存してください。このファイルを同一のPCで編集する場合は変更は不要です。

が表示されます。

次に上の[図39]画面のセル  の値を  に変更し、次の[図41]画面ようにしてみます。

[図 4 1]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図 4 1]画面の状況でコマンドボタンをクリックすると、次の[図 4 2]画面のようになってしまいます。

[図 4 2]



上の[図 4 2]画面ではユーザーフォームの横幅がかなり狭くなっており、編集しづらくなってしまいます。

更に、[図 4 1]画面のセル **1** の値を **2** に変更し、次の[図 4 3]画面のようになります。

[図 4 3]

設定項目	設定値	2					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	1440.00	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	100.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

上の[図 4 3]画面の状況で[図 4 3]画面の**シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理**をクリックすると、次の[図 4 4]画面のようになります。

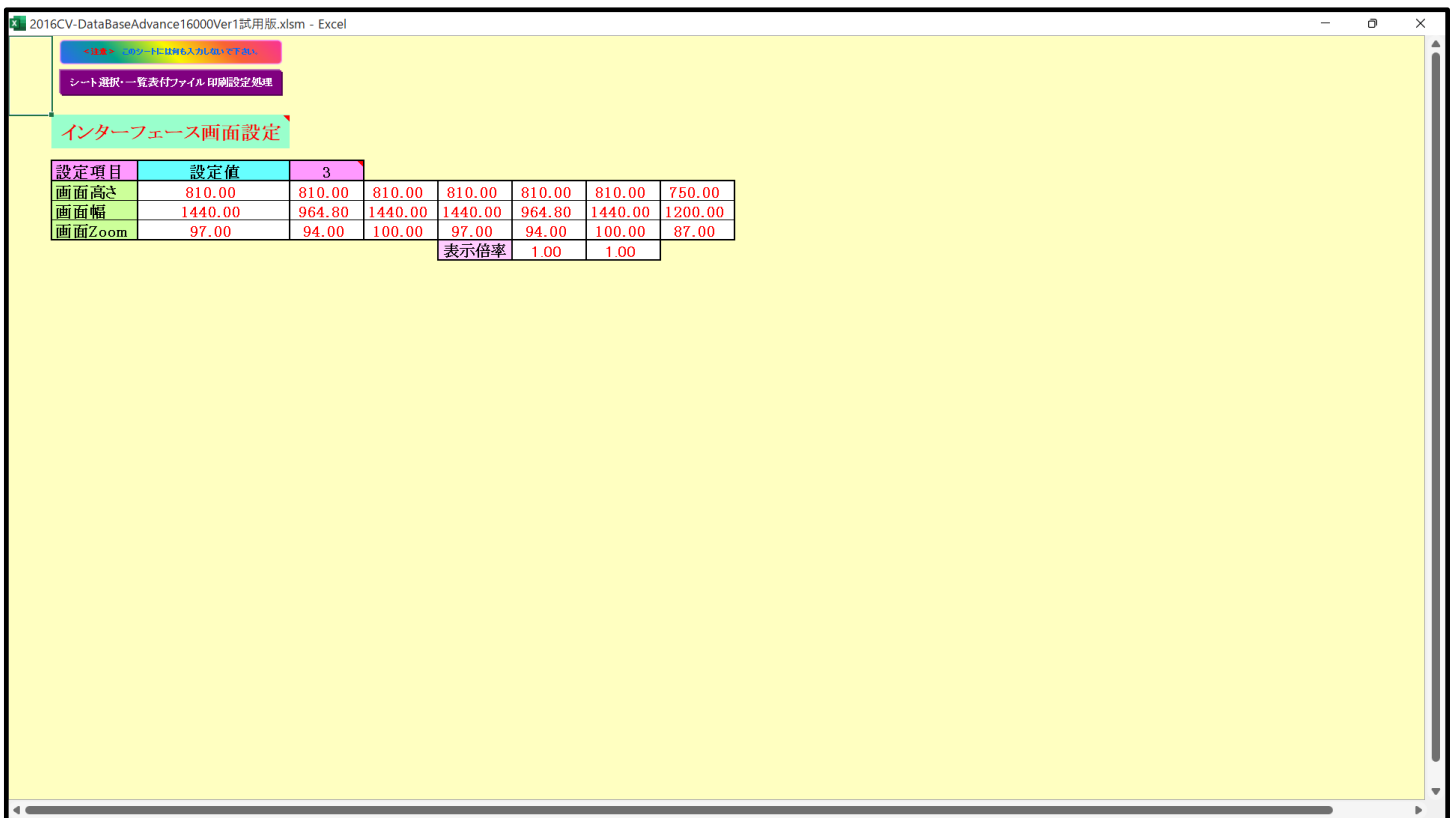
[図 4 4]



上の[図 4 4]画面のユーザーフォームの表示は正常なります。

そして更に、上の[図 4 3]画面のセル 2 の値を 3 に変更し、次の[図 4 5]画面のようにします。

[図 4 5]



上の[図45]の画面の状況で、[図45]の画面のコマンドボタンをクリックすると、次の[図46]の画面のようになります。

[図46]

シート名設定	行列入力項目A	入力からソートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	ソートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 全画面表示 シート見出し表示 シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 キャンセル システム終了

上の[図46]の画面のユーザーフォームの表示は、正常な表示よりもやや小さいですが、それでもかなり正常な表示に近い表示となります。デフォルトではこのような設定になっています。

4. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの開き方

上の2. 2016 試用版個別ファイル登録書き換え実行後の5個のファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

はセットで使用するファイルで同じフォルダーにコピーして使用する必要があります。

とくに

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

の4個のファイルは相互にワークシート関数でリンクされており、4個を同時に開いて編集・印刷等の処理をおこなって本来の威力発揮できるシステムです。そして、ファイル

「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

は上の相互にワークシート関数でリンクされた4個のファイルの開閉、選択等をおこなうためのファイルです。

上の相互にワークシート関数でリンクされた4個のファイルは、個々に1つずつ開いて編集する

こともできますが、必ずファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を立ち上げ、このファイルを介して開いて編集等の処理をおこなってください。

それでは、ファイルの開き方について説明してまいります。

まず、ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を立ち上げると、次の[図47]の画面が表示されます。

[図47]



(1) 4個のファイルを個々に開く方法

上の[図47]の画面の 2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm を開く で囲まれたコマンドボタンをクリックするとクリックしたコマンドボタンに表示されたファイルが開きます。

まず、コマンドボタン

2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

が呼び出され、途中、選択ボタン 更新する(U) をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図48]の画面が表示されます。

[図 4 8]



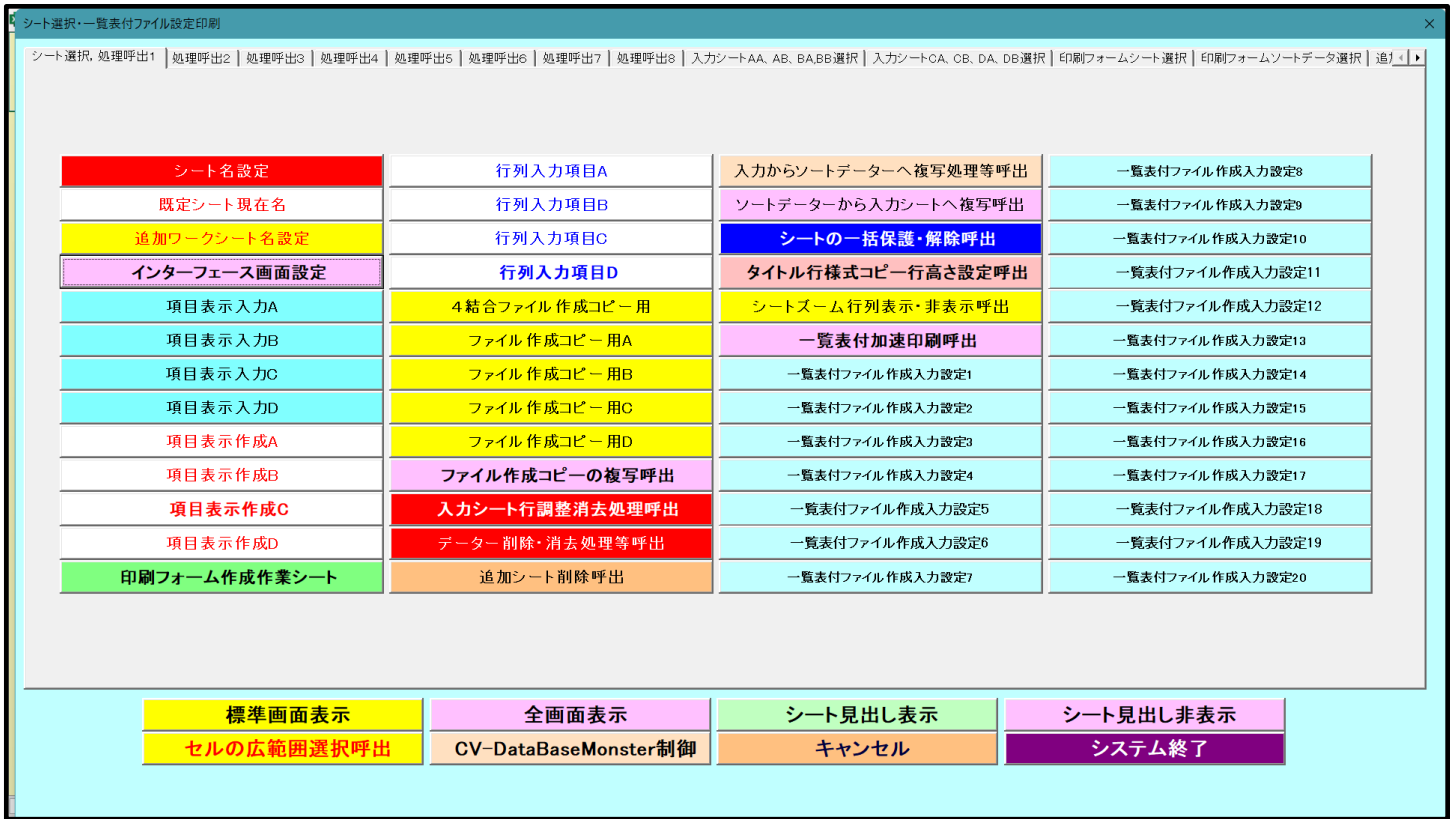
使用開始

上の[図 4 8]の画面の**使用開始**のボタンをクリックすると、引き続き下の[図 4 9]の画面がしばらく表示された後、その下の[図 5 0]の画面が表示されます。

[図 4 9]



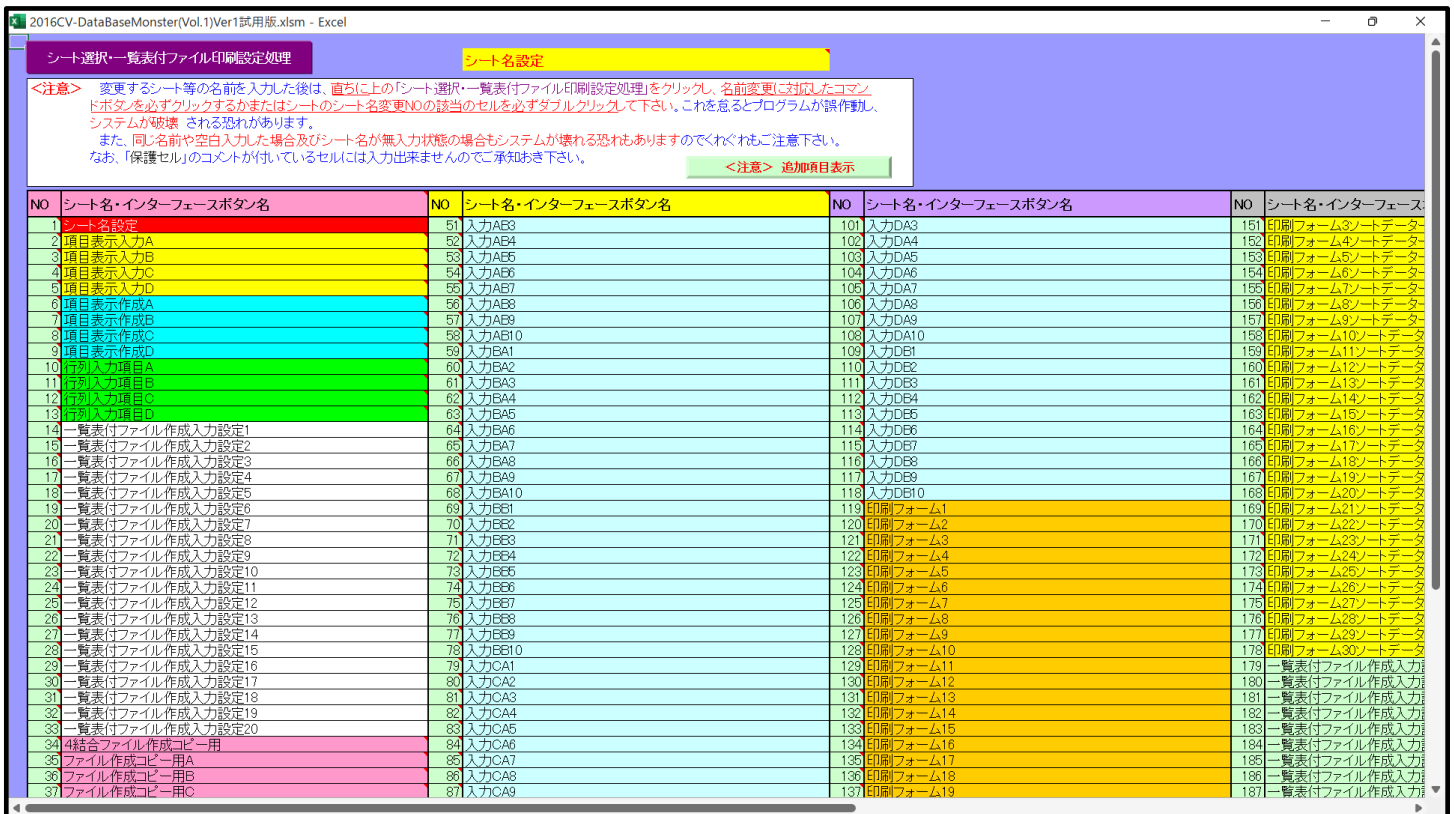
[図 5 0]



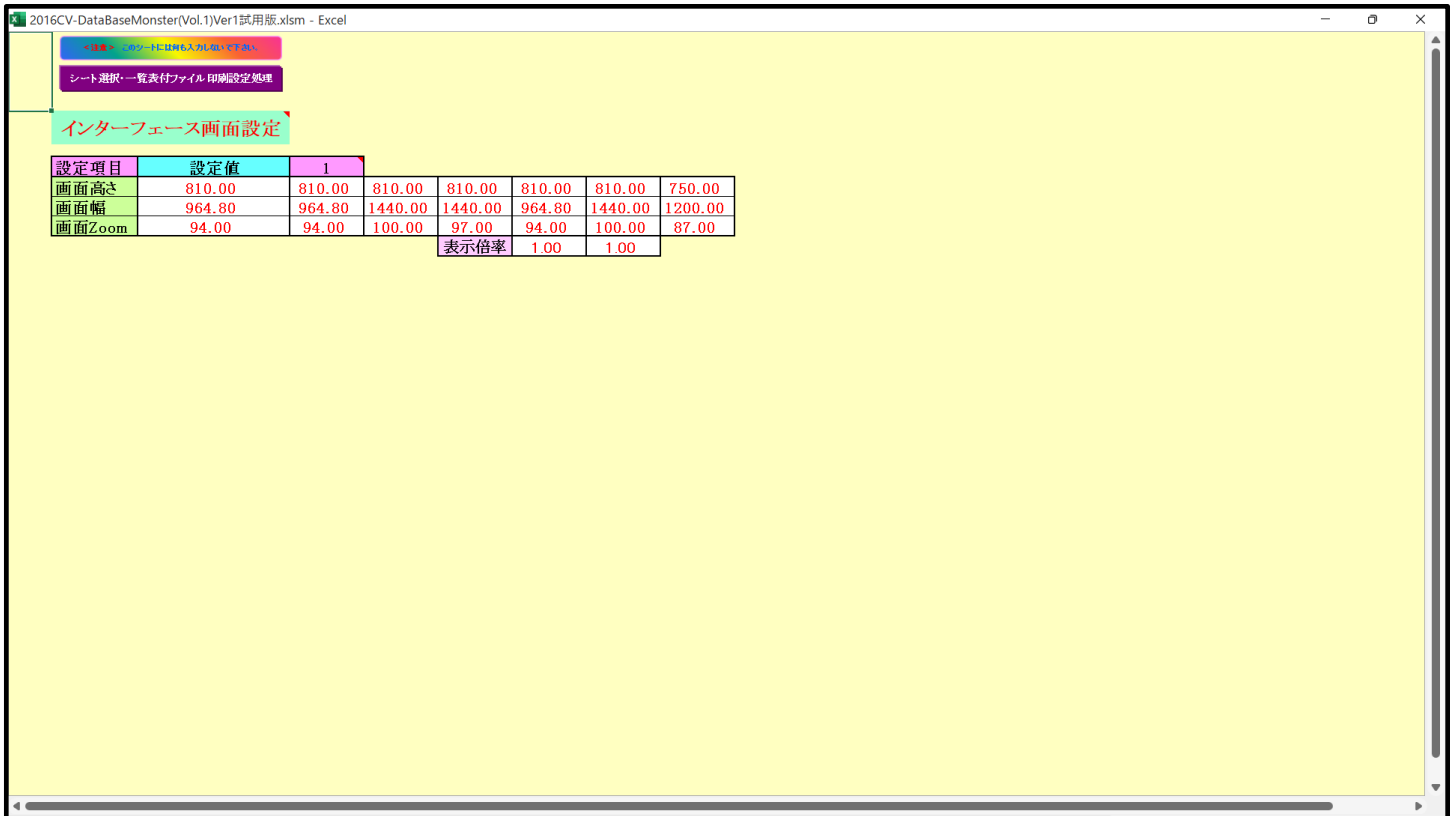
シート名設定

そして、上の[図 5 0]の画面の**シート名設定**をクリックすると、下の[図 5 1]の画面がしばらく表示された後、[図 5 2]の画面が表示され、さらに[図 5 3]の画面が表示されたら、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作は完了します。

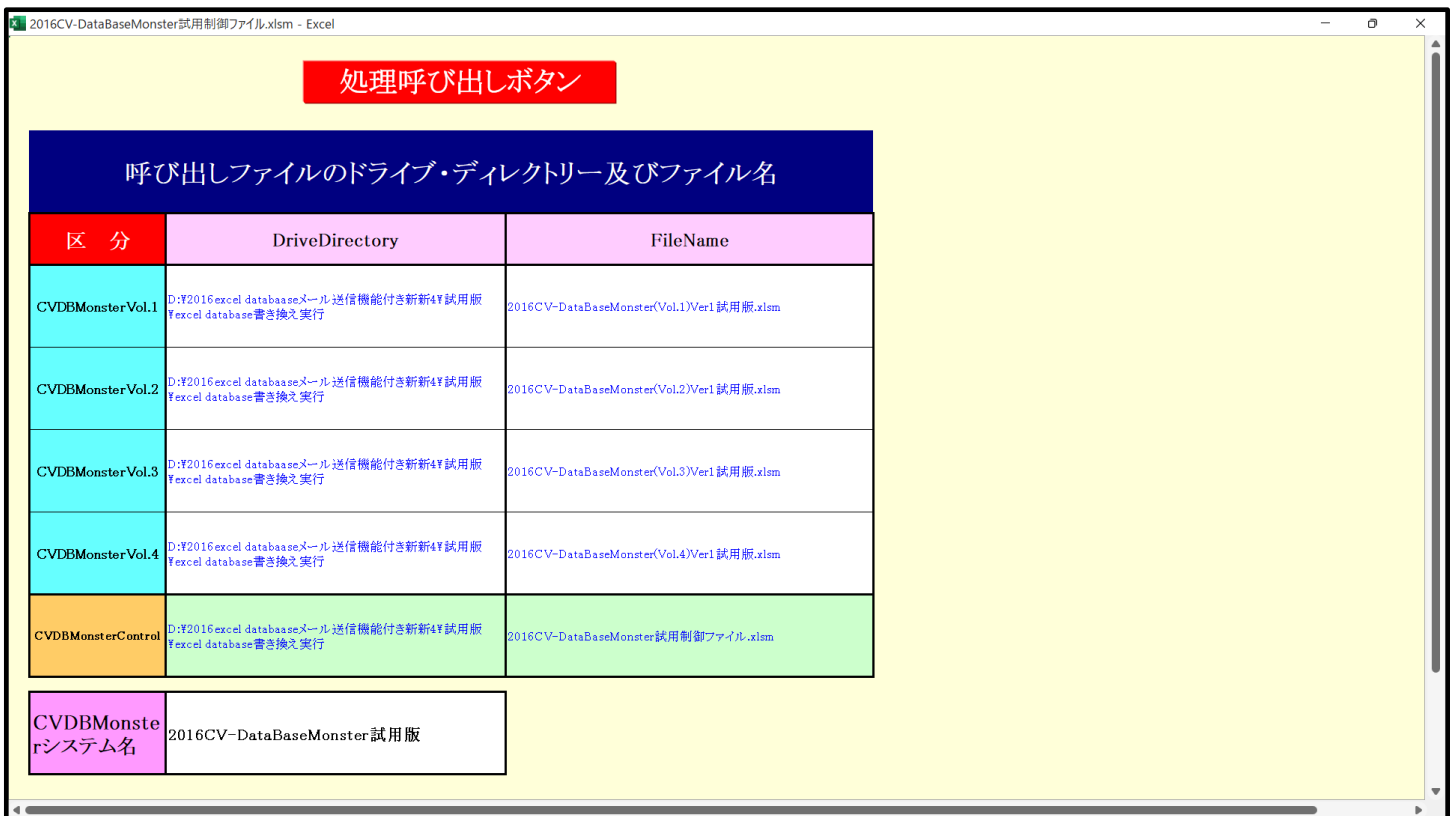
[図 5 1]



[図 5 2]



[図 5 3]



次にファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開きますが、まず、上の [図 5 3]の画面の Command ボタン

処理呼び出しボタン

をクリックすると再び次の[図 5 4]の画面が表示

されます。

[図 5 4]



上の[図 5 4]の画面でコマンドボタン

2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施していく

と、次の[図 5 5]の画面が表示されます。

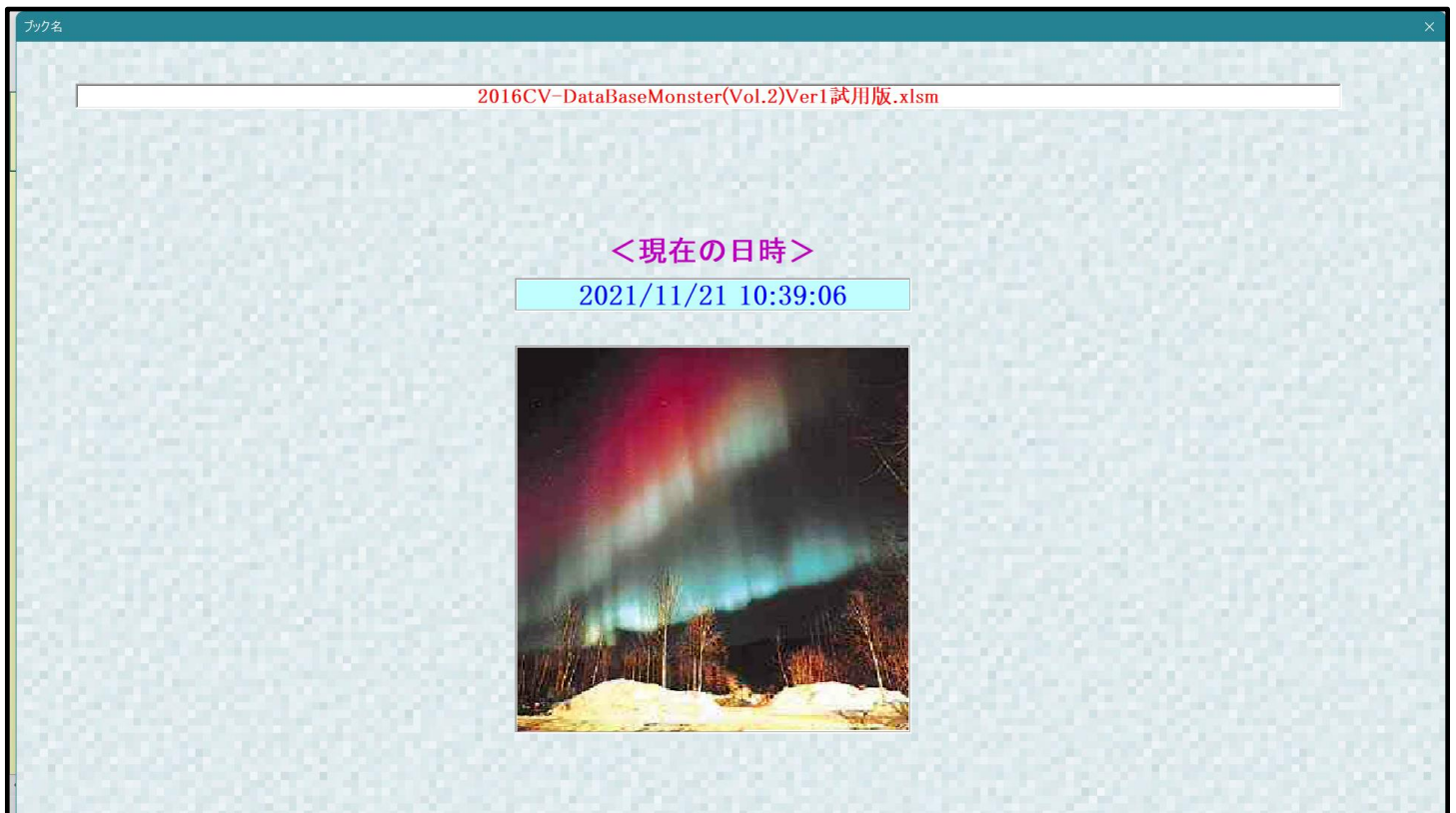
[図 5 5]



使用開始

上の[図 5 5]の画面のコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図 5 6]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 5 7]の画面が表示されます。

[図 5 6]



[図 5 7]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

そして、上の[図 5 7]の画面の**シート名設定**をクリックすると、下の[図 5 8]の画面がしばらく表示された後、[図 5 9]の画面が表示され、さらに[図 6 0]の画面が表示されたら、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作は完了します。

[図 5 8]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm - Excel

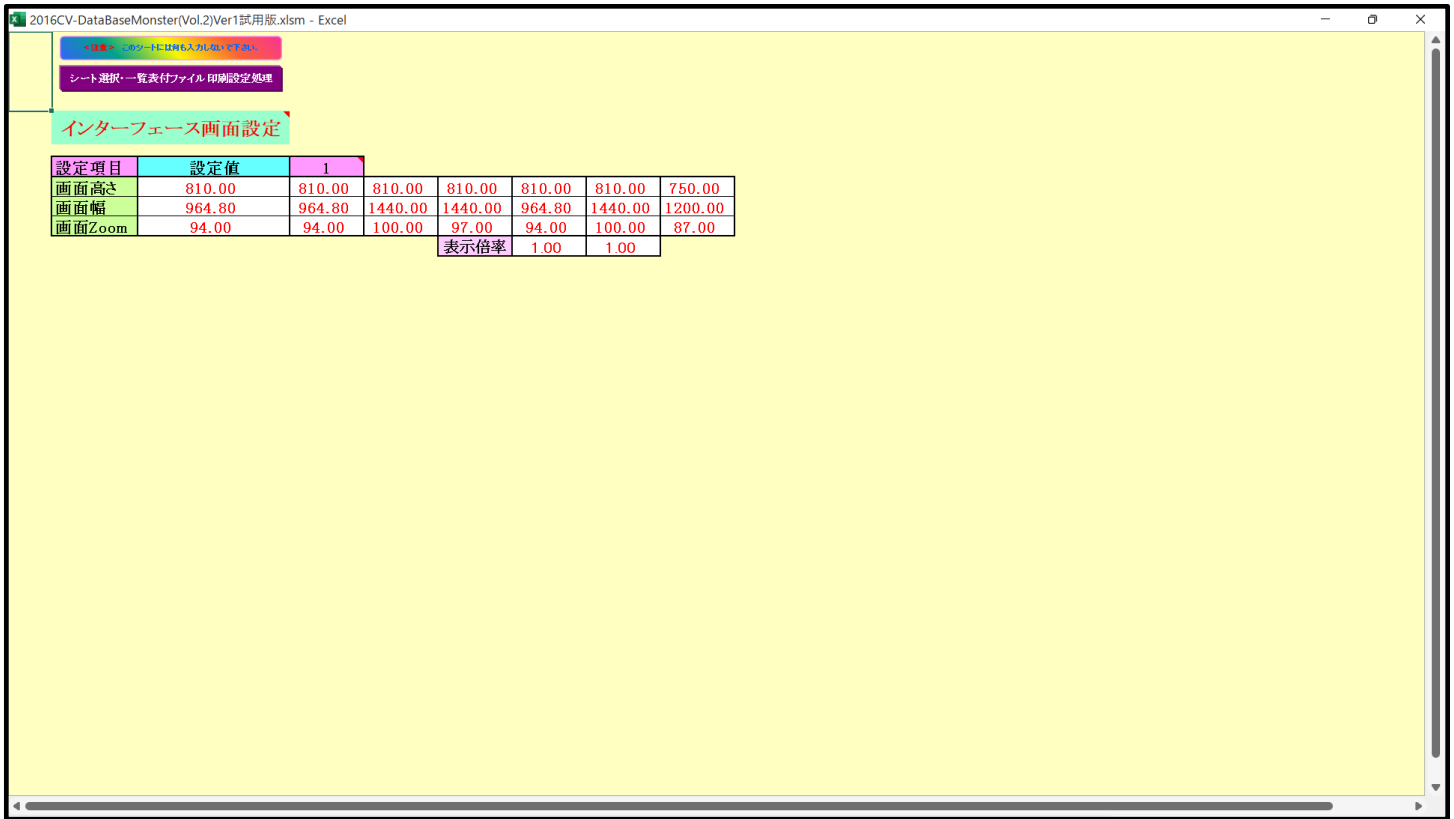
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 | シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

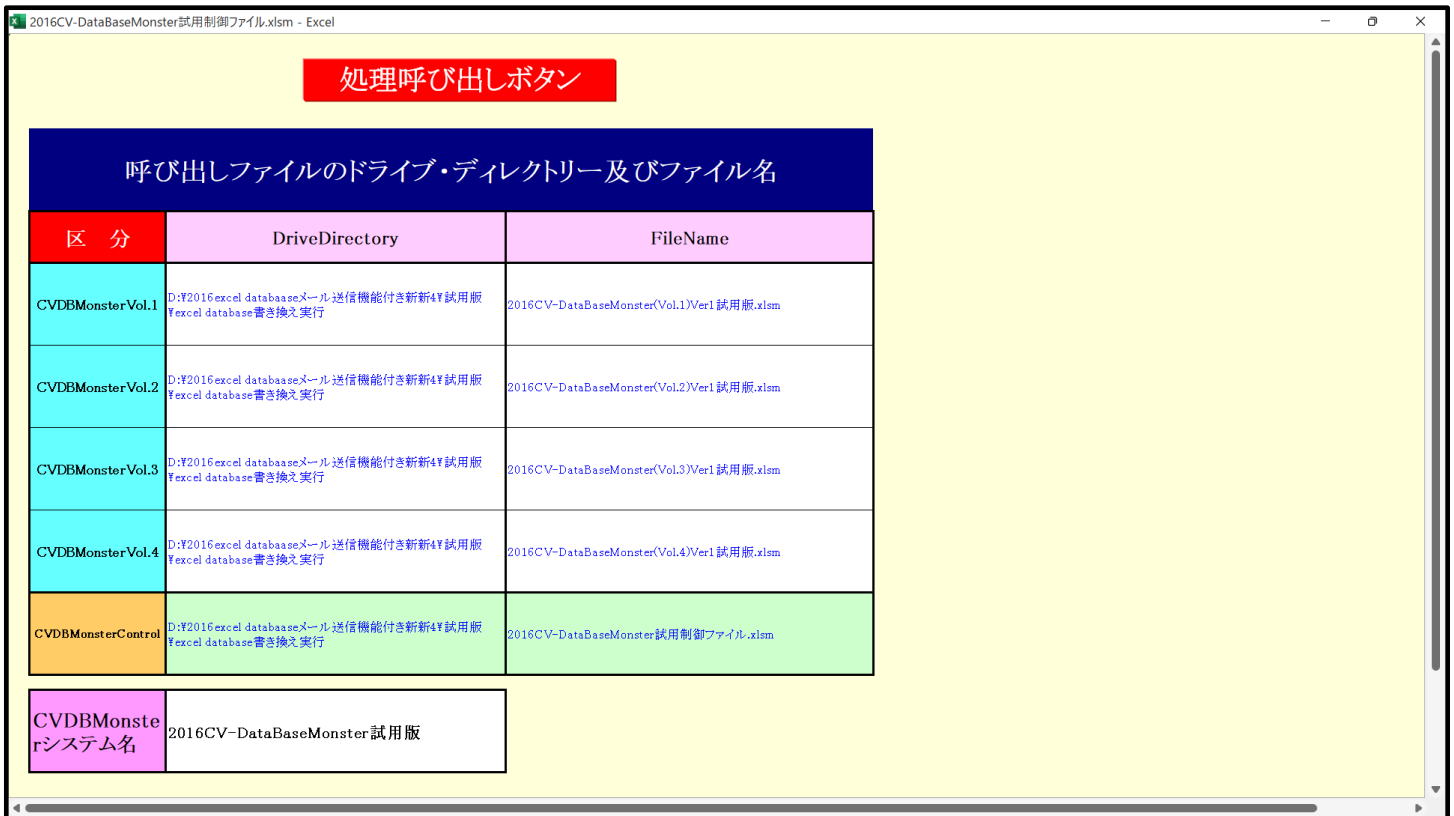
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェース
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DE1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

[図 5 9]



[図 6 0]



そして更にファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」を開きますが、まず、上の[図 6 0]のコマンドボタン



をクリックすると再び次の[図 6 1]の画面が表示されます。

[図 6 1]



上の[図 6 1]の画面でコマンドボタン

2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

の呼出しが開始されます。途中、選択ボタン

更新する(U)

をクリックして立ち上げ操作を実施してい

くと、次の[図 6 2]の画面が表示されます。

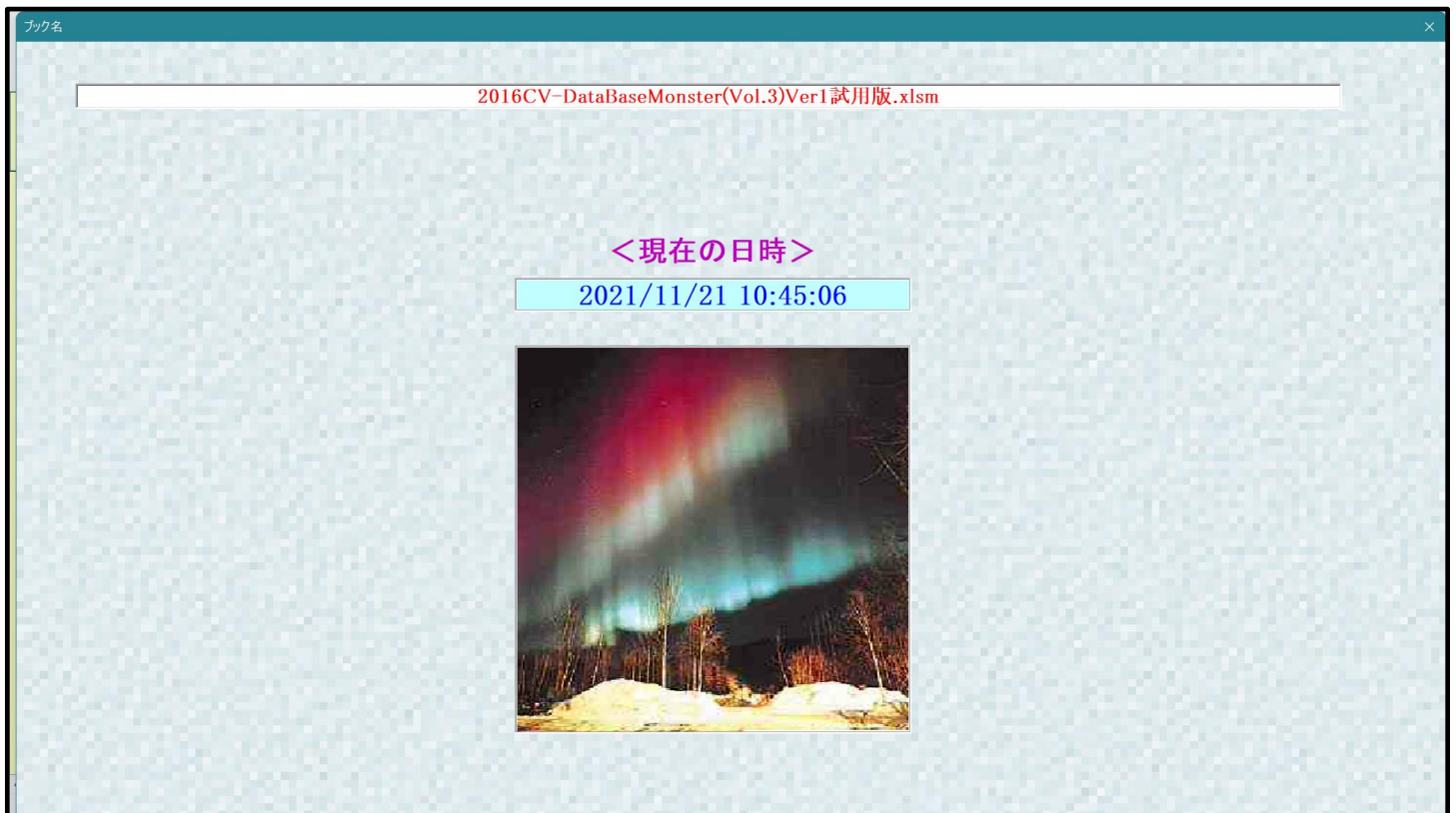
[図 6 2]



使用開始

上の[図 6 2]の画面の**使用開始**をクリックすると、引き続き下の[図 6 3]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 6 4]の画面が表示されます。

[図 6 3]



[図 6 4]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の[図 6 4]の画面の**シート名設定**をクリックすると、下の[図 6 5]の画面がしばらく表示された後、[図 6 6]の画面が表示され、さらに[図 6 7]の画面が表示されたら、ファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作は完了します。

[図 6 5]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm - Excel

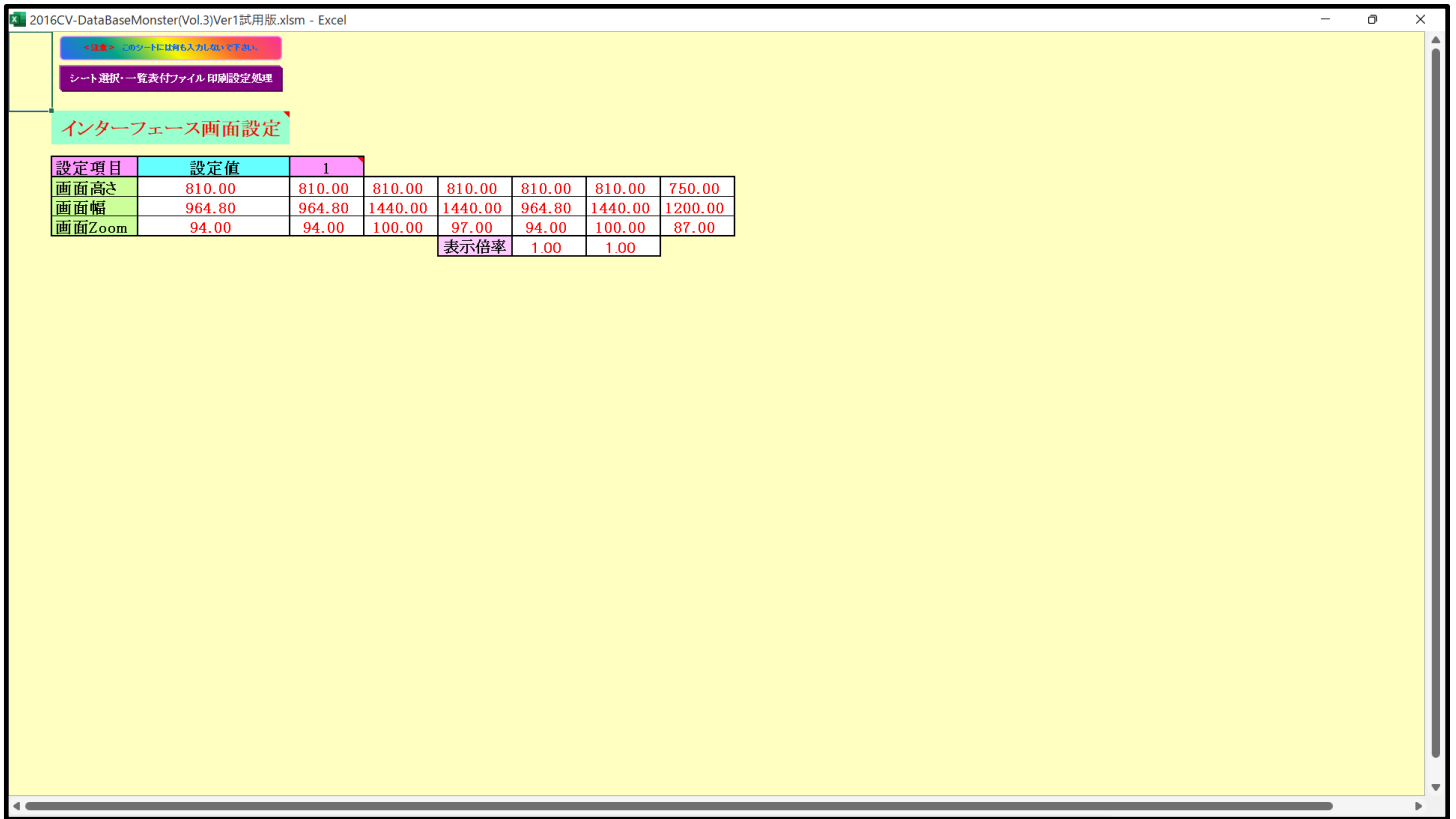
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 | シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

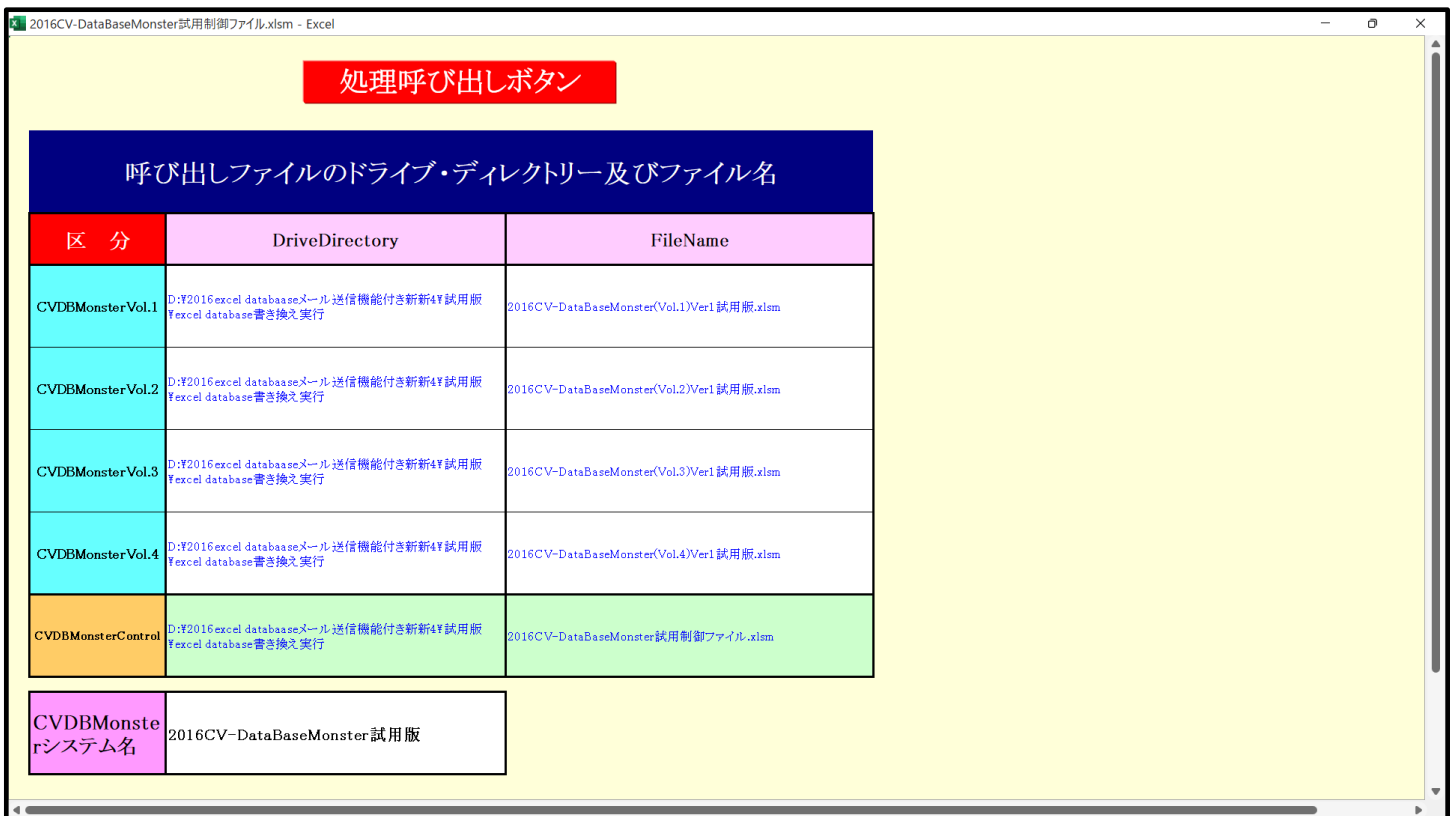
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DE1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

[図 6 6]



[図 6 7]



そして最後にファイル

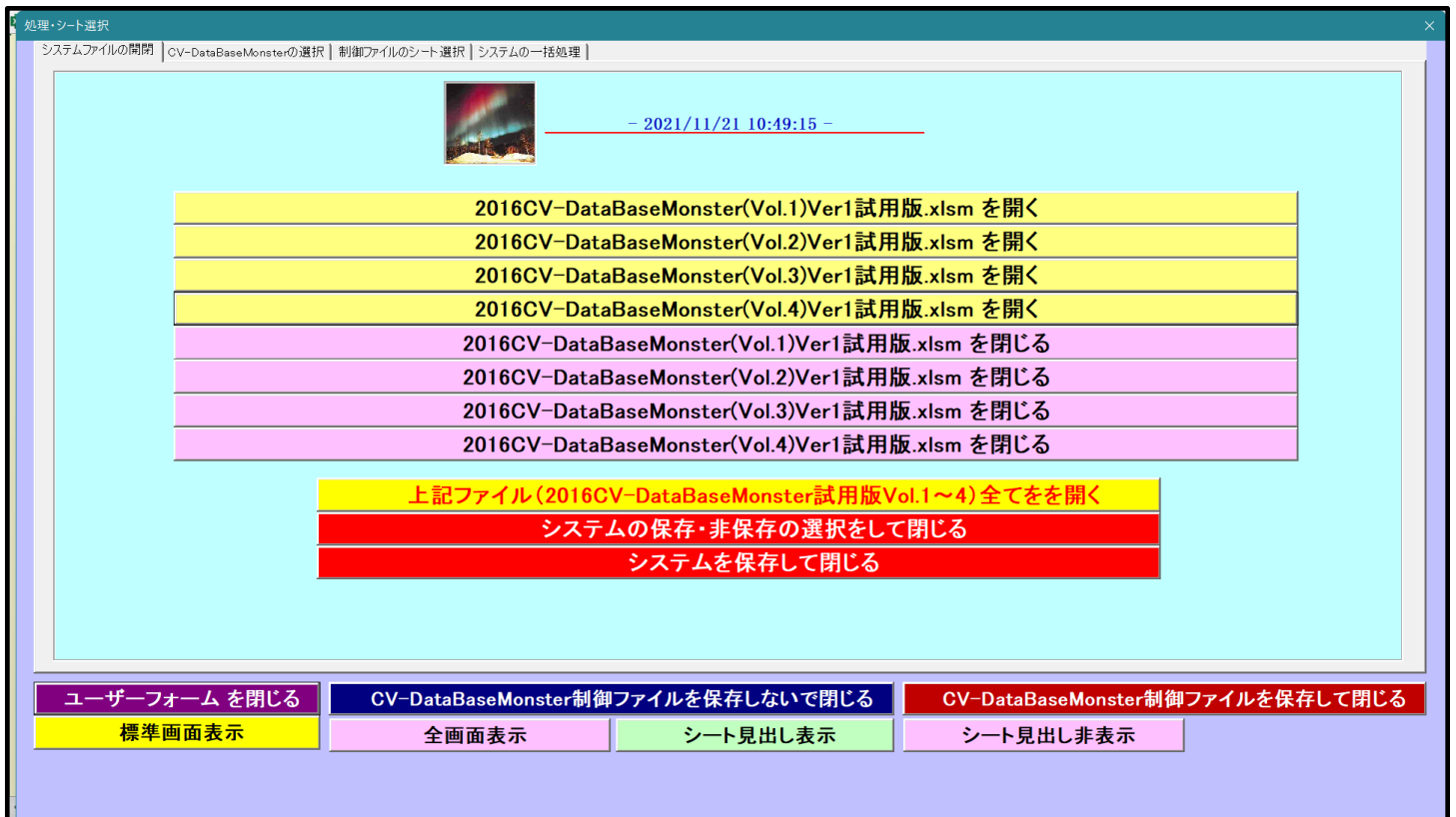
「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

を開きますが、まず、上の[図 6 7]のコマンドボタン

処理呼び出しボタン

をクリックすると再び次の[図 6 8]の画面が表示されます。

[図 6 8]



上の[図 6 8]の画面でコマンドボタン

2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm を開く

をクリックするとファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

の呼出しが開始されます。呼出しを実施していくと、このファイルの立ち上がり画面である次の[図 6 9]の画面が表示されます。

[図 6 9]



使用開始

上の[図 6 9]の画面の Command ボタン をクリックすると、引き続き下の[図 7 0]の画面 がしばらく表示された後、その下の[図 7 1]の画面が表示されます。

[図 7 0]



[図 7 1]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の[図 7 1]の画面の Command ボタン **シート名設定** をクリックすると、下の[図 7 2]の画面がしばらく表示された後、[図 7 3]の画面が表示され、さらに[図 7 4]の画面が表示されたら、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作は完了します。

[図 7 2]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

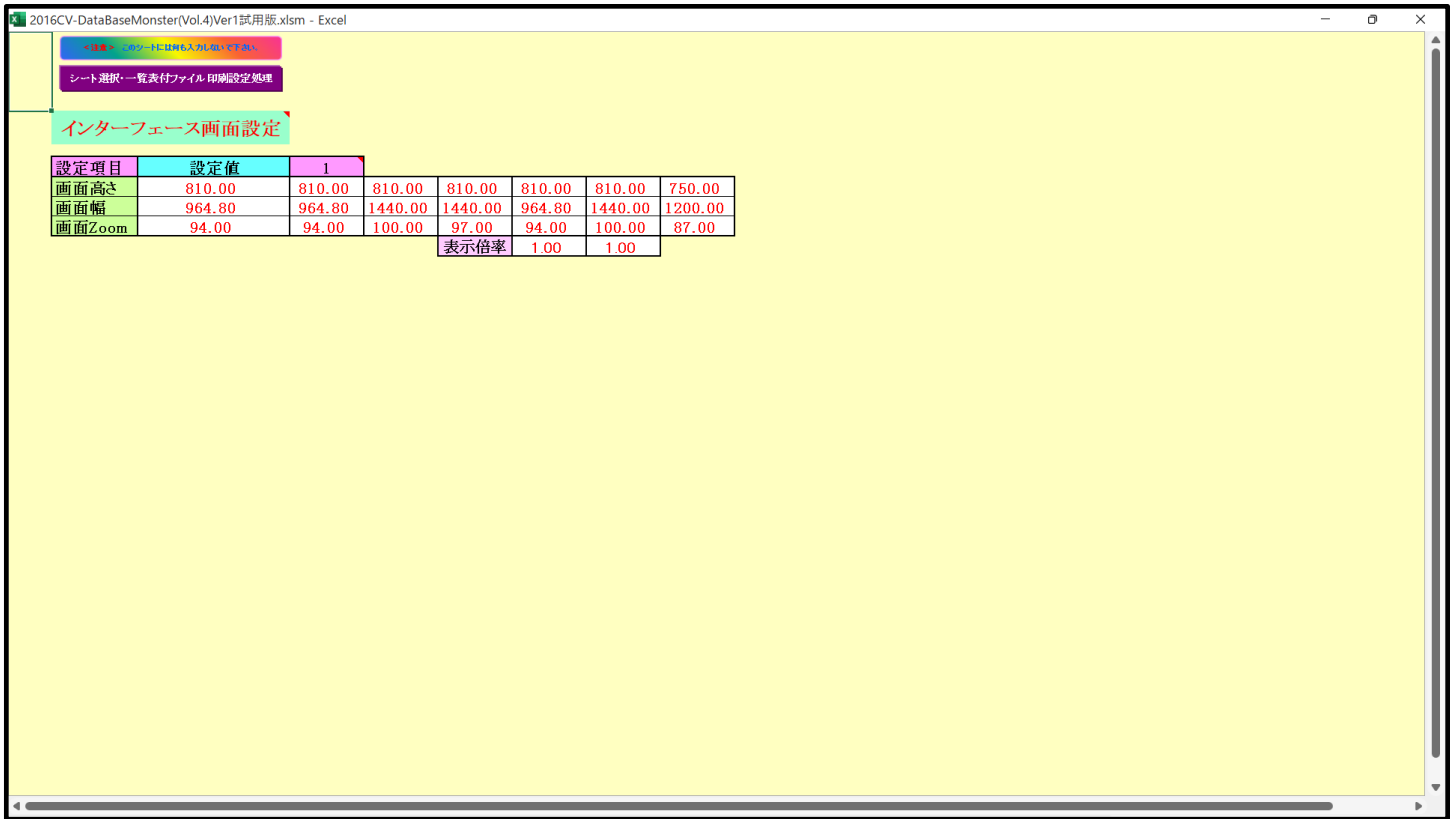
シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコメントボックスを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付きしているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

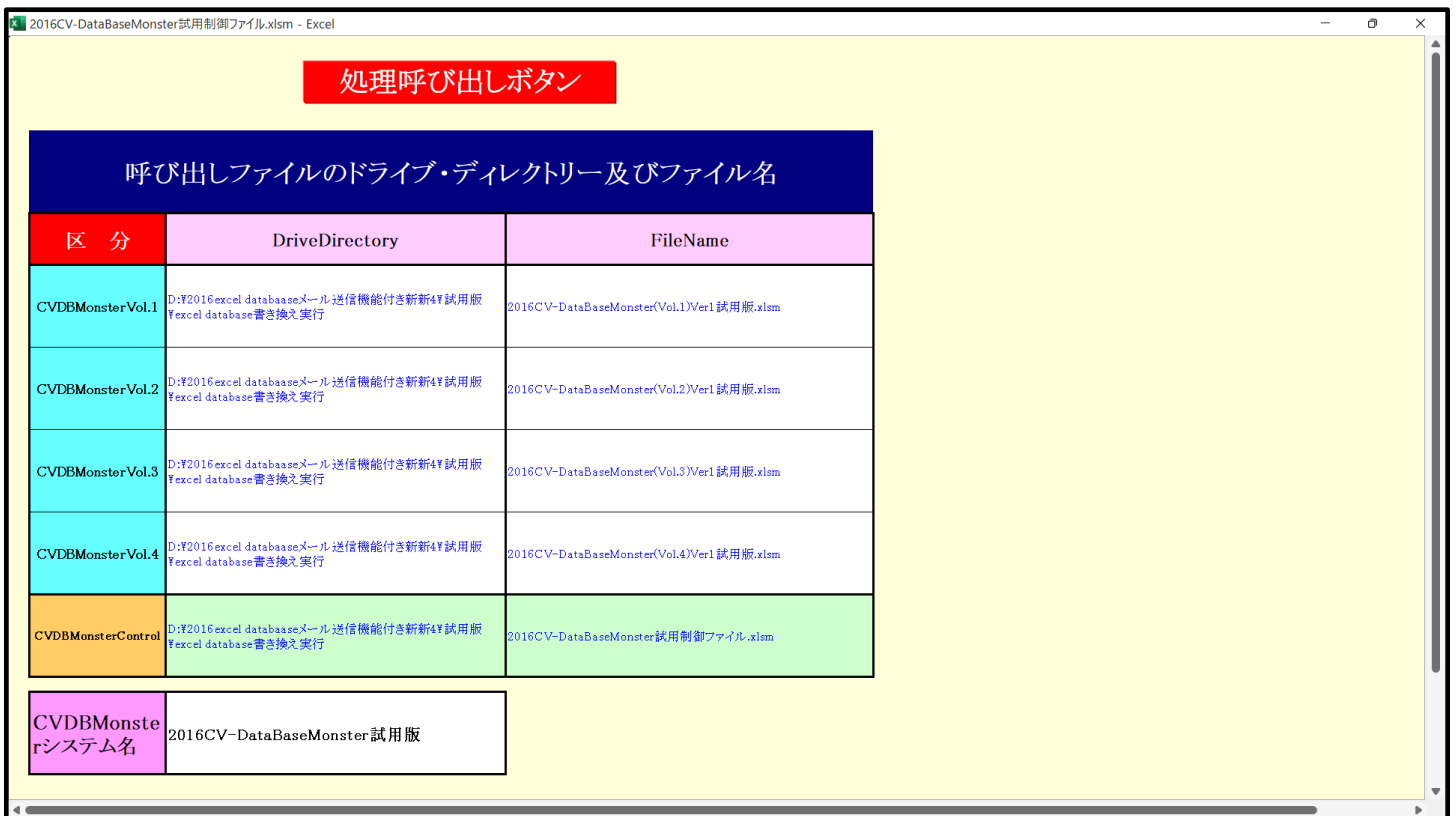
<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DA11	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力1
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力2
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力3
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力4
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力5
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力6
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力7
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力8
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力9

[図 7 3]



[図 7 4]



以上のようにして4個のファイル
 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
 が全て開かれます。

処理呼び出しボタン

なお、[図 7 4]においてコマンドボタンをクリックすると、ユーザーフォーム「処理・シート選択」が起動し、次の[図 7 5]の画面になります。

[図 7 5]



上の[図 7 5]の画面でタブ「CV-DataBaseMonsterの選択」を選択すると、下の[図 7 6]の画面になります。この[図 7 6]の画面で、開いた4個のファイル

- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のうち、編集等をおこないたいファイルを、コマンドボタンをクリックして選択することができます。

[図 7 6]



(2) 4個のファイルを一括して開く方法

ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」をダブルクリックして立ち上げると、次の[図 7 7]の画面が表示されてまいります。

[図 7 7]



上の[図 7 7]の画面のコマンドボタン

上記ファイル(2016CV-DataBaseMonster試用版Vol.1~4)全てを開く

をクリックすると4個のファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

が上から順に呼び出されます。実際コマンドボタンをクリックすると、途中、選択ボタンをクリックして立ち上げ操作を実施していくと、次の[図78]の画面が表示されます。

更新する(U)

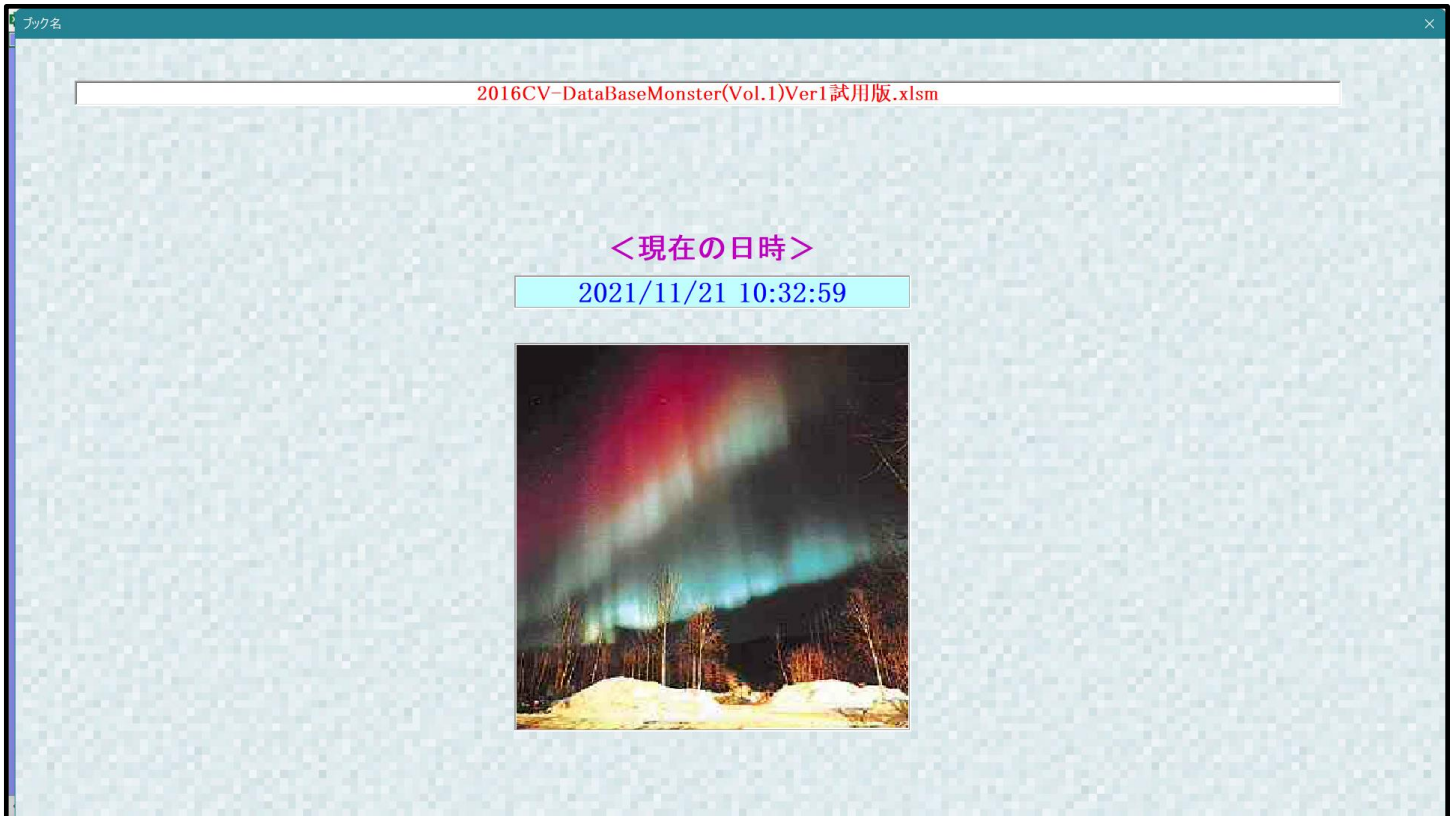
[図78]



使用開始

ここで上の[図78]の画面でコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図79]の画面がしばらく表示された後、その下の[図80]の画面が表示されます。

[図 7 9]



[図 8 0]



そして、上の[図 8 0]の画面の**シート名設定**をクリックすると、下の[図 8 1]の画面がしばらく表示された後、[図 8 2]の画面が表示され、さらに[図 8 3]の画面が表示されたら、ファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」を開く操作が完了し、すぐに次のファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作が開始されます。

【図 8 1】

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付けられているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェース
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DE1	159	印刷フォーム11ノートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12ノートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13ノートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14ノートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15ノートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16ノートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17ノートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18ノートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19ノートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20ノートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BB1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BB2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BB3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BB4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BB5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BB6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BB7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BB8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BB9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BB10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
34	#結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

【図 8 2】

シート選択一覧表付ファイル印刷設定処理

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	1					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	94.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

[図 8 3]

処理呼び出しボタン

呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名

区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonster システム名	2016CV-DataBaseMonster 試用版	

ファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作が開始されて、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、

ファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

の立ち上がり画面である次の[図 8 4]の画面が表示されます。

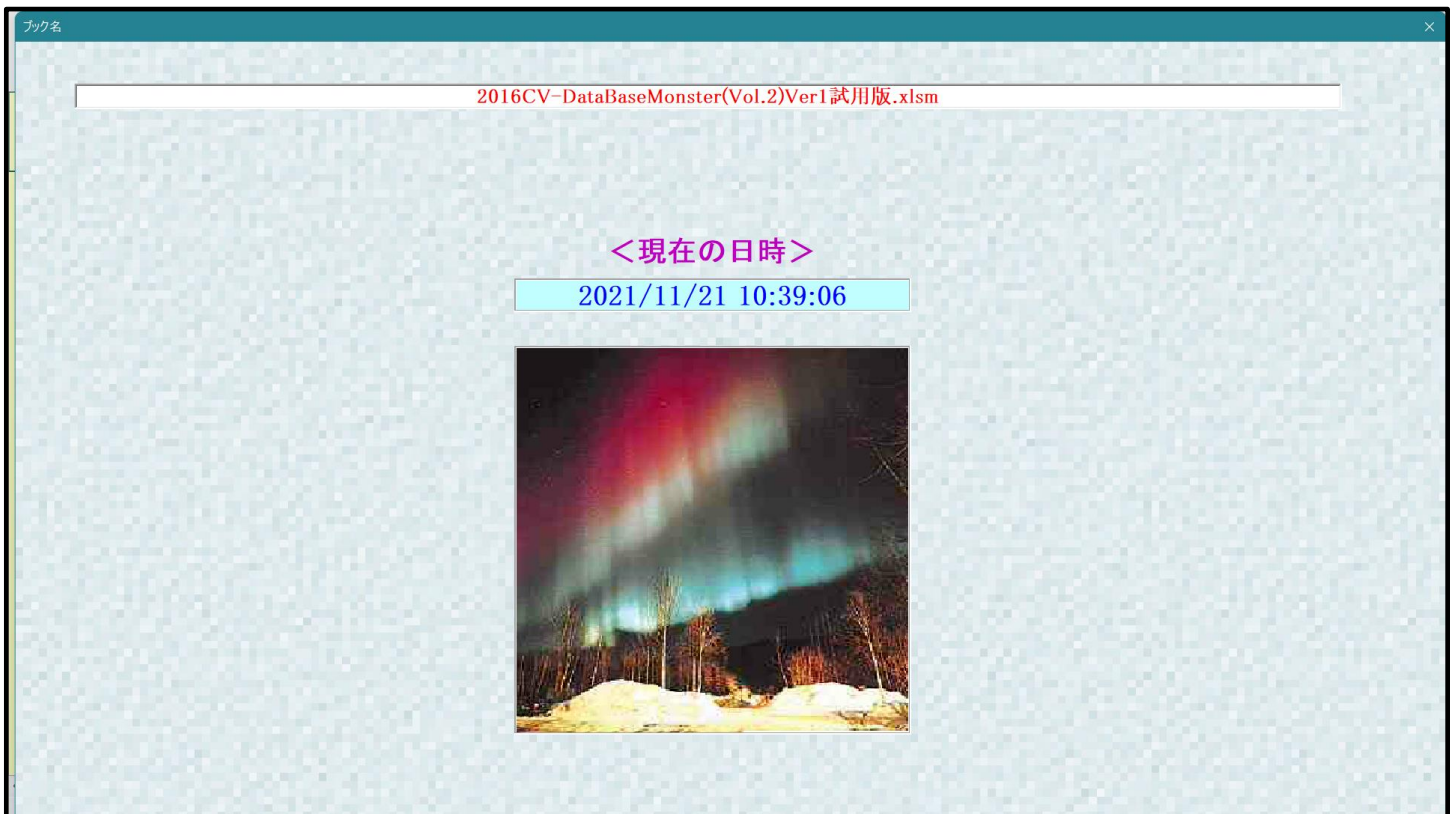
[図 8 4]



使用開始

上の[図 8 4]の画面の Command ボタン をクリックすると、引き続き下の [図 8 5]の画面」 がしばらく表示された後、その下の[図 8 6]の画面が表示されます。

[図 8 5]



[図 8 6]



そして、上の[図 8 6]の画面の**シート名設定**をクリックすると、下の[図 8 7]の画面がしばらく表示された後、[図 8 8]の画面が表示され、さらに[図 8 9]の画面が表示されたら、ファイル

「2016V-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が完了し、次のファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が開始されます。

[図 8 7]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが記しているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DE1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

[図 8 8]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

シート名設定

インターフェース画面設定

設定項目	設定値	1					
画面高さ	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	810.00	750.00
画面幅	964.80	964.80	1440.00	1440.00	964.80	1440.00	1200.00
画面Zoom	94.00	94.00	100.00	97.00	94.00	100.00	87.00
				表示倍率	1.00	1.00	

[図 8 9]

2016CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm - Excel

処理呼び出しボタン

呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名

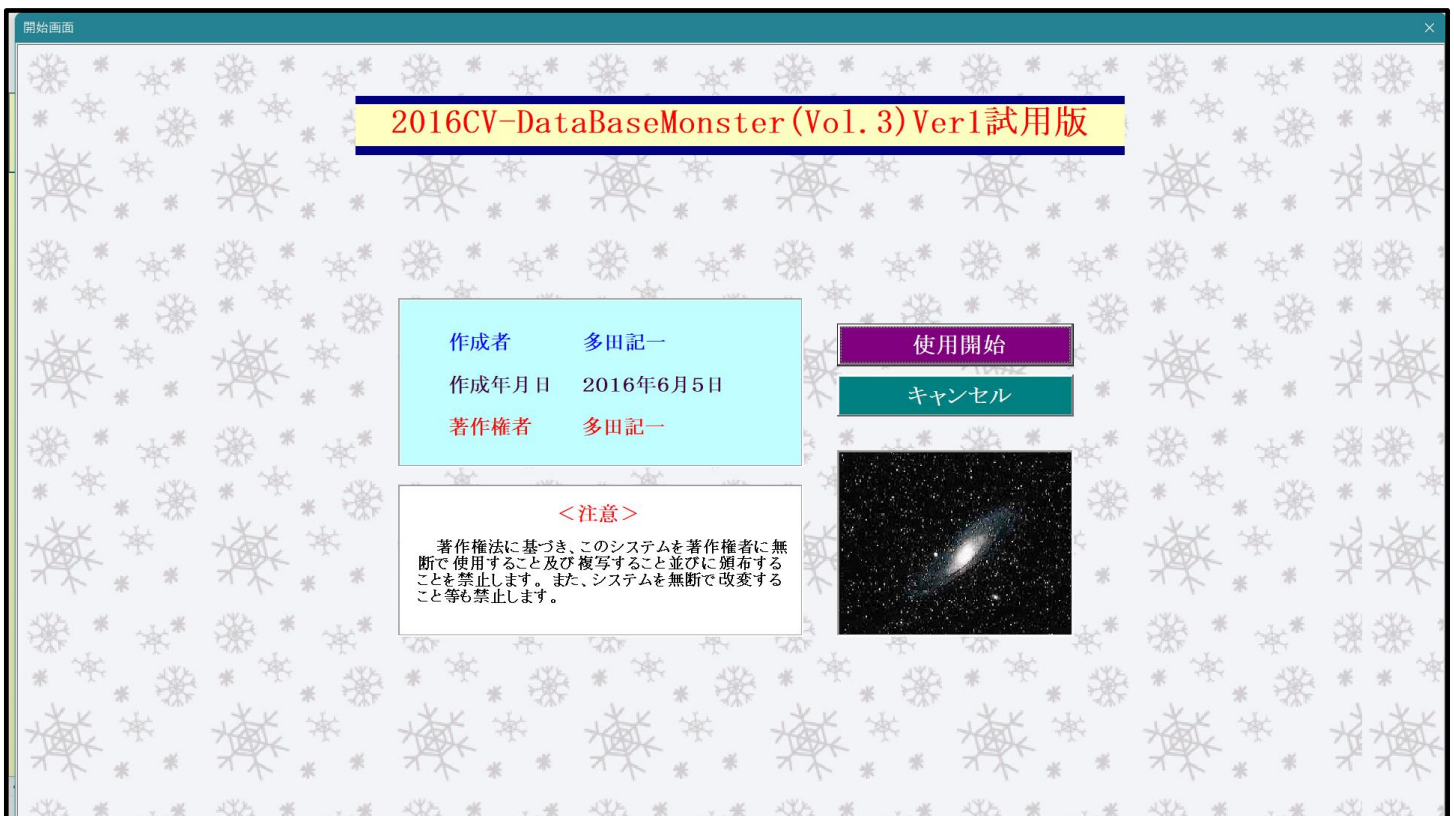
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4ヶ月試用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4ヶ月試用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4ヶ月試用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4ヶ月試用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新4ヶ月試用版 excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonsterシステム名	2016CV-DataBaseMonster試用版	

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く操作が開始されて、途中、選択ボタン **更新する(U)** をクリックして立ち上げ操作を実施していくと、ファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」の立ち上がり画面である次の[図 9 0]面が表示されます。

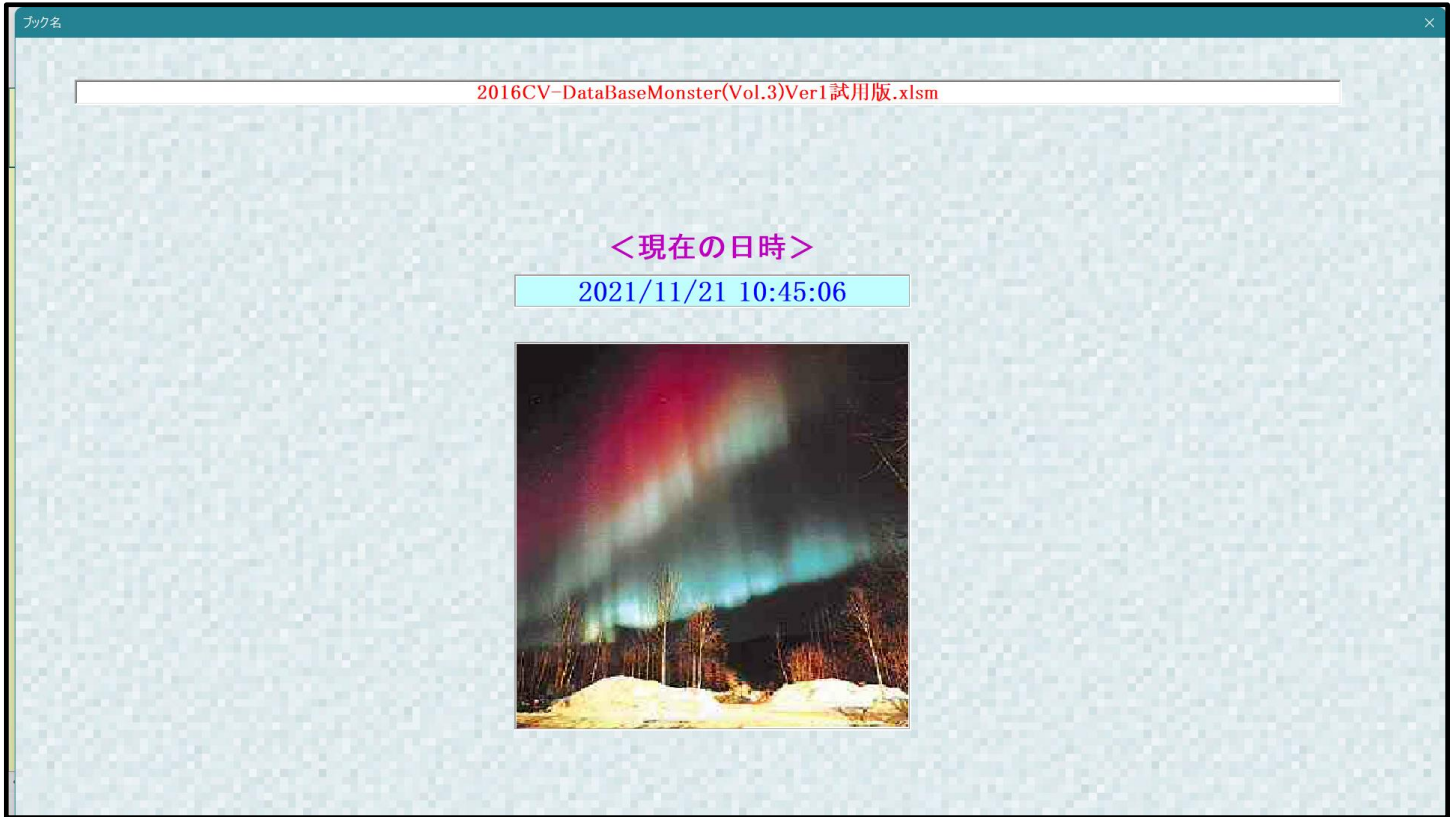
[図 9 0]



使用開始

ここで、上の[図90]の画面でコマンドボタンをクリックすると、引き続き下の[図91]の画面がしばらく表示された後、その下の[図92]の画面が表示されます。

[図91]



[図92]



シート名設定

そして、上の[図 9 2]の画面の Command ボタン をクリックすると、
 下の[図 9 3]の画面がしばらく表示された後、[図 9 4]の画面が表示され、さらに[図 9 5]の画面が表示されたら、
 ファイル

「2016V-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が完了し、次のファイル

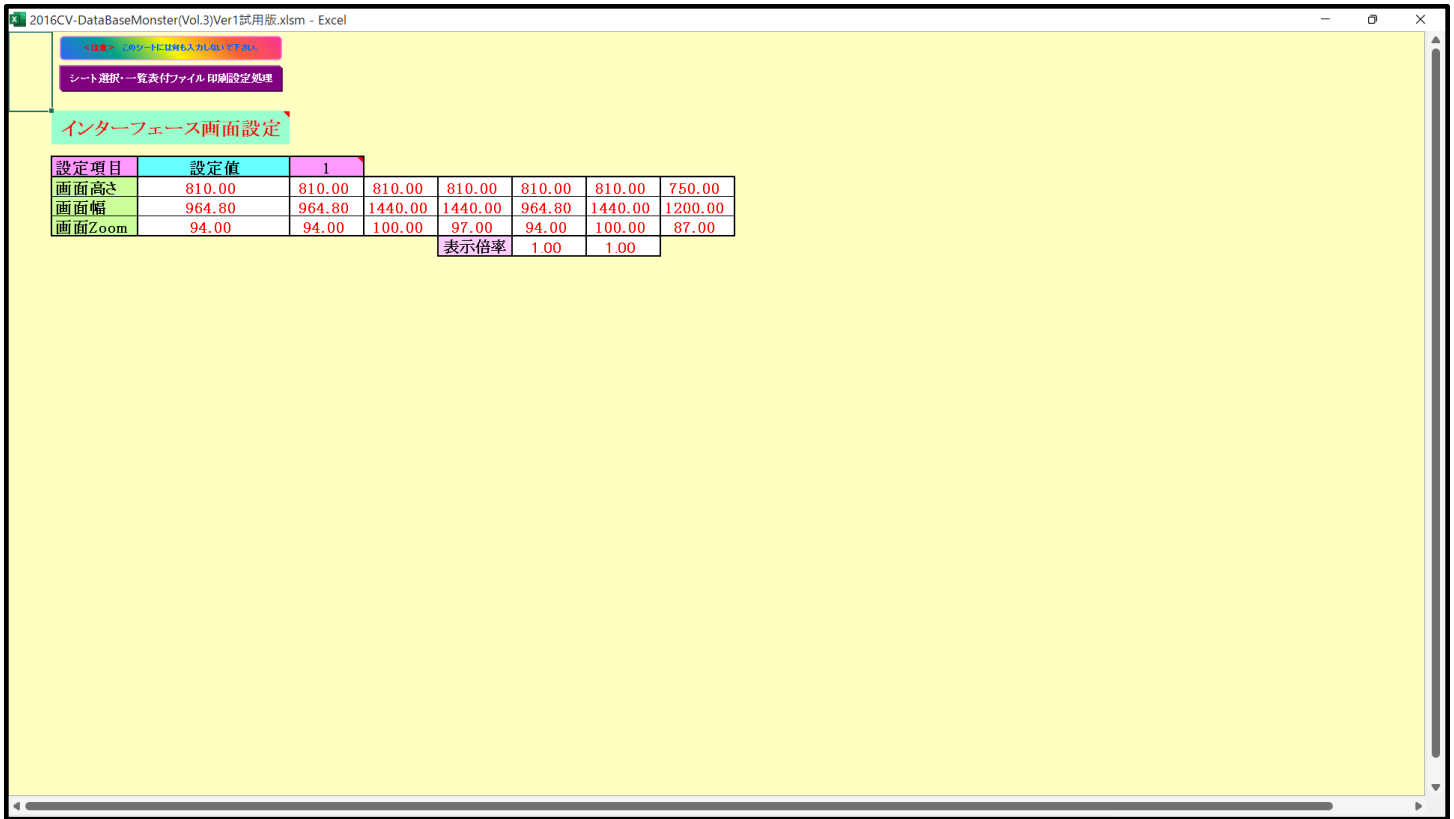
「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

を開く処理が開始されます。

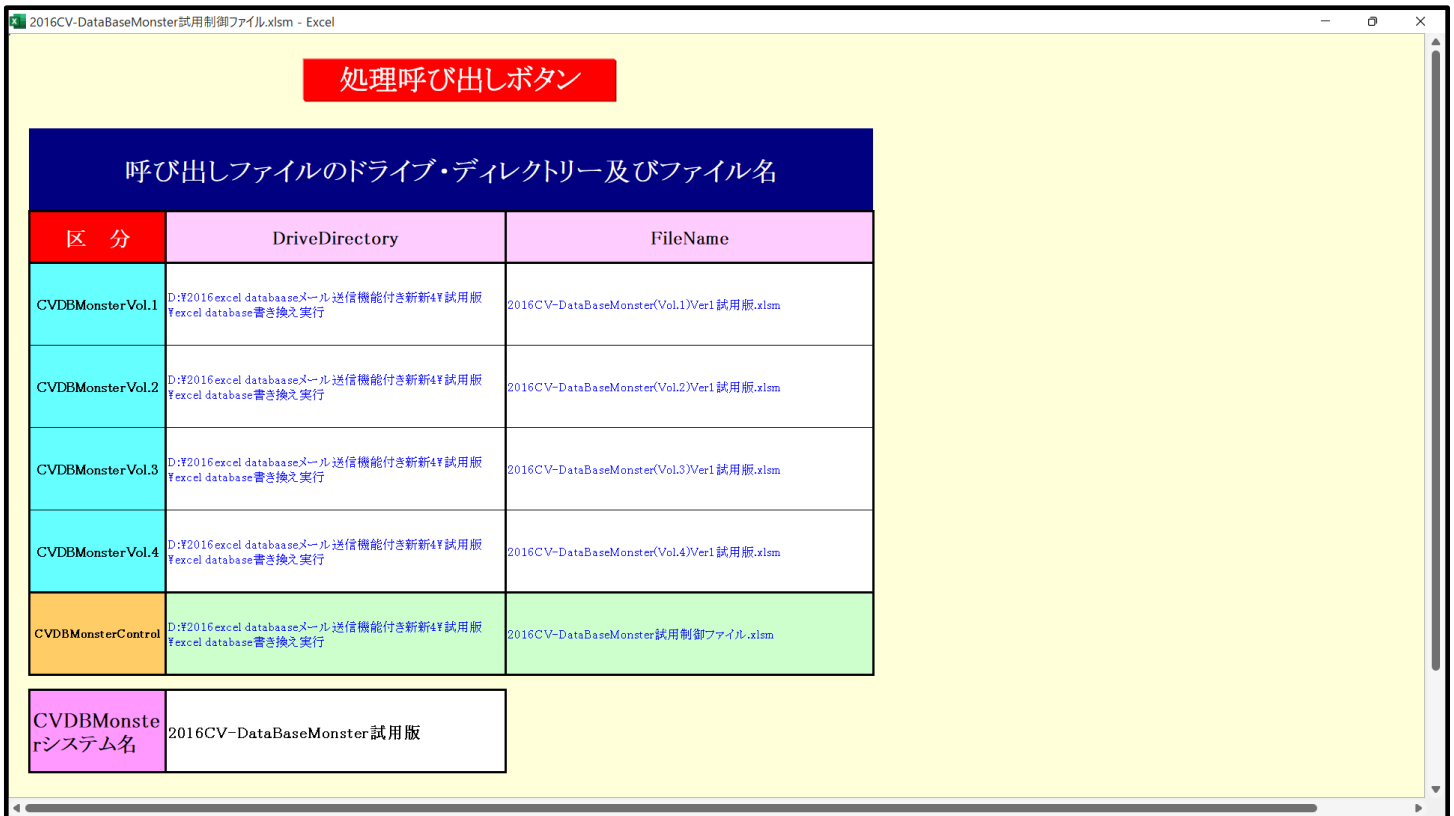
[図 9 3]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm - Excel			
シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理		シート名設定	
<p><注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応した Command ボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい、これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。 また、同名名前や空白入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。 なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。</p> <p style="text-align: right;"><注意> 追加項目表示</p>			
NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名
1	シート名設定	51	入力AE3
2	項目表示入力A	52	入力AE4
3	項目表示入力B	53	入力AE5
4	項目表示入力C	54	入力AE6
5	項目表示入力D	55	入力AE7
6	項目表示作成A	56	入力AE8
7	項目表示作成B	57	入力AE9
8	項目表示作成C	58	入力AE10
9	項目表示作成D	59	入力BA1
10	行列入力項目A	60	入力BA2
11	行列入力項目B	61	入力BA3
12	行列入力項目C	62	入力BA4
13	行列入力項目D	63	入力BA5
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9
101	入力DA3	151	印刷フォーム3ノートデータ
102	入力DA4	152	印刷フォーム4ノートデータ
103	入力DA5	153	印刷フォーム5ノートデータ
104	入力DA6	154	印刷フォーム6ノートデータ
105	入力DA7	155	印刷フォーム7ノートデータ
106	入力DA8	156	印刷フォーム8ノートデータ
107	入力DA9	157	印刷フォーム9ノートデータ
108	入力DA10	158	印刷フォーム10ノートデータ
109	入力DE1	159	印刷フォーム11ノートデータ
110	入力DE2	160	印刷フォーム12ノートデータ
111	入力DE3	161	印刷フォーム13ノートデータ
112	入力DE4	162	印刷フォーム14ノートデータ
113	入力DE5	163	印刷フォーム15ノートデータ
114	入力DE6	164	印刷フォーム16ノートデータ
115	入力DE7	165	印刷フォーム17ノートデータ
116	入力DE8	166	印刷フォーム18ノートデータ
117	入力DE9	167	印刷フォーム19ノートデータ
118	入力DE10	168	印刷フォーム20ノートデータ
119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21ノートデータ
120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22ノートデータ
121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23ノートデータ
122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24ノートデータ
123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25ノートデータ
124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26ノートデータ
125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27ノートデータ
126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28ノートデータ
127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29ノートデータ
128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30ノートデータ
129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

[図 9 4]



[図 9 5]



そして、ファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

が開くと、このファイルの立ち上がり画面である下の[図 9 6]の画面が表示されます。

[図 9 6]



使用開始

上の[図 9 6]の画面のコマンドボタン「使用開始」をクリックすると、引き続き下の[図 9 7]の画面」がしばらく表示された後、その下の[図 9 8]の画面が表示されます。

[図 9 7]



[図 9 8]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示	シート見出し非表示
セルの広範囲選択呼出	CV-DataBaseMonster制御	キャンセル	システム終了

シート名設定

そして、上の[図 9 8]の画面の**シート名設定**をクリックすると、下の[図 9 9]の画面がしばらく表示された後、[図 1 0 0]の画面が表示され、さらに[図 1 0 1]の画面が表示されたら、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」を開く処理が完了します。

[図 9 9]

2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm - Excel

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理 | シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知下さい。

<注意> 追加項目表示

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェース
1	シート名設定	51	入力AE3	101	入力DA3	151	印刷フォーム3シートデータ
2	項目表示入力A	52	入力AE4	102	入力DA4	152	印刷フォーム4シートデータ
3	項目表示入力B	53	入力AE5	103	入力DA5	153	印刷フォーム5シートデータ
4	項目表示入力C	54	入力AE6	104	入力DA6	154	印刷フォーム6シートデータ
5	項目表示入力D	55	入力AE7	105	入力DA7	155	印刷フォーム7シートデータ
6	項目表示作成A	56	入力AE8	106	入力DA8	156	印刷フォーム8シートデータ
7	項目表示作成B	57	入力AE9	107	入力DA9	157	印刷フォーム9シートデータ
8	項目表示作成C	58	入力AE10	108	入力DA10	158	印刷フォーム10シートデータ
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DE1	159	印刷フォーム11シートデータ
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DE2	160	印刷フォーム12シートデータ
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DE3	161	印刷フォーム13シートデータ
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DE4	162	印刷フォーム14シートデータ
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DE5	163	印刷フォーム15シートデータ
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DE6	164	印刷フォーム16シートデータ
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DE7	165	印刷フォーム17シートデータ
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DE8	166	印刷フォーム18シートデータ
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DE9	167	印刷フォーム19シートデータ
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DE10	168	印刷フォーム20シートデータ
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム21シートデータ
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム22シートデータ
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム23シートデータ
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム24シートデータ
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム25シートデータ
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム26シートデータ
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム27シートデータ
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム28シートデータ
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム29シートデータ
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム30シートデータ
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	一覧表付ファイル作成入力
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	一覧表付ファイル作成入力
31	一覧表付ファイル作成入力設定18	81	入力CA3	131	印刷フォーム13	181	一覧表付ファイル作成入力
32	一覧表付ファイル作成入力設定19	82	入力CA4	132	印刷フォーム14	182	一覧表付ファイル作成入力
33	一覧表付ファイル作成入力設定20	83	入力CA5	133	印刷フォーム15	183	一覧表付ファイル作成入力
34	4結合ファイル作成コピー用	84	入力CA6	134	印刷フォーム16	184	一覧表付ファイル作成入力
35	ファイル作成コピー用A	85	入力CA7	135	印刷フォーム17	185	一覧表付ファイル作成入力
36	ファイル作成コピー用B	86	入力CA8	136	印刷フォーム18	186	一覧表付ファイル作成入力
37	ファイル作成コピー用C	87	入力CA9	137	印刷フォーム19	187	一覧表付ファイル作成入力

5. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合
登録書き換え後の「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのリンクの編集
4個のファイル

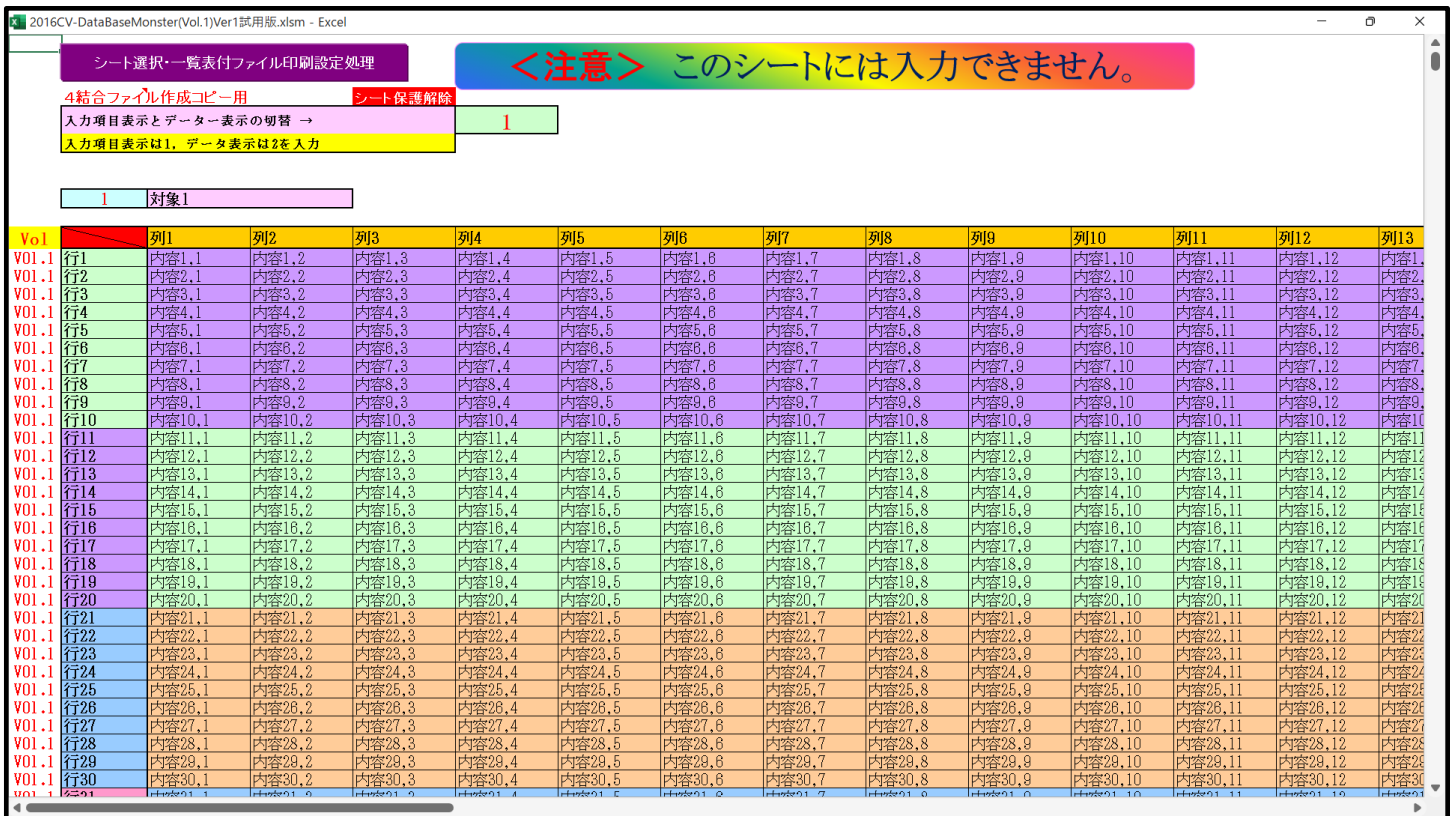
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
- 「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

は関数でリンクされています。これらのこれら4個の「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルはファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を用いて全て開いて利用する際、初回開いた段階でリンクの編集をおこなう必要があります。

リンクの編集をおこなう場合、能率よく短時間でおこなうために、ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を用いて上の4個のファイル全て開いたうえでおこなってください。上のファイルを個別に開いてリンクの編集をおこなうと、膨大な時間が必要となります。

次の[図102]はファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のシート「4結合ファイル作成コピー用」の画面で、シート「4結合ファイル作成コピー用」は3個のファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」とシート関数によってリンクされています。

[図102]



シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

上の[図102]の画面のシートでコマンドボタンをクリックすると次の[図103]の画面が表示されますが、この画面でコマンドボタン

標準画面表示

をクリックすると、全画面が終了されシート

「4結合ファイル作成コピー用」はその下の[図104]の画面のようになります。

[図 1 0 3]

シート選択・一覧表付ファイル設定印刷

シート選択, 処理呼出1 | 処理呼出2 | 処理呼出3 | 処理呼出4 | 処理呼出5 | 処理呼出6 | 処理呼出7 | 処理呼出8 | 入力シートAA, AB, BABB選択 | 入力シートCA, CB, DA, DB選択 | 印刷フォームシート選択 | 印刷フォームシートデータ選択 | 進 |

シート名設定	行列入力項目A	入力からシートデータへ複写処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定8
既定シート現在名	行列入力項目B	シートデータから入力シートへ複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定9
追加ワークシート名設定	行列入力項目C	シートの一括保護・解除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定10
インターフェース画面設定	行列入力項目D	タイトル行様式コピー行高さ設定呼出	一覧表付ファイル作成入力設定11
項目表示入力A	4結合ファイル作成コピー用	シートズーム行列表示・非表示呼出	一覧表付ファイル作成入力設定12
項目表示入力B	ファイル作成コピー用A	一覧表付加速印刷呼出	一覧表付ファイル作成入力設定13
項目表示入力C	ファイル作成コピー用B	一覧表付ファイル作成入力設定1	一覧表付ファイル作成入力設定14
項目表示入力D	ファイル作成コピー用C	一覧表付ファイル作成入力設定2	一覧表付ファイル作成入力設定15
項目表示作成A	ファイル作成コピー用D	一覧表付ファイル作成入力設定3	一覧表付ファイル作成入力設定16
項目表示作成B	ファイル作成コピーの複写呼出	一覧表付ファイル作成入力設定4	一覧表付ファイル作成入力設定17
項目表示作成C	入力シート行調整消去処理呼出	一覧表付ファイル作成入力設定5	一覧表付ファイル作成入力設定18
項目表示作成D	データ削除・消去処理等呼出	一覧表付ファイル作成入力設定6	一覧表付ファイル作成入力設定19
印刷フォーム作成作業シート	追加シート削除呼出	一覧表付ファイル作成入力設定7	一覧表付ファイル作成入力設定20

標準画面表示 | 全画面表示 | シート見出し表示 | シート見出し非表示

セルの広範囲選択呼出 | CV-DataBaseMonster制御 | キャンセル | システム終了

[図 1 0 4]

自動保存 2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1試用版.xls

検索 (Alt+Q) 多田 記一

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 ヘルプ

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

<注意> このシートには入力できません。

4結合ファイル作成コピー用 シート保護解除

入力項目表示とデータ表示の切替 → 1

入力項目表示は1, データ表示は2を入力

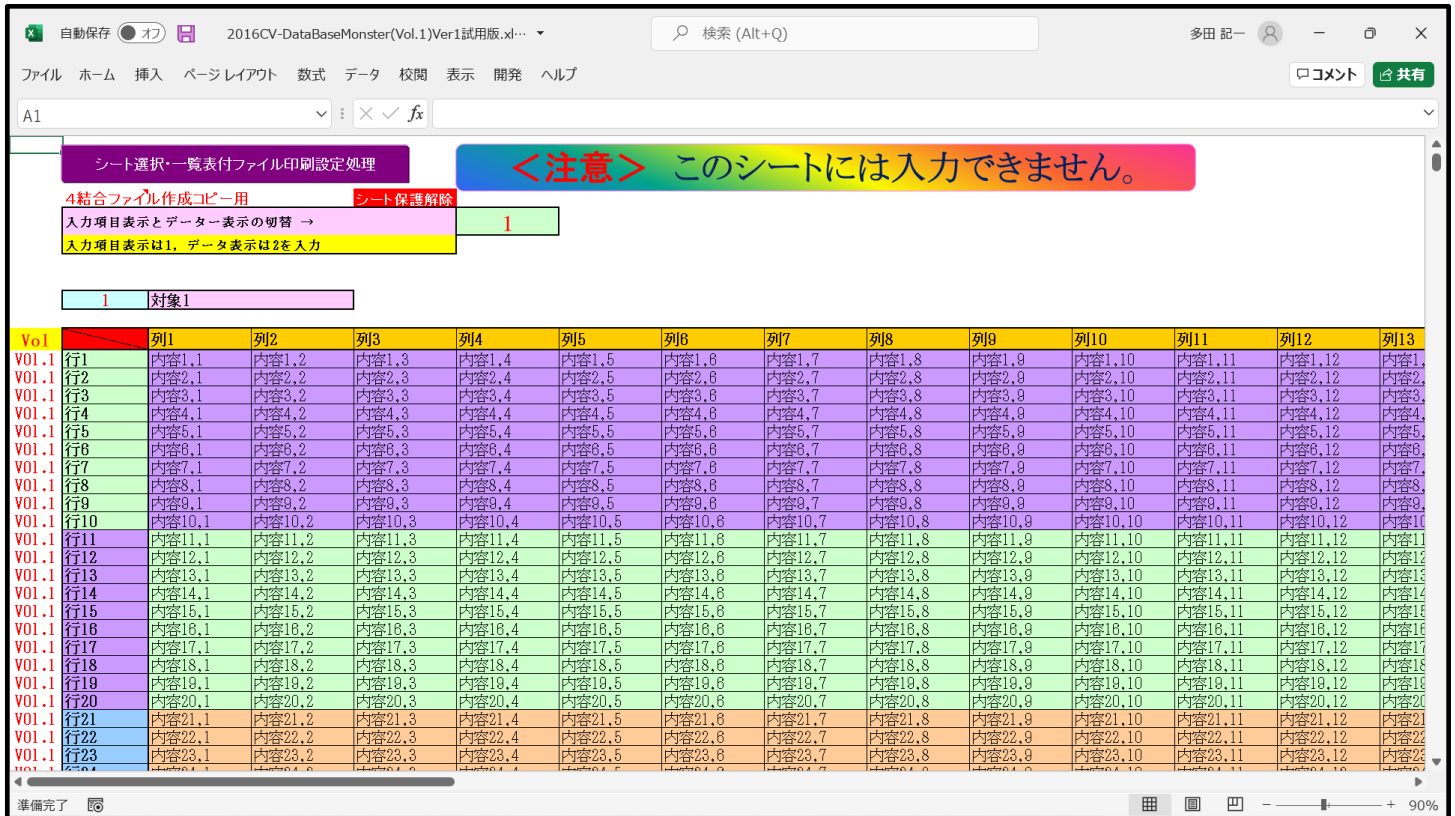
1 対象1

Vol	列1	列2	列3	列4	列5	列6	列7	列8	列9	列10	列11	列12	列13
VO1.1	行1	内容1.1	内容1.2	内容1.3	内容1.4	内容1.5	内容1.6	内容1.7	内容1.8	内容1.9	内容1.10	内容1.11	内容1.12
VO1.1	行2	内容2.1	内容2.2	内容2.3	内容2.4	内容2.5	内容2.6	内容2.7	内容2.8	内容2.9	内容2.10	内容2.11	内容2.12
VO1.1	行3	内容3.1	内容3.2	内容3.3	内容3.4	内容3.5	内容3.6	内容3.7	内容3.8	内容3.9	内容3.10	内容3.11	内容3.12
VO1.1	行4	内容4.1	内容4.2	内容4.3	内容4.4	内容4.5	内容4.6	内容4.7	内容4.8	内容4.9	内容4.10	内容4.11	内容4.12
VO1.1	行5	内容5.1	内容5.2	内容5.3	内容5.4	内容5.5	内容5.6	内容5.7	内容5.8	内容5.9	内容5.10	内容5.11	内容5.12
VO1.1	行6	内容6.1	内容6.2	内容6.3	内容6.4	内容6.5	内容6.6	内容6.7	内容6.8	内容6.9	内容6.10	内容6.11	内容6.12
VO1.1	行7	内容7.1	内容7.2	内容7.3	内容7.4	内容7.5	内容7.6	内容7.7	内容7.8	内容7.9	内容7.10	内容7.11	内容7.12
VO1.1	行8	内容8.1	内容8.2	内容8.3	内容8.4	内容8.5	内容8.6	内容8.7	内容8.8	内容8.9	内容8.10	内容8.11	内容8.12
VO1.1	行9	内容9.1	内容9.2	内容9.3	内容9.4	内容9.5	内容9.6	内容9.7	内容9.8	内容9.9	内容9.10	内容9.11	内容9.12
VO1.1	行10	内容10.1	内容10.2	内容10.3	内容10.4	内容10.5	内容10.6	内容10.7	内容10.8	内容10.9	内容10.10	内容10.11	内容10.12
VO1.1	行11	内容11.1	内容11.2	内容11.3	内容11.4	内容11.5	内容11.6	内容11.7	内容11.8	内容11.9	内容11.10	内容11.11	内容11.12
VO1.1	行12	内容12.1	内容12.2	内容12.3	内容12.4	内容12.5	内容12.6	内容12.7	内容12.8	内容12.9	内容12.10	内容12.11	内容12.12
VO1.1	行13	内容13.1	内容13.2	内容13.3	内容13.4	内容13.5	内容13.6	内容13.7	内容13.8	内容13.9	内容13.10	内容13.11	内容13.12
VO1.1	行14	内容14.1	内容14.2	内容14.3	内容14.4	内容14.5	内容14.6	内容14.7	内容14.8	内容14.9	内容14.10	内容14.11	内容14.12
VO1.1	行15	内容15.1	内容15.2	内容15.3	内容15.4	内容15.5	内容15.6	内容15.7	内容15.8	内容15.9	内容15.10	内容15.11	内容15.12
VO1.1	行16	内容16.1	内容16.2	内容16.3	内容16.4	内容16.5	内容16.6	内容16.7	内容16.8	内容16.9	内容16.10	内容16.11	内容16.12
VO1.1	行17	内容17.1	内容17.2	内容17.3	内容17.4	内容17.5	内容17.6	内容17.7	内容17.8	内容17.9	内容17.10	内容17.11	内容17.12
VO1.1	行18	内容18.1	内容18.2	内容18.3	内容18.4	内容18.5	内容18.6	内容18.7	内容18.8	内容18.9	内容18.10	内容18.11	内容18.12
VO1.1	行19	内容19.1	内容19.2	内容19.3	内容19.4	内容19.5	内容19.6	内容19.7	内容19.8	内容19.9	内容19.10	内容19.11	内容19.12
VO1.1	行20	内容20.1	内容20.2	内容20.3	内容20.4	内容20.5	内容20.6	内容20.7	内容20.8	内容20.9	内容20.10	内容20.11	内容20.12
VO1.1	行21	内容21.1	内容21.2	内容21.3	内容21.4	内容21.5	内容21.6	内容21.7	内容21.8	内容21.9	内容21.10	内容21.11	内容21.12
VO1.1	行22	内容22.1	内容22.2	内容22.3	内容22.4	内容22.5	内容22.6	内容22.7	内容22.8	内容22.9	内容22.10	内容22.11	内容22.12
VO1.1	行23	内容23.1	内容23.2	内容23.3	内容23.4	内容23.5	内容23.6	内容23.7	内容23.8	内容23.9	内容23.10	内容23.11	内容23.12
VO1.1	行24	内容24.1	内容24.2	内容24.3	内容24.4	内容24.5	内容24.6	内容24.7	内容24.8	内容24.9	内容24.10	内容24.11	内容24.12
VO1.1	行25	内容25.1	内容25.2	内容25.3	内容25.4	内容25.5	内容25.6	内容25.7	内容25.8	内容25.9	内容25.10	内容25.11	内容25.12
VO1.1	行26	内容26.1	内容26.2	内容26.3	内容26.4	内容26.5	内容26.6	内容26.7	内容26.8	内容26.9	内容26.10	内容26.11	内容26.12

準備完了 90%

シート「4結合ファイル作成コピー用」を上図の状態にし、タブ **表示** を選択し、 **数式バー** のようにチェックを入れ、**シート保護解除** のセルを選択しダブルクリックするとシート「4結合ファイル作成コピー用」の保護が解除されてリンクの編集が可能となります。シート「4結合ファイル作成コピー用」をこのようにリンクの編集が可能な状態にしたのが下の[図 1 0 5]です。

[図 105]

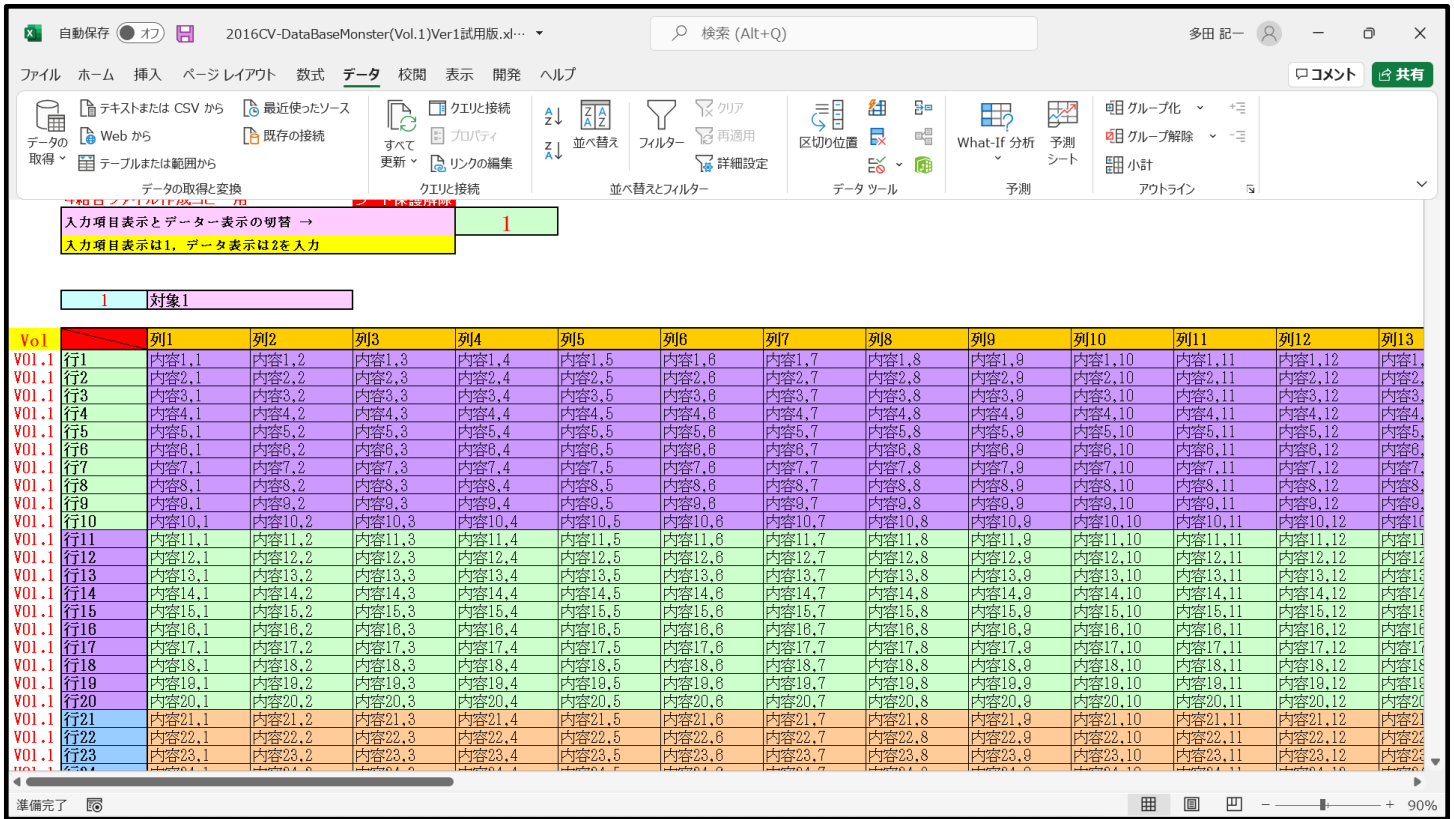


上の[図105]の画面で、A列12行からA列1611行のセルに「VOL.1」、「VOL.2」、「VOL.3」、「VOL.4」がそれぞれ400個ずつ入力されています。そして、「VOL.1」と入力されているセルのすぐ右隣のB列～AP列のセルには、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」の入力シートのデーターを参照する関数が入力されなければなりません。また、「VOL.2」と入力されているセルのすぐ右隣のB列～AP列のセルには、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」をリンク元にする関数が、「VOL.3」と入力されているセルのすぐ右隣のB列～AP列のセルには、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」をリンク元にする関数が、「VOL.4」と入力されているセルのすぐ右隣のB列～AP列のセルには、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」をリンク元にする関数が、それぞれ入力されなければなりません。

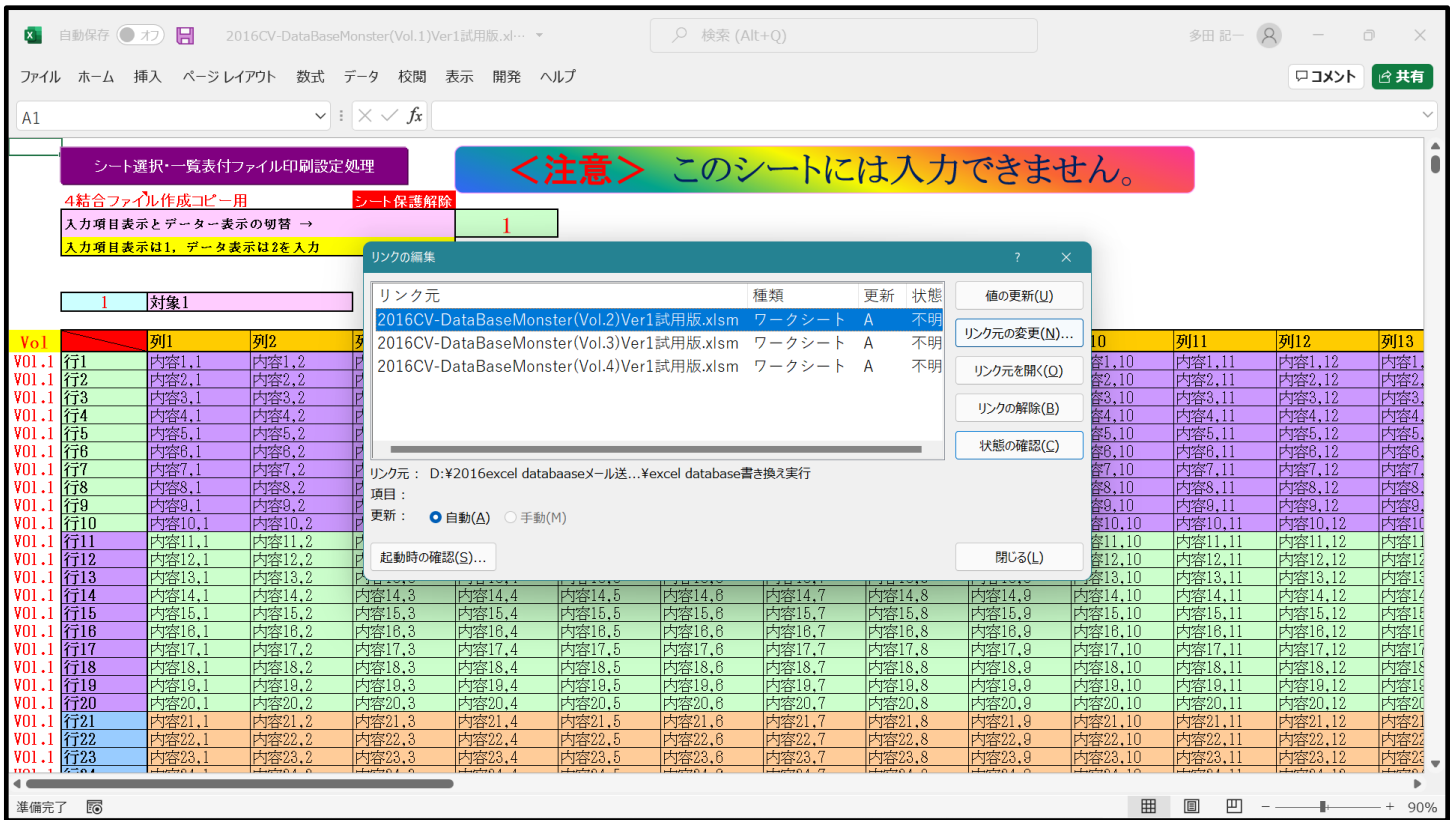
上の[図105]の画面において **データ** を選択すると次の[図106]の画面のようになりますが、更に[図106]の画面で **リンクの編集** をクリックするとその下の[図107]の画面になり、リンクの編集が可能となります。

下の[図107]の画面は、あくまでもこのマニュアル編集者がマニュアル作成のためにおこなった場合のものであって、システムの利用者がおこなう場合には、この画面と異なったものになる場合もあります。以下の説明では、リンク元の状況が下の[図107]の画面のようになっていることを仮定して話を進めてまいりますのでご了解ください。

[図106]



[図107]



上の[図107]のリンク編集ウィンドウのリンク元の部分を見易くすると次のようになります。

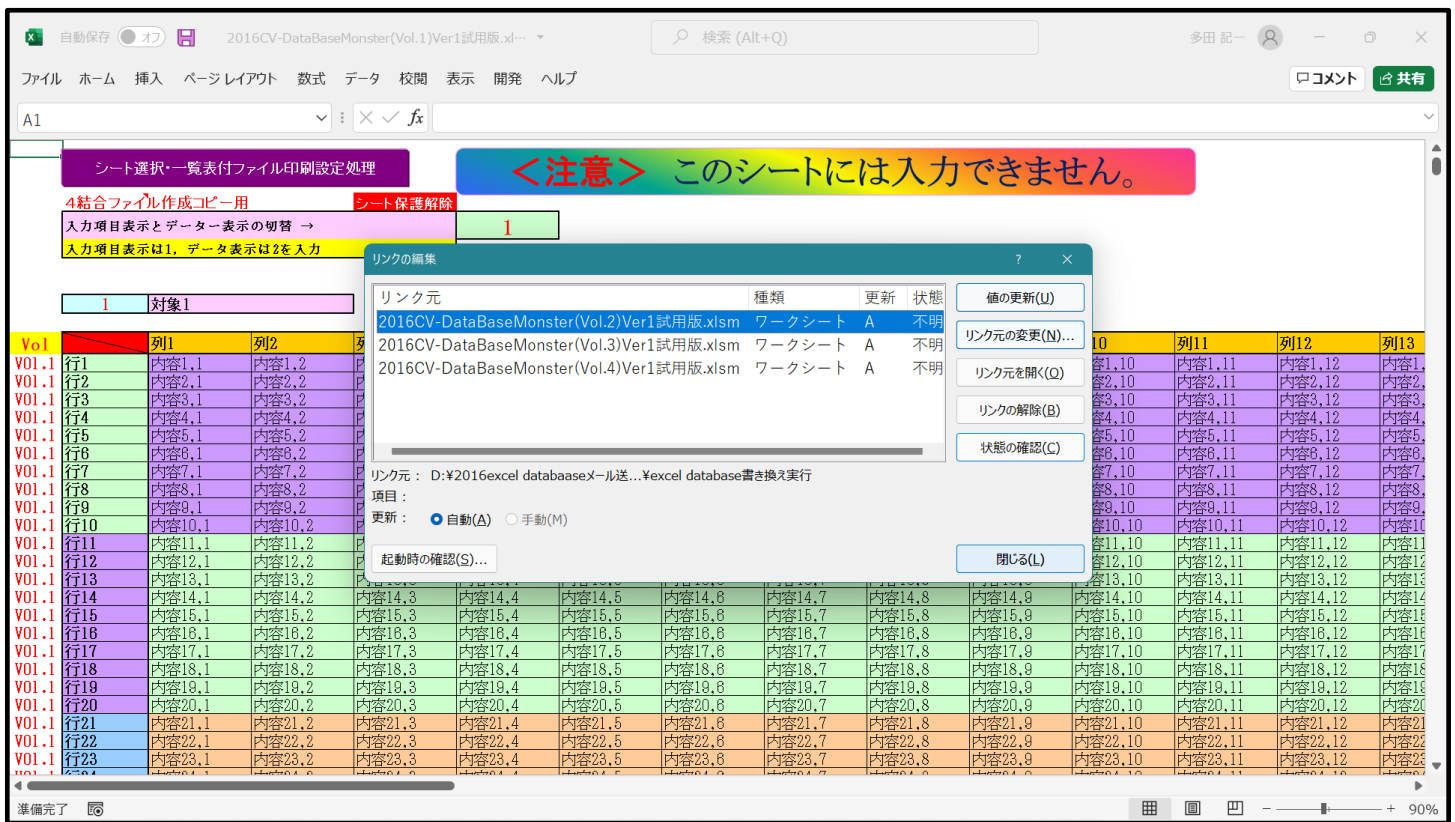
リンク元	種類	更新	状態	
2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A	不明	値の更新(U)
2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A	不明	リンク元の変更(N)...
2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm	ワークシート	A	不明	リンク元を開く(O)
				リンクの解除(B)
				状態の確認(C)

まず、次の[図108]の画面のように

2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm ワークシート **A**

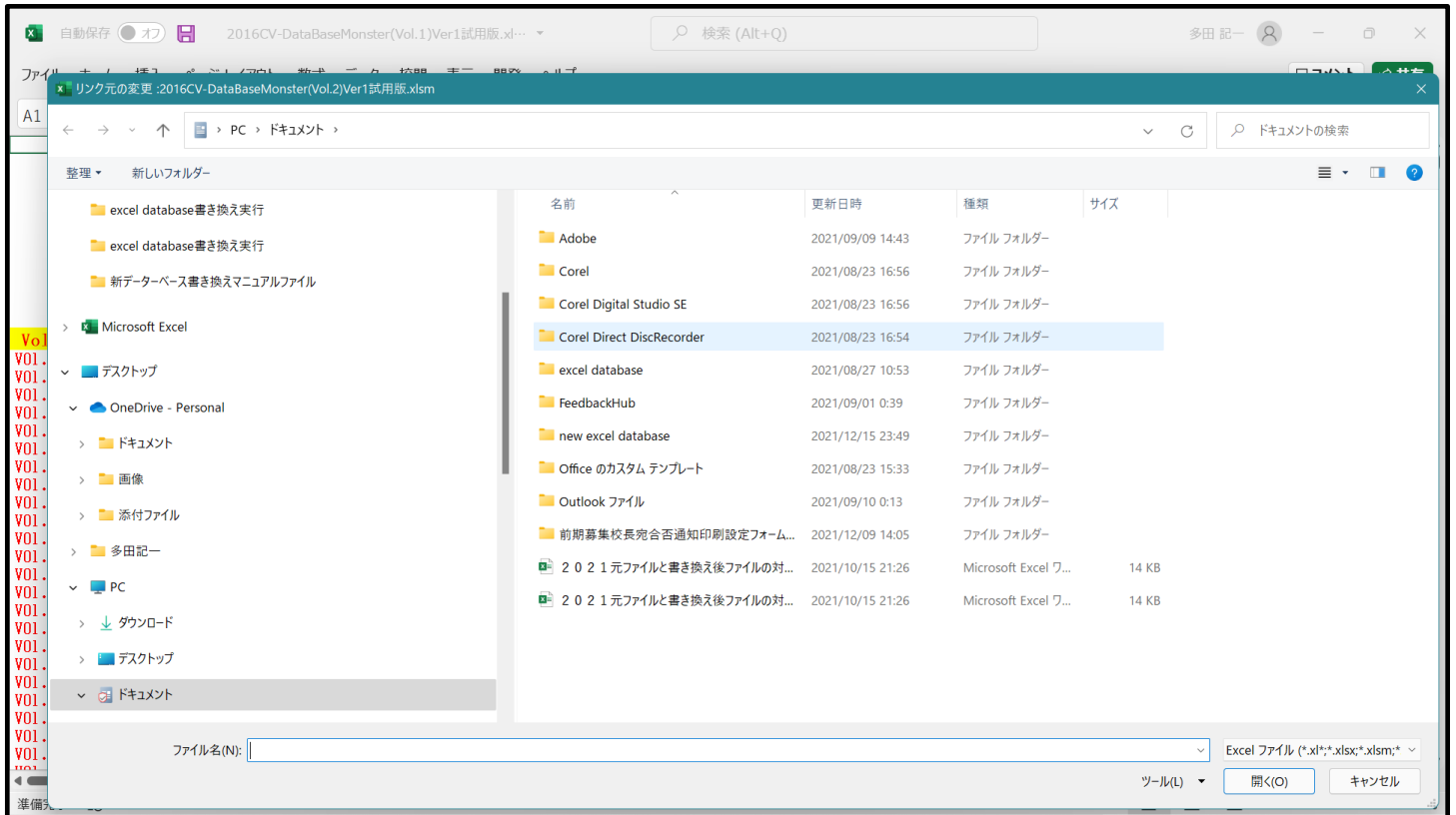
を選択します。

[図108]



上の[図108]の画面の **リンク元の変更(N)...** クリックすると次の[図109]の画面のようになり、リンク元の「ドライブ」、「フォルダー」、「ファイル」を選択・変更することができるようになります。

[図 1 0 9]



いま、ここで開いているファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

の「ドライブ」、「フォルダー」はそれぞれ

「D」、「¥2016excel databaase メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」

となっていますので、上の[図 1 0 9]の状態から

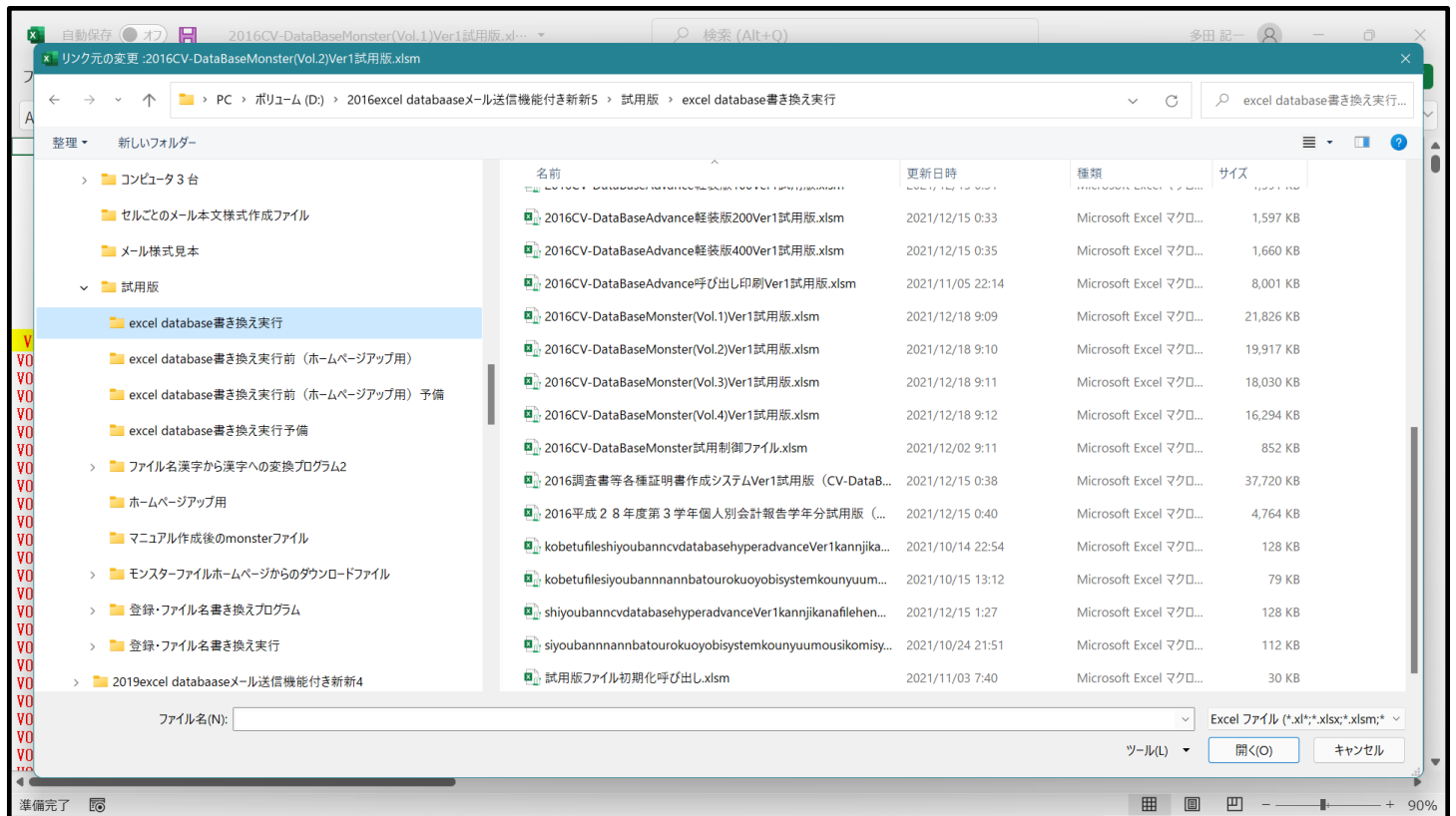
ドライブ「D」、

フォルダー


「¥2016excel databaase メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」

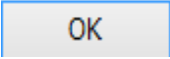
を選択すると次の[図 1 1 0]の画面になります。ただし、[図 1 1 0]の画面は、わかりやすくするためウィンドウの枠を広げ、また、ファイル名の部分をも広げています。

[図 1 1 0]



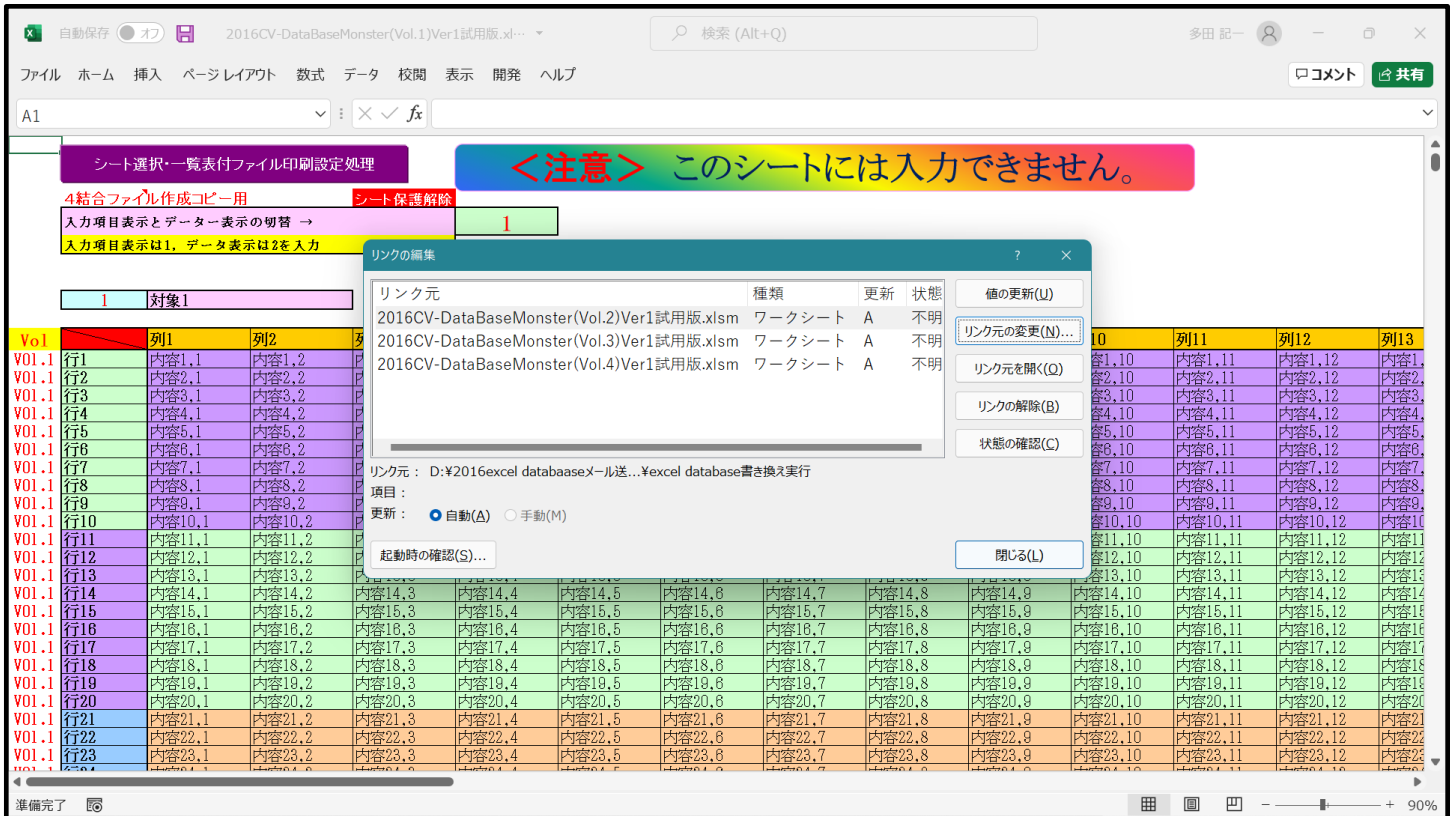
上の[図 1 1 0]の画面でファイル

 2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1試用版.xlsm

をクリックして選択し、 をクリックするとリンク元の変更が開始されます。

リンク元の変更が終了したら次の[図 1 1 1]の画面のようになり、次のリンク元が選択できるようになります。

[図 1 1 1]

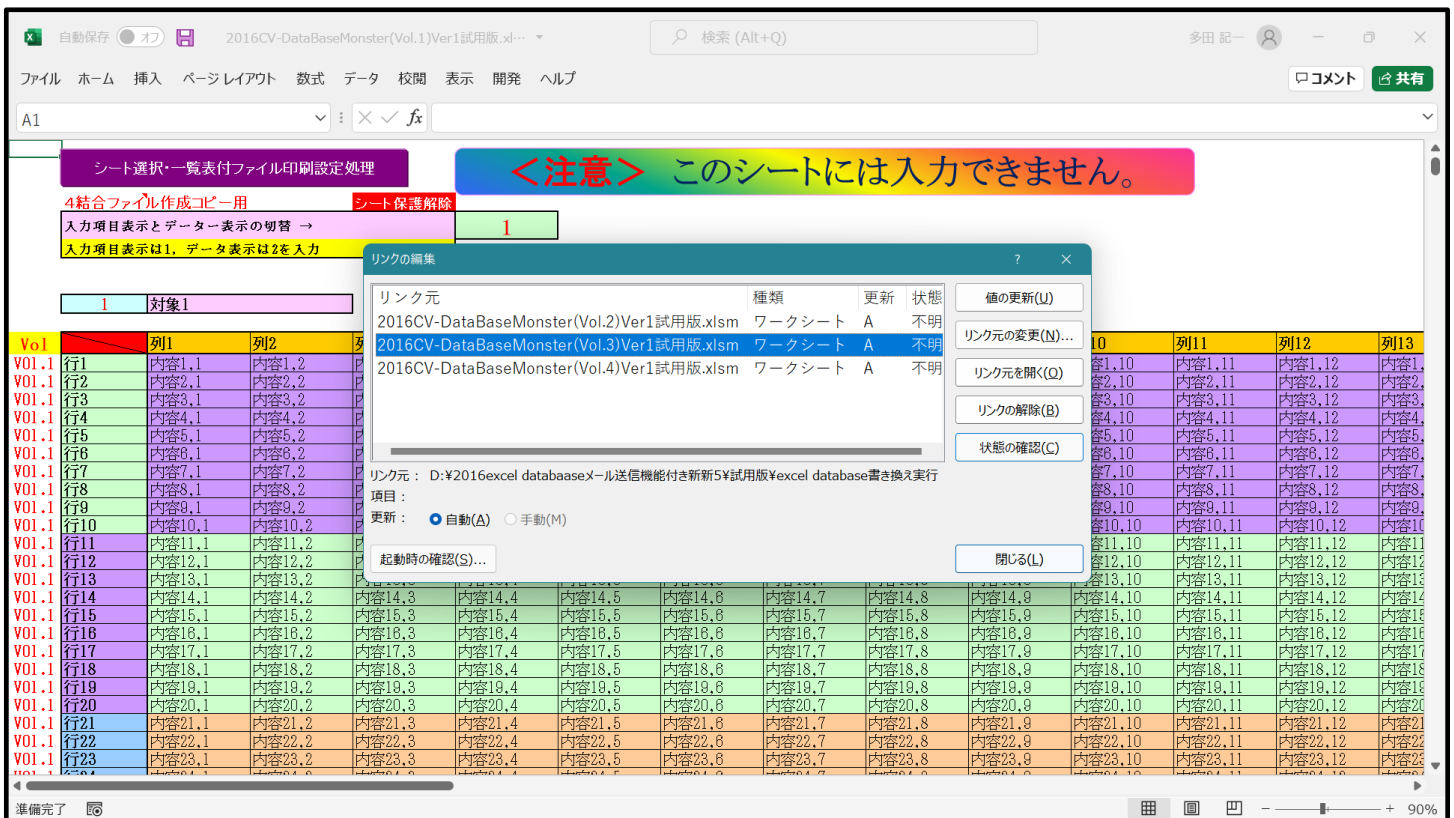


次にファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元の変更をします。それには上の[図 1 1 1]の画面で

2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1試用版.xlsm ワークシート A

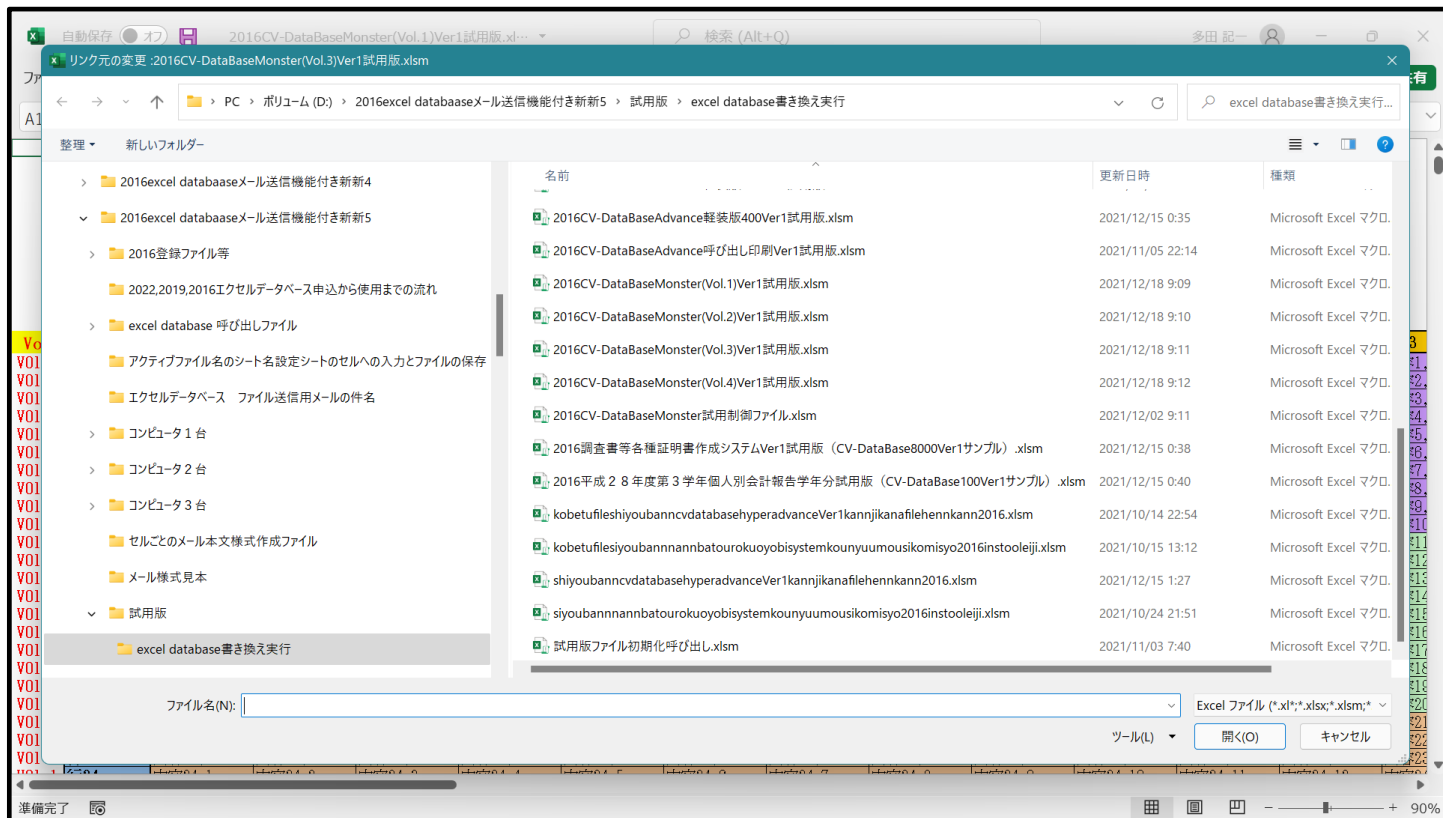
の部分をクリックして選択して次の[図 1 1 2]の画面のようになります。

[図 1 1 2]



そして、上の[図 1 1 2]の画面で **リンク元の変更(N)...** の部分をクリックすると、いま開いているファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元のフォルダー「2016excel database メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」が表示されるので、画面を下側にスクロールすると次の[図 1 1 3]の画面になります。

[図 1 1 3]

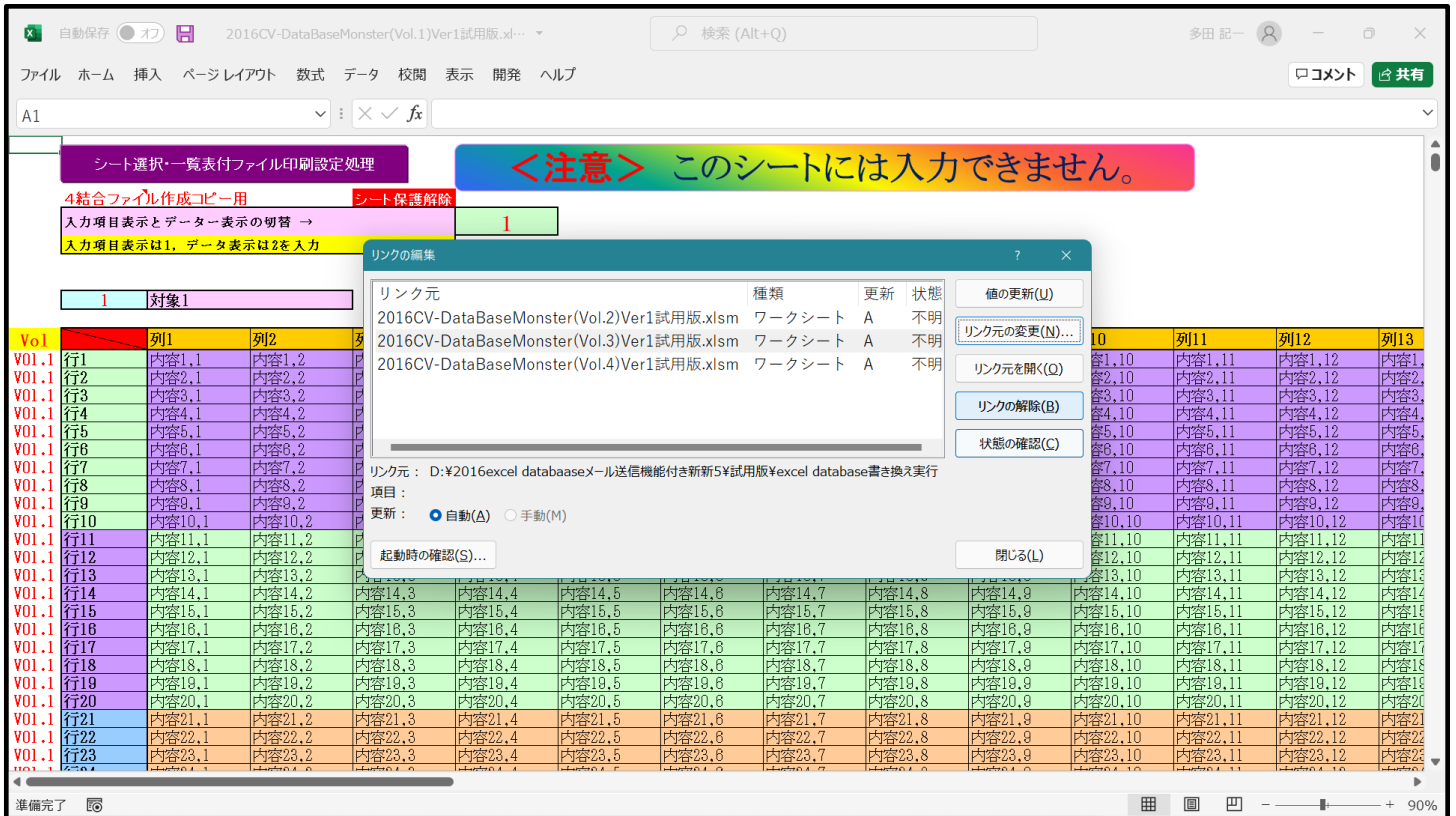


そして、上の[図 1 1 3]の画面の右側でファイル

2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm

をクリックして選択し、**OK** ボタンをクリックするとリンク元の変更が開始されます。そして、リンク元の変更が終了すると次の[図 1 1 4]の画面のようになり、次のリンク元が選択できるようになります。

[図 1 1 4]

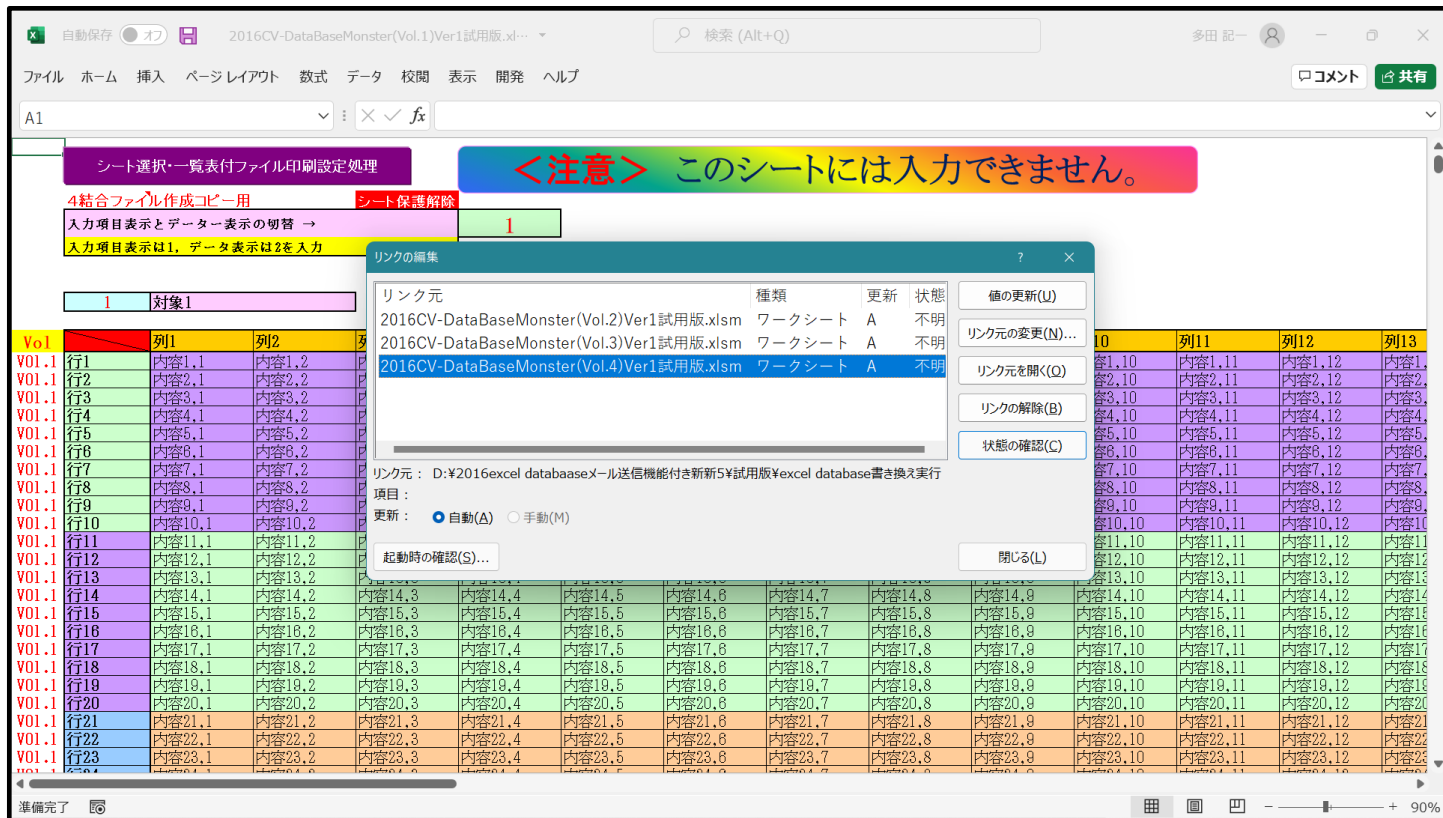


そして、最後にファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元の変更をしますが、それには上の[図 1 1 4]の画面で

2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1試用版.xlsm ワークシート A

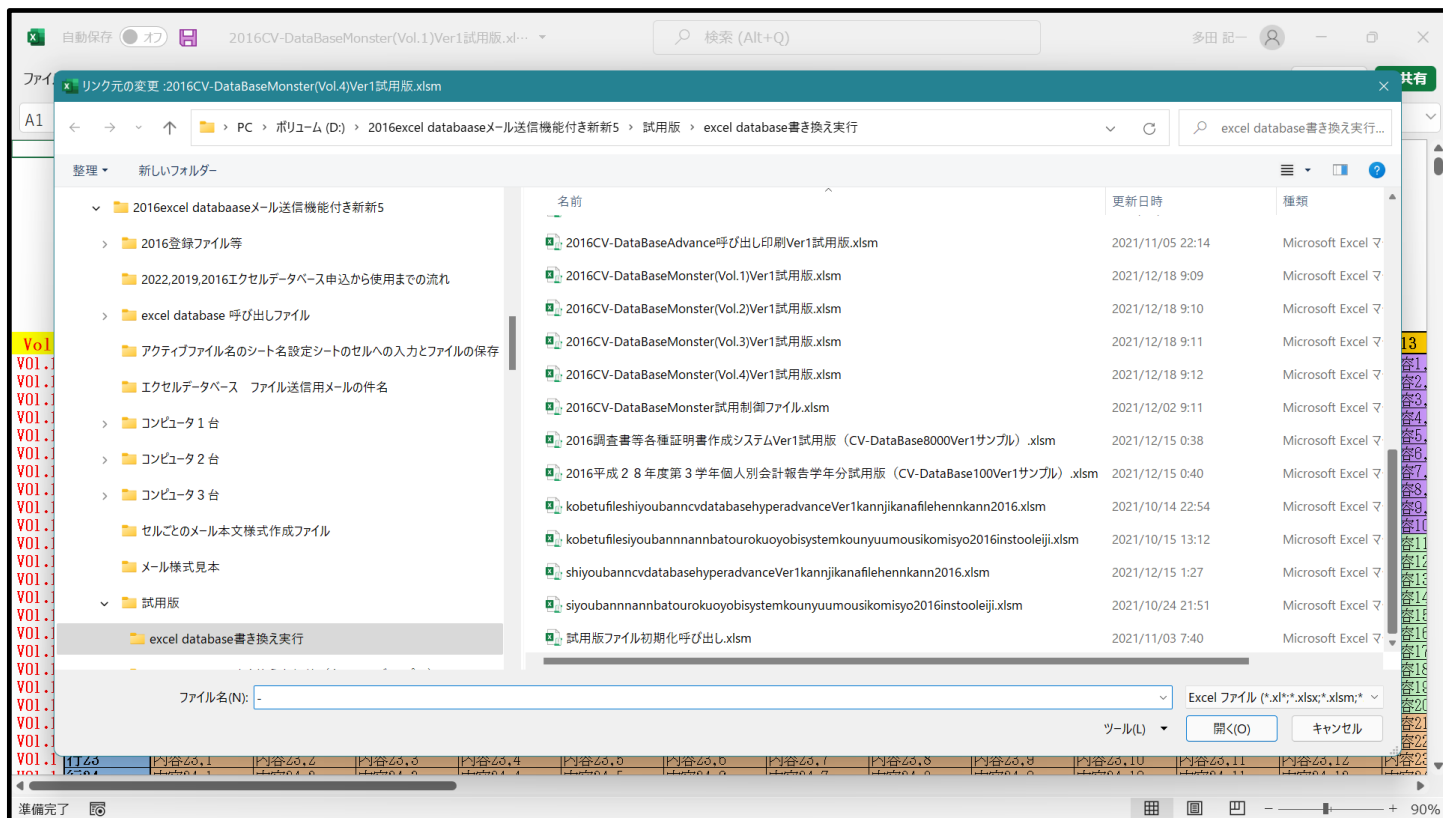
の部分をクリックして選択し、次の[図 1 1 5]の画面ようにします。

[図 1 1 5]

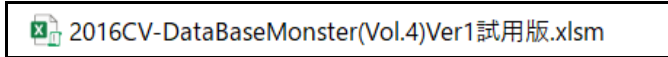


そしたら、上の[図 1 1 5]の画面の **リンク元の変更(N)...** をクリックすると、いま開いているファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のリンク元のフォルダー「2016excel database メール送信機能付き新新 5¥試用版¥excel database 書き換え実行」が表示されるので、画面を下側にスクロールすると次の[図 1 1 6]の画面になります。

[図 1 1 6]

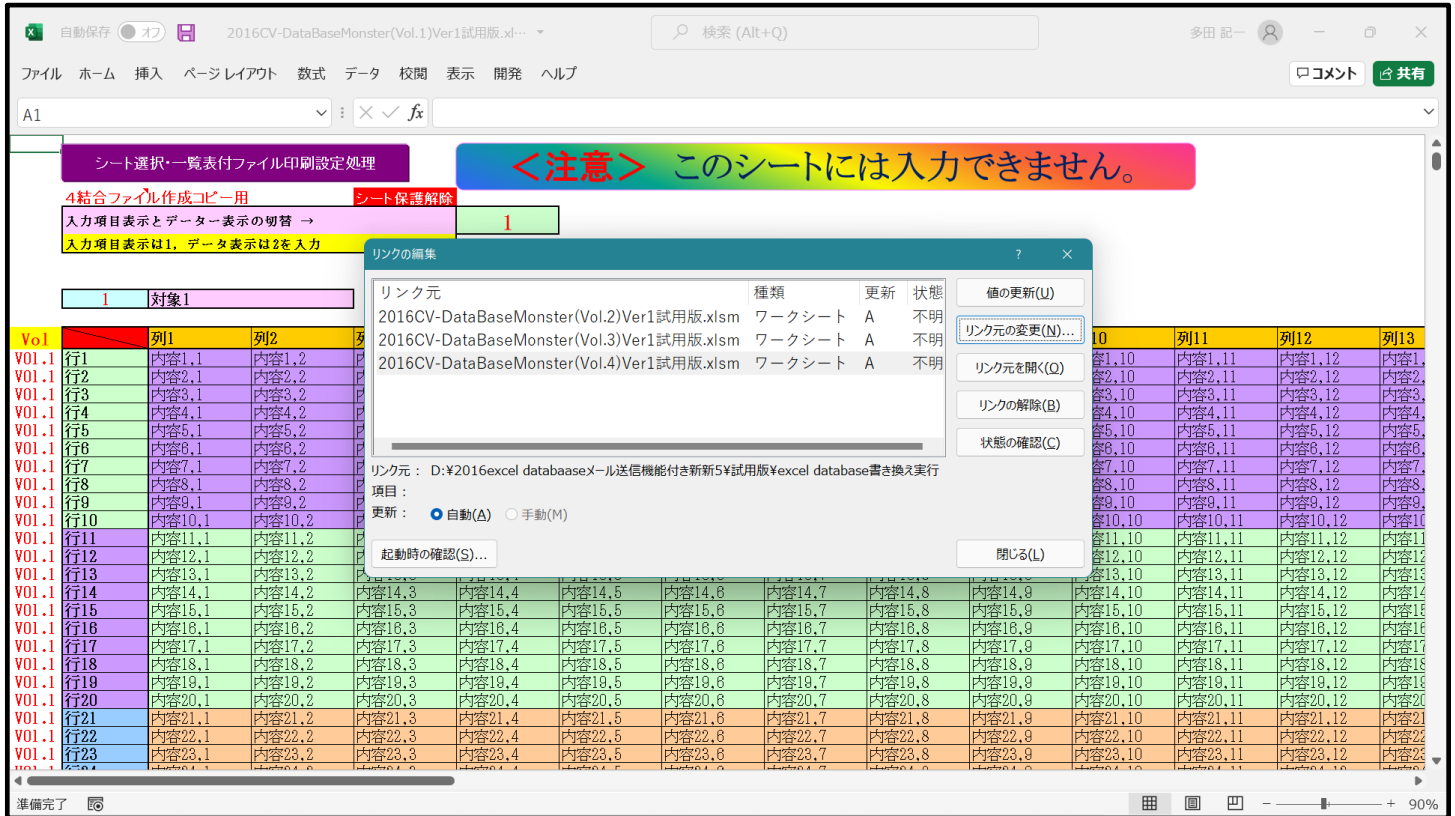


そしたら上の[図 1 1 6]の画面の右側でファイル



をクリックして選択した後 **OK** ボタンをクリックするとリンク元の変更が開始され、終了すると次の[図 1 1 7]の画面のようになります。

[図 1 1 7]

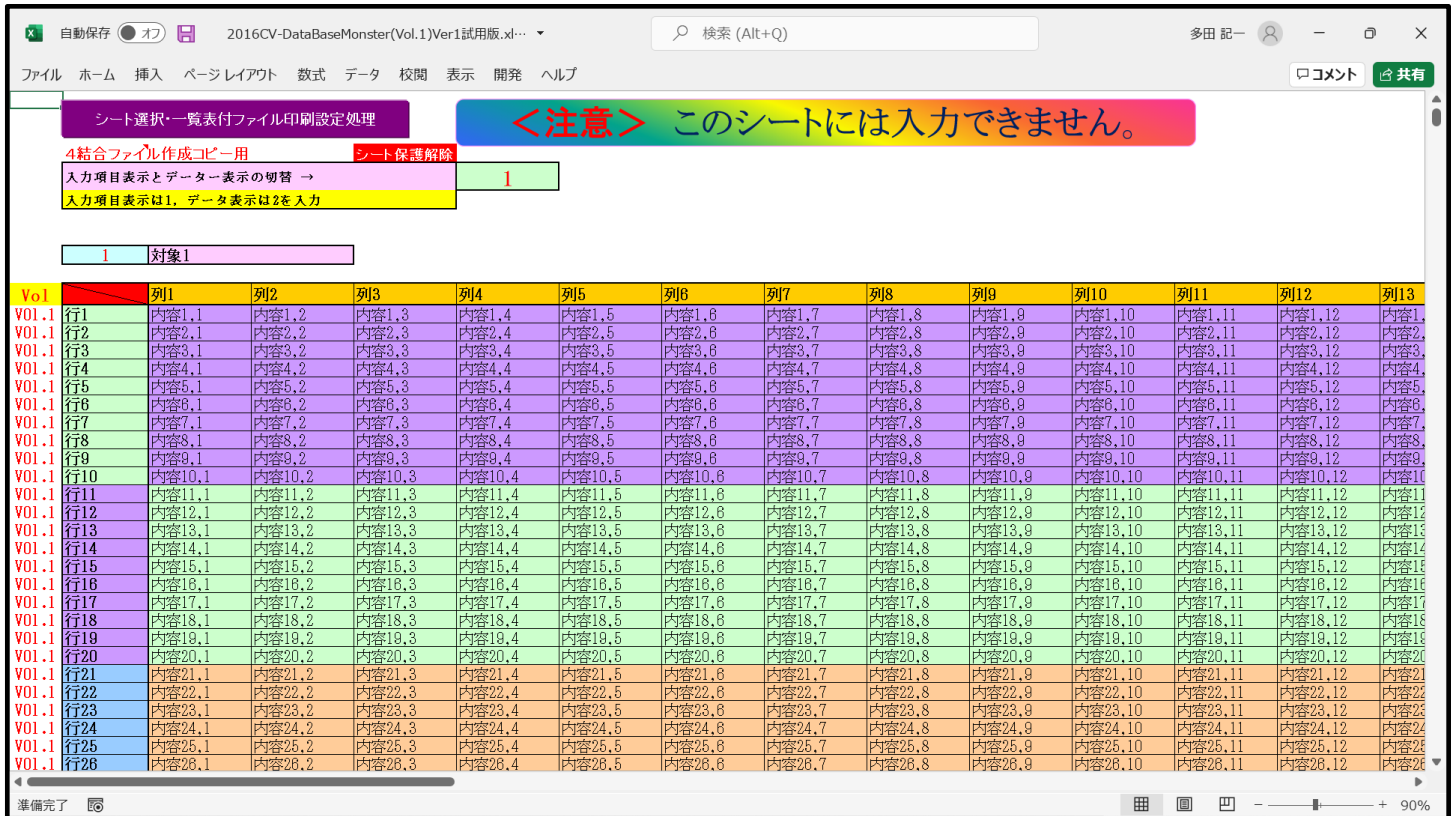


これで、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のリンクの編集は完了となります。

なお、リンクの編集変更が済んだら上の[1 1 7]の画面のボタン **閉じる(L)** をクリックしてリンクの

編集画面を閉じ、下の[図 1 1 8]のようにし、セル **4結合ファイ** の部分を選択してダブルクリックし、必ずシートを保護してください。

[図 1 1 8]



以上でファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」でのリンク元の変更完了となりますが、引き続き、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」のそれぞれについても同様に、「4 結合ファイル作成コピー用」でリンク元の変更を必ずおこなってください。その際、

リンク編集ウィンドウの画面のリンク元の表示が「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」等となっている場合は、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」を選択してリンク元を変更し、「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」等となっている場合は、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」を選択し、「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」等となっている場合は、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」を選択し、「○○○○CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」等となっている場合は、ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」を選択して、それぞれリンク元を変更する必要があります。

なお、
[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.1\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.2\)Ver1 試用版.xlsm」](#)
[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.3\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.4\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[の4個のファイル全てのリンク元を全て変更して閉じた後、これら4個のファイルと](#)

[ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」](#)

[を一括して他の同じルダにまとめてコピーしても、](#)

[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.1\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.2\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.3\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[ファイル「2016CV-DataBaseMonster\(Vol.4\)Ver1 試用版.xlsm」](#)

[のリンクは正常に保たれており、また新たにリンク元を変更することなく、そのまま使用することができます。](#)

[ただ、これら4個のファイルのいずれかのファイル名を変更した場合は、他のファイルのファイル名も全て変更してください。](#)

6. 「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの登録書き換えを希望された場合 登録書き換え後の「2016CV-DataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのファイル名変更 について

5個のファイル

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

はセットのファイルで、必ず1つの同じフォルダに置く必要があります、1つのフォルダ上がないとマクロの関係でこれらを相互に呼び出すことができなく、正常に作動しなくなります。

これら5個のファイルのうち、

ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

のファイル名の変更はできませんが、

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

の4個のファイルについては、いずれもそのファイル名を変更することができます。

以下、これらのファイル名を変更する場合のいくつかの注意すべき点を述べたいとおもいます。

例えば

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

のファイル名を変更し、ファイル名を

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理

システム1.xlsm」

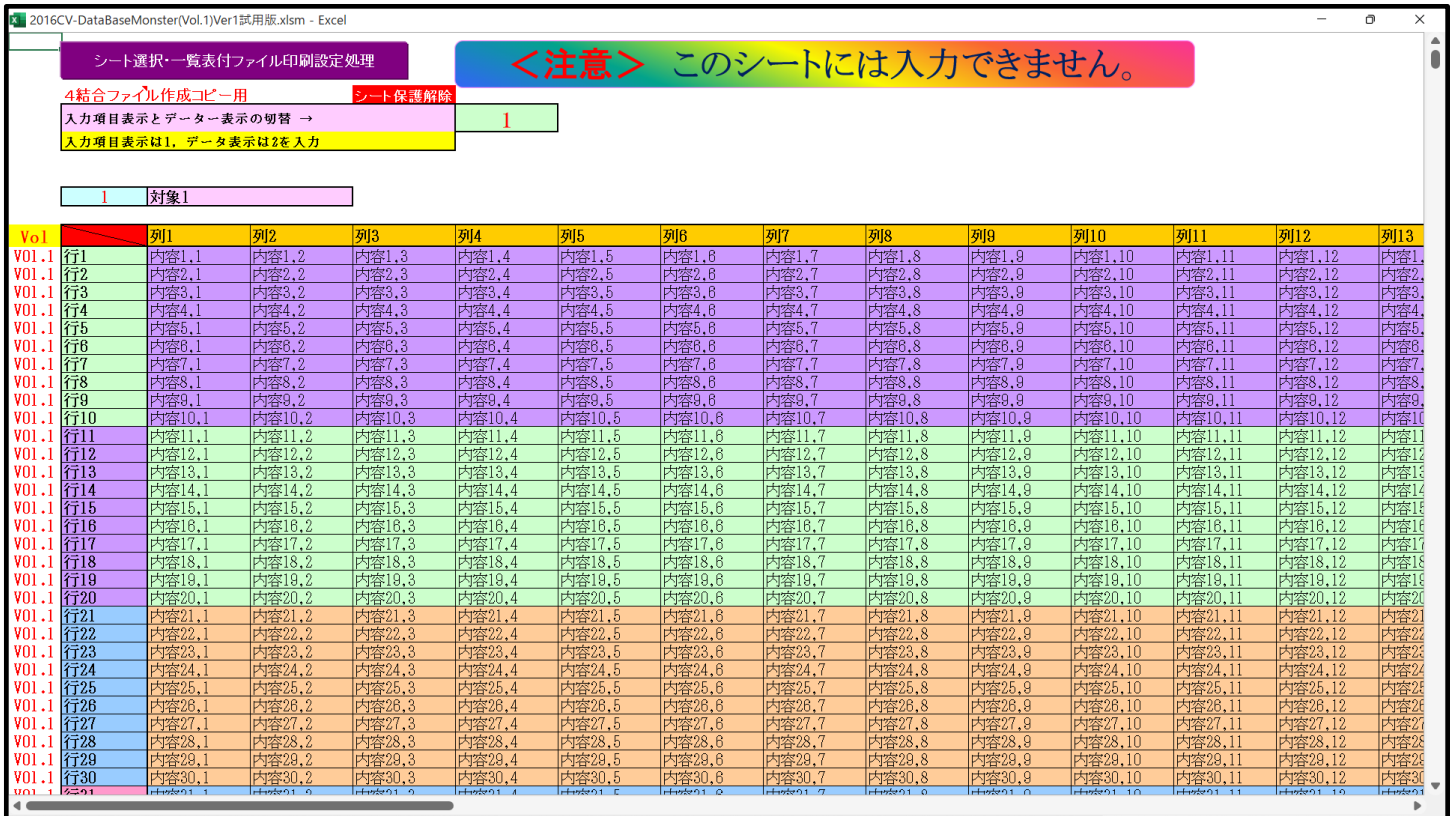
と変更してみます。

まず、

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

のワークシート「4 結合ファイル作成コピー用」が選択されて、次の[図 1 1 9]の画面になっていたとします。

[図 1 1 9]



この場合全画面表示になっていますので、上の[図 1 1 9] の画面のコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリックしてユーザーフォームを立ち上げると次の

[図 1 2 0]の画面が表示されます。

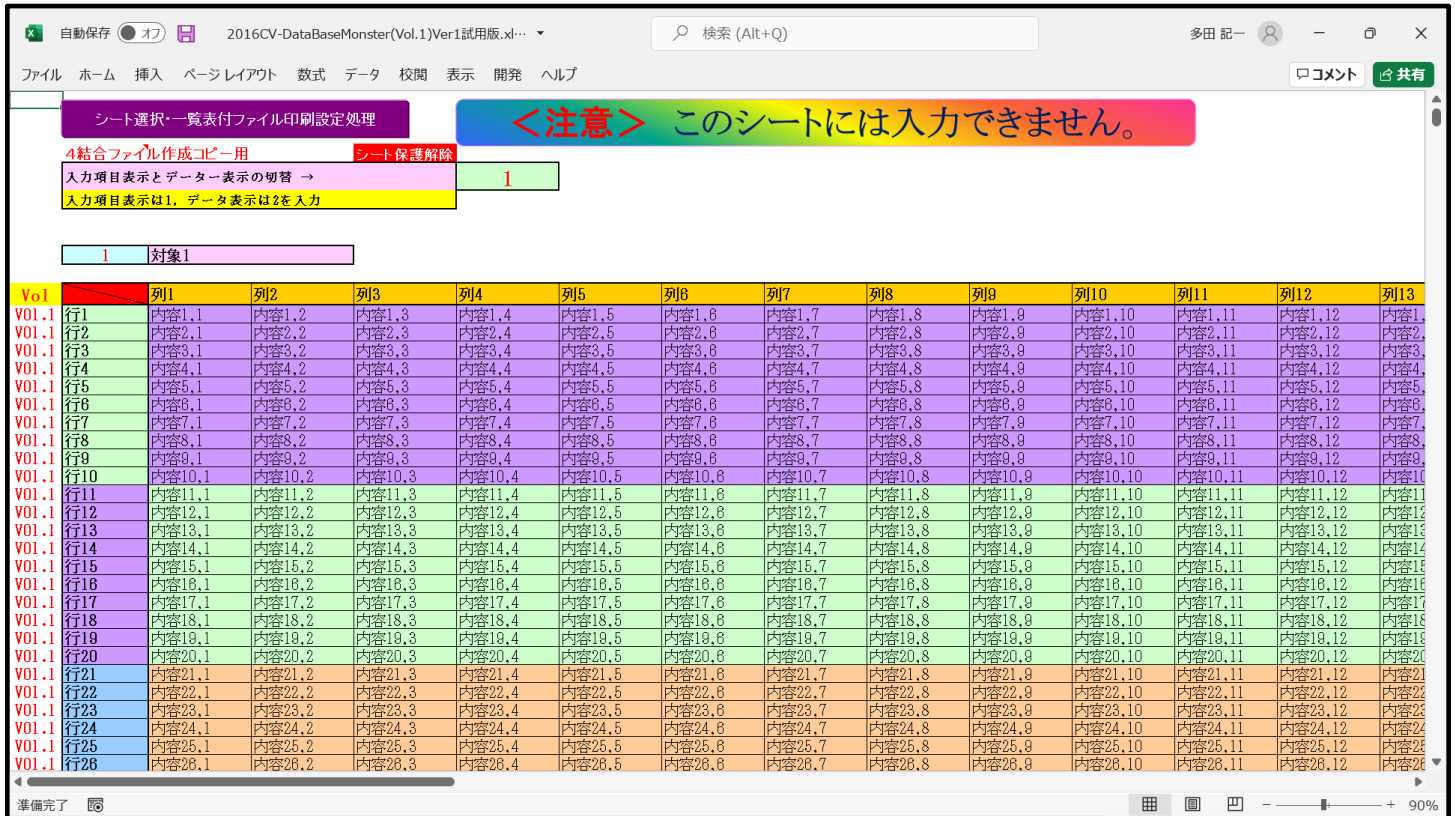
[図 1 2 0]



標準画面表示

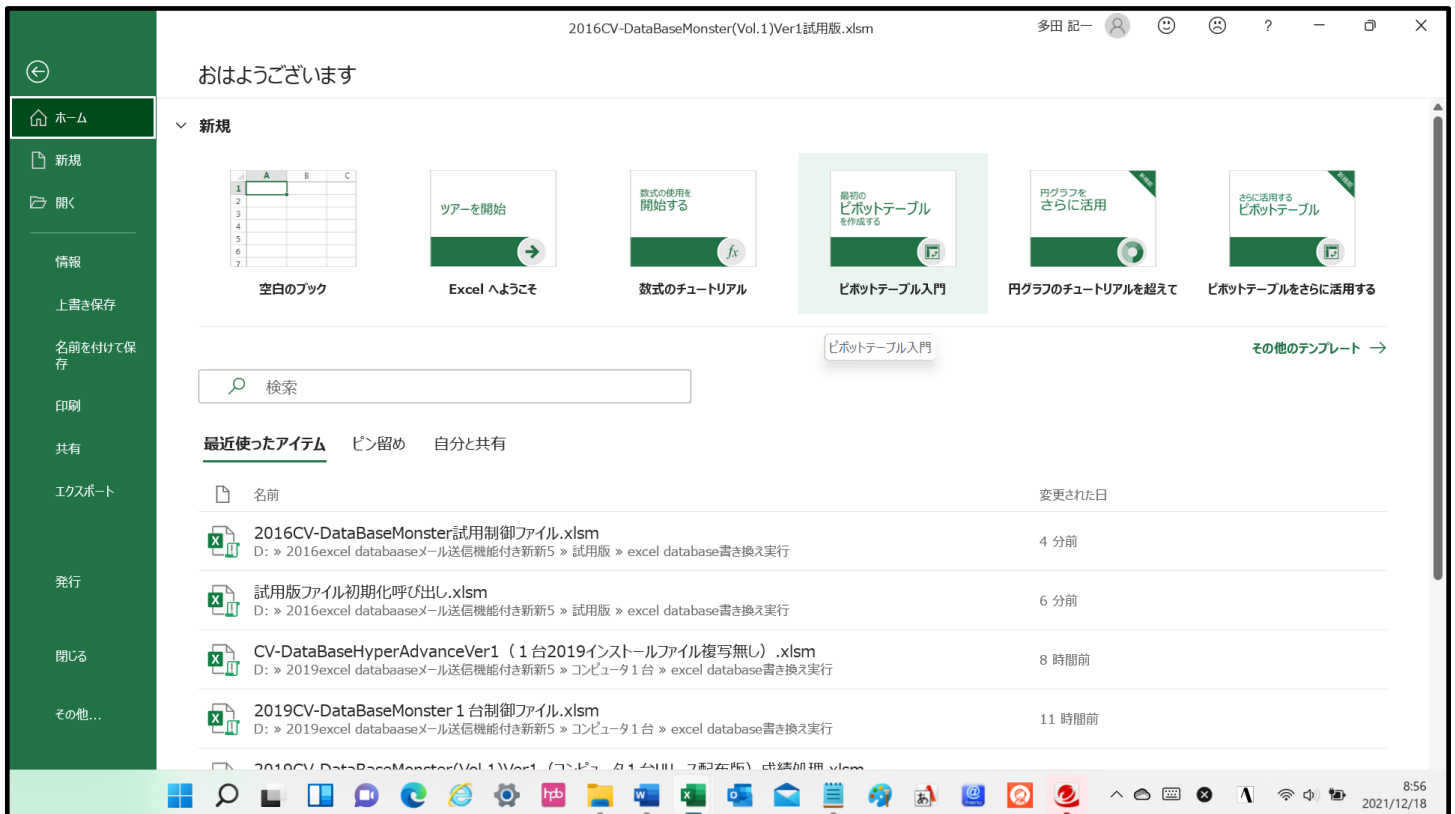
上の[図120]の画面のコマンドボタンをクリックすると、下の[図121]の画面のようになります。

[図121]



ここで、上の[図121]の画面の左上の「ファイル」をクリックすると、下の[図122]の画面のようになります。

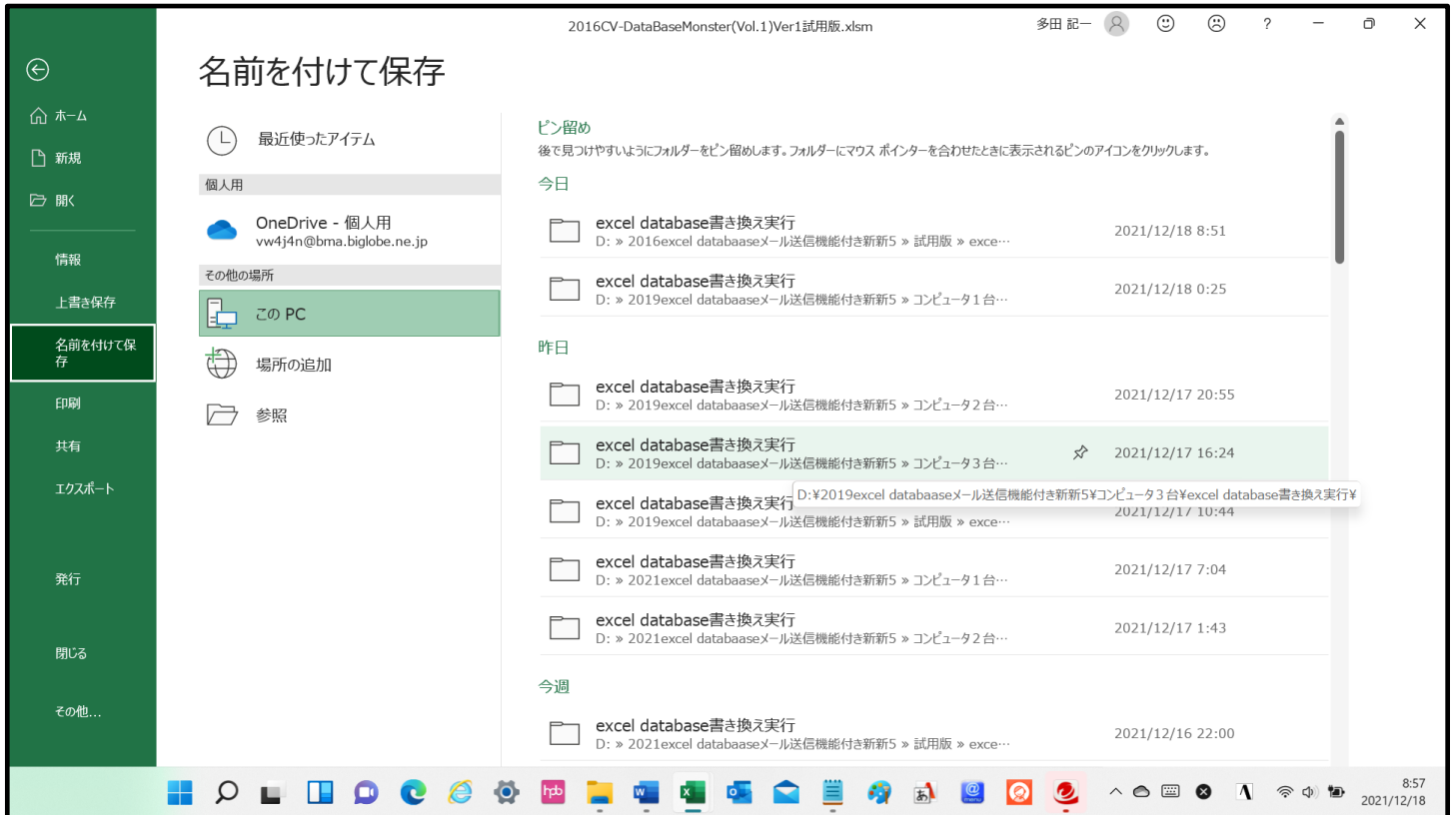
[図122]



名前を付けて保存

上の[図 1 2 2]の画面の左側のメニューを選択すると、下の[図 1 2 3]画面になります。

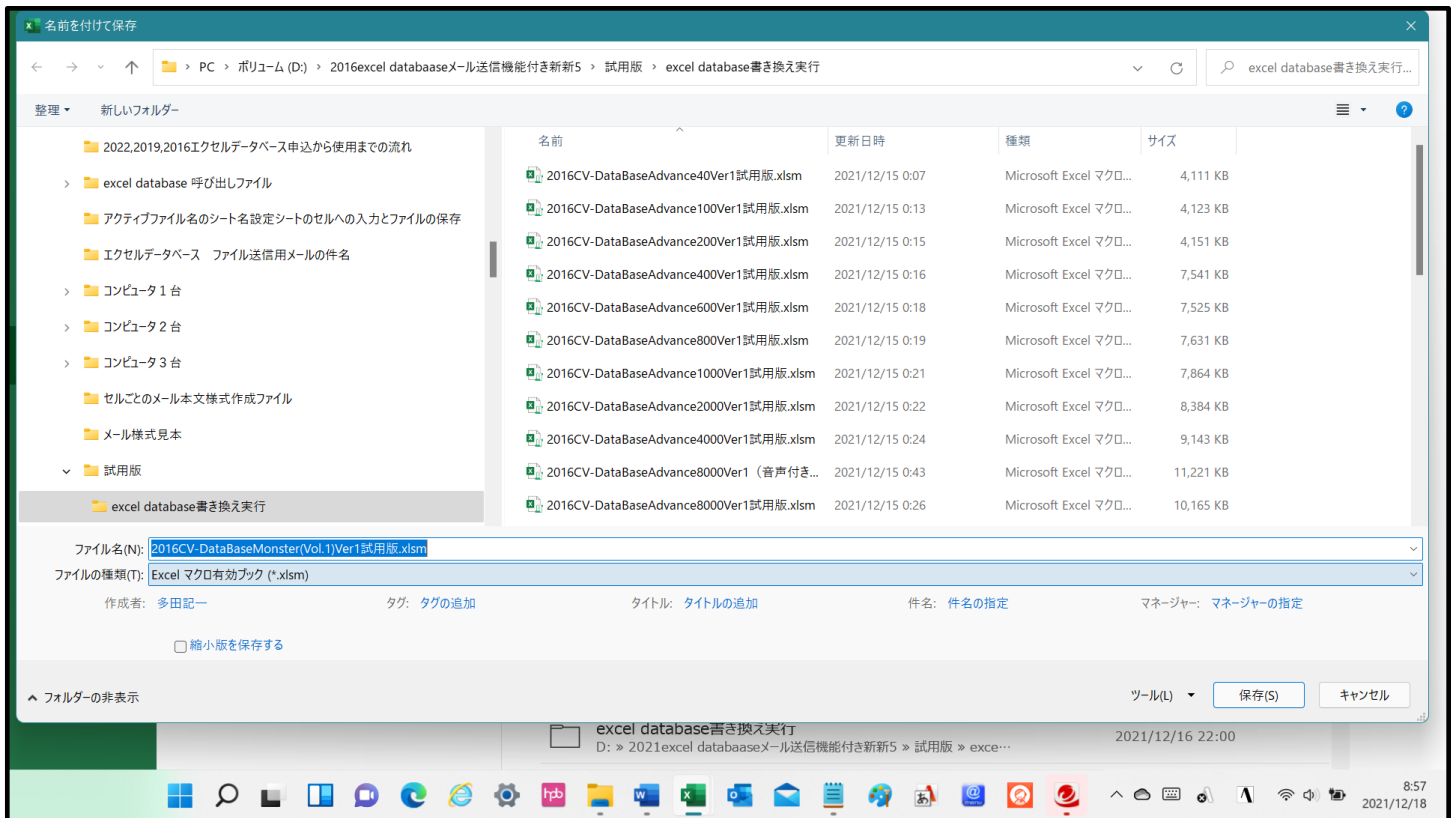
[図 1 2 3]



上の[図 1 2 3]の画面の左下側の参照をクリックすると現在開いているファイル

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のフォルダーが表示されて次の[図 1 2 4]の画面になります。

[図 1 2 4]



上の[図 1 2 4]の画面でファイル名を

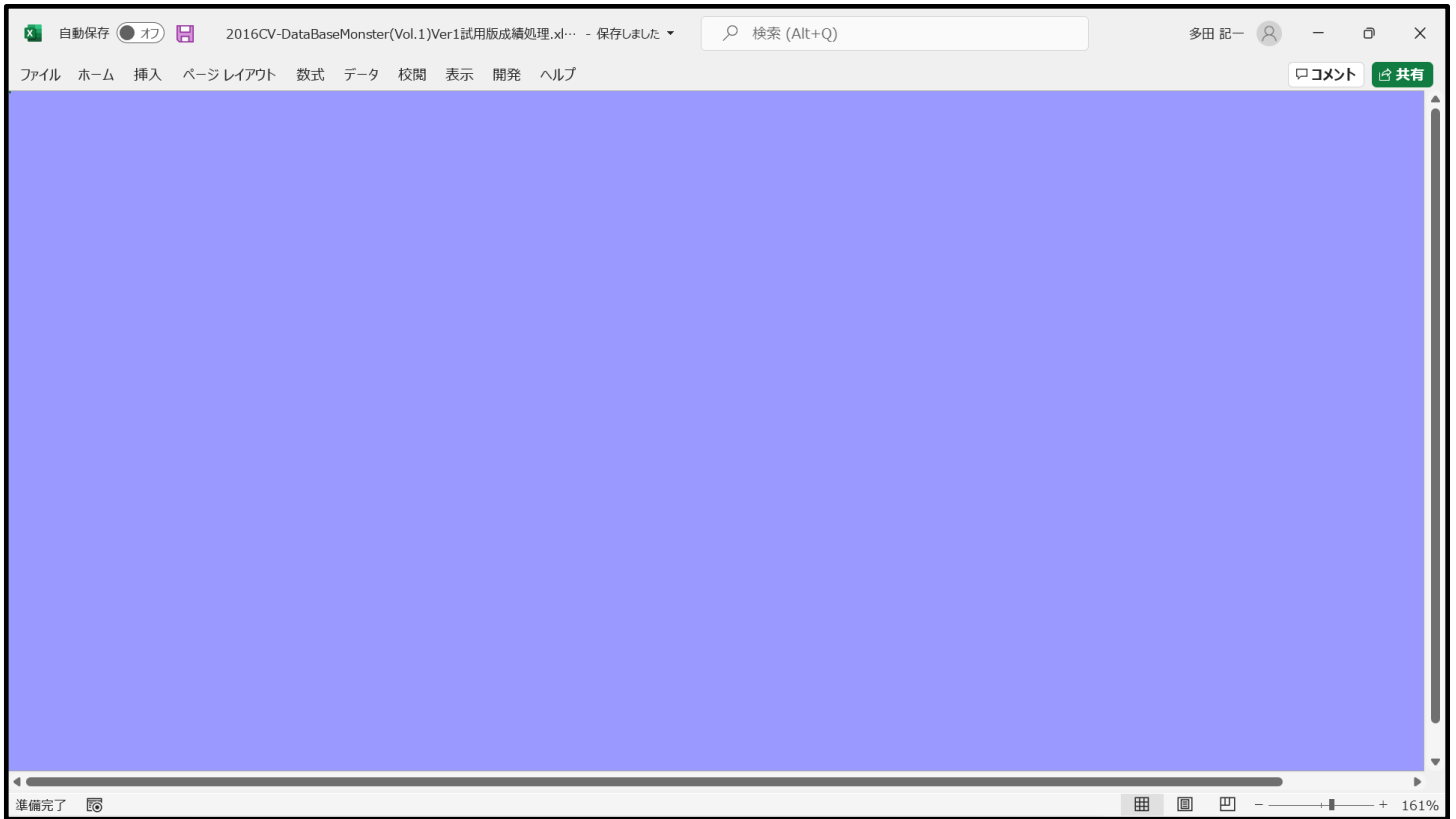
「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

から

「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

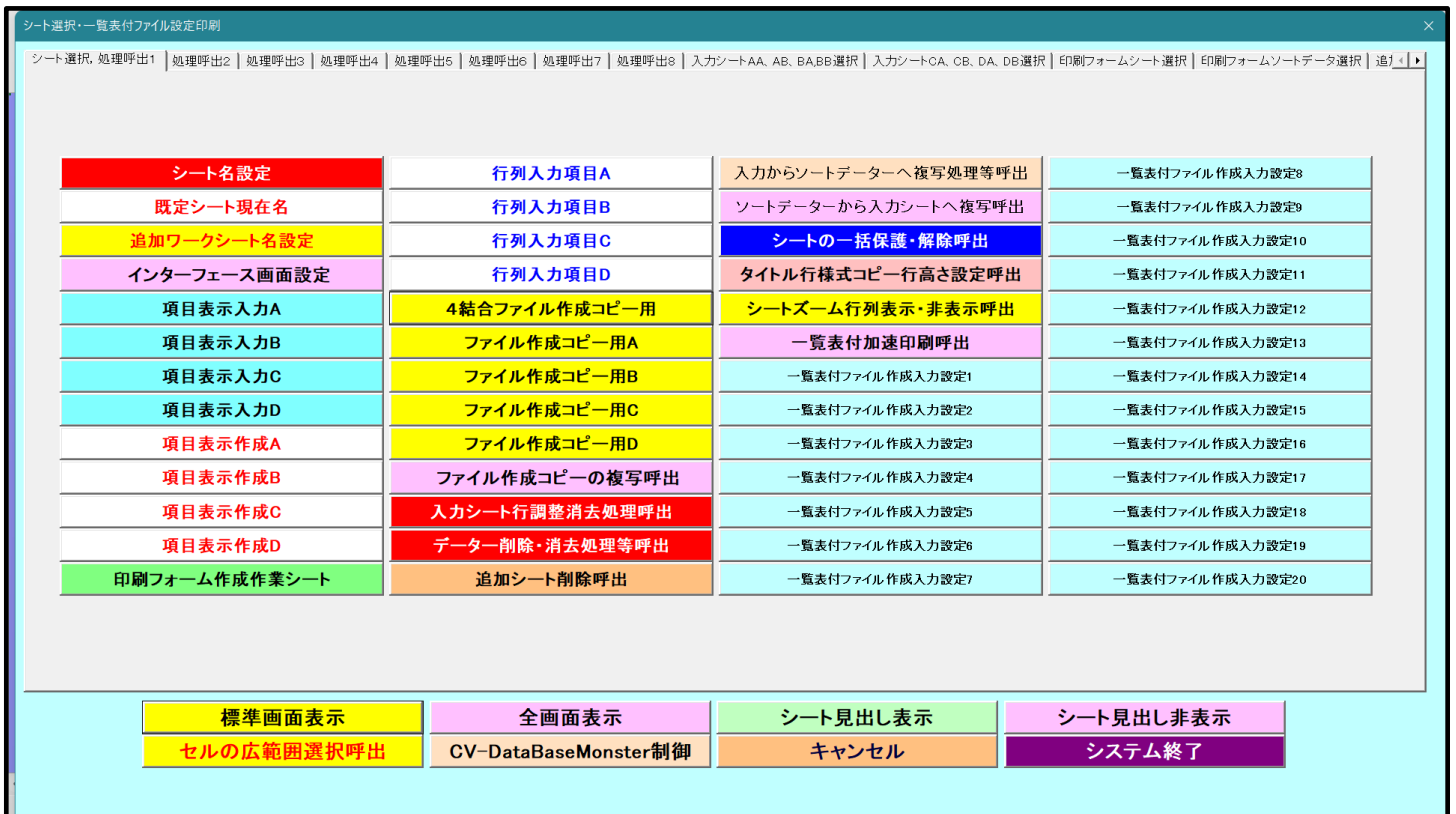
に書き換え、下側の **保存(S)** をクリックすると保存が開始されます。保存が終了すると、保存したファイルのワークシート「無地画面」が選択されて、下の[図 1 2 5]の画面ようになります。

[図 1 2 5]



更にここで、上の[図 1 2 5]の画面であるワークシート「無地画面」の任意のセルをダブルクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」が起動し、下の[図 1 2 6]の画面が表示されます。

[図 1 2 6]



次に、上の[図 1 2 6]の画面でコマンドボタン **シート名設定** をクリックし、

ワークシート「シート名設定」を選択すると次の[図 1 2 7]の画面となります。

[図 1 2 7]

シート名設定

<注意> 変更するシート等の名前を入力した後は、直ちに上の「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理」をクリックし、名前変更に対応したコマンドボタンを必ずクリックするかまたはシートのシート名変更NOの該当のセルを必ずダブルクリックして下さい。これを怠るとプログラムが誤作動し、システムが破壊される恐れがあります。
また、同じ名前や空白を入力した場合及びシート名が無入力状態の場合もシステムが壊れる恐れもありますのでくれぐれもご注意ください。
なお、「保護セル」のコメントが付いているセルには入力出来ませんのでご承知おき下さい。

NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名・インターフェースボタン名	NO	シート名
1	シート名設定	51	入力AB3	101	入力DA3	151	印刷フォーム1
2	項目表示入力A	52	入力AB4	102	入力DA4	152	印刷フォーム2
3	項目表示入力B	53	入力AB5	103	入力DA5	153	印刷フォーム3
4	項目表示入力C	54	入力AB6	104	入力DA6	154	印刷フォーム4
5	項目表示入力D	55	入力AB7	105	入力DA7	155	印刷フォーム5
6	項目表示作成A	56	入力AB8	106	入力DA8	156	印刷フォーム6
7	項目表示作成B	57	入力AB9	107	入力DA9	157	印刷フォーム7
8	項目表示作成C	58	入力AB10	108	入力DA10	158	印刷フォーム8
9	項目表示作成D	59	入力BA1	109	入力DB1	159	印刷フォーム9
10	行列入力項目A	60	入力BA2	110	入力DB2	160	印刷フォーム10
11	行列入力項目B	61	入力BA3	111	入力DB3	161	印刷フォーム11
12	行列入力項目C	62	入力BA4	112	入力DB4	162	印刷フォーム12
13	行列入力項目D	63	入力BA5	113	入力DB5	163	印刷フォーム13
14	一覧表付ファイル作成入力設定1	64	入力BA6	114	入力DB6	164	印刷フォーム14
15	一覧表付ファイル作成入力設定2	65	入力BA7	115	入力DB7	165	印刷フォーム15
16	一覧表付ファイル作成入力設定3	66	入力BA8	116	入力DB8	166	印刷フォーム16
17	一覧表付ファイル作成入力設定4	67	入力BA9	117	入力DB9	167	印刷フォーム17
18	一覧表付ファイル作成入力設定5	68	入力BA10	118	入力DB10	168	印刷フォーム18
19	一覧表付ファイル作成入力設定6	69	入力BE1	119	印刷フォーム1	169	印刷フォーム19
20	一覧表付ファイル作成入力設定7	70	入力BE2	120	印刷フォーム2	170	印刷フォーム20
21	一覧表付ファイル作成入力設定8	71	入力BE3	121	印刷フォーム3	171	印刷フォーム21
22	一覧表付ファイル作成入力設定9	72	入力BE4	122	印刷フォーム4	172	印刷フォーム22
23	一覧表付ファイル作成入力設定10	73	入力BE5	123	印刷フォーム5	173	印刷フォーム23
24	一覧表付ファイル作成入力設定11	74	入力BE6	124	印刷フォーム6	174	印刷フォーム24
25	一覧表付ファイル作成入力設定12	75	入力BE7	125	印刷フォーム7	175	印刷フォーム25
26	一覧表付ファイル作成入力設定13	76	入力BE8	126	印刷フォーム8	176	印刷フォーム26
27	一覧表付ファイル作成入力設定14	77	入力BE9	127	印刷フォーム9	177	印刷フォーム27
28	一覧表付ファイル作成入力設定15	78	入力BE10	128	印刷フォーム10	178	印刷フォーム28
29	一覧表付ファイル作成入力設定16	79	入力CA1	129	印刷フォーム11	179	印刷フォーム29
30	一覧表付ファイル作成入力設定17	80	入力CA2	130	印刷フォーム12	180	印刷フォーム30

ここで、上の[図 1 2 7]の画面におけるコマンドボタン

シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理

をクリック

して、再びユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル設定印刷」を起動させると次の[図 1 2 8]の画面になります。

[図 1 2 8]



そして、ここで必ずやっていただきたいことは、上の[図 1 2 8]の画面の下側にあるコマンドボタン

CV-DataBaseMonster制御

をクリックしてファイル「2016CV-DataBaseMonster 3 台制御

ファイル.xlsm」を選択していただきたいということです。これを怠ると、以後、ファイル「2016CV-DataBaseMonster 3 台制御ファイル.xlsm」を用いて変更後のファイルを含めて、現在開かれている「2016CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイル呼び出し、一旦「2016CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルを保存して閉じても、再びファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を用いて「2016CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルを開いたり呼び出す等の処理ができなくなります。

上でファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」のファイル名を変更し、

「2016 CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm」とするやり方を説明しましたが、他の3つのファイル

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
 のファイル名を変更する場合は、上で説明させていただいたファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

のファイル名を変更し、
 「2016 CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm」とするプロセスを、ファイル名を変更する各ファイルでおこなっていただきたいと思います。
 なおこの場合、

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」
 のファイル名も変更して
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版成績処理.xlsm」
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版成績処理.xlsm」
 ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版成績処理.xlsm」

としておくとうろしいかと思ひます。

次に2つ目のご注意いただきたい点を述べさせていただきます。ファイルを閉じ、保存する場合のことです。ファイルを閉じ、保存する場合、必ずファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」を介しておこなってください。この際の具体的な操作を示します。

「2016CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルの4個のうちのだの

ファイルのだのシート各ワークシートにも、コマンドボタン **シート選択・一覧表付ファイル印刷設定処理** が配置されており、このコマンドボタンをクリックすると、ユーザーフォーム「シート選択・一覧表付ファイル印刷設定」が起動し、次の[図129]のような画面になります。ただし、この画面はタブ「シート選択・処理呼出1」が選択されている状況です。

[図129]



CV-DataBaseMonster制御

上の[図129]の画面のコマンドボタン **CV-DataBaseMonster制御** をクリックすると、ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」のワークシート「呼出ファイル」が表示され、次の[図130]の画面のようになります。

[図 1 3 0]

処理呼び出しボタン

呼び出しファイルのドライブ・ディレクトリー及びファイル名		
区 分	DriveDirectory	FileName
CVDBMonsterVol.1	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新6ヶ月試用版excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm
CVDBMonsterVol.2	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新6ヶ月試用版excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.3	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新6ヶ月試用版excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterVol.4	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新6ヶ月試用版excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm
CVDBMonsterControl	D:\2016excel databaseメール送信機能付き新新6ヶ月試用版excel database書き換え実行	2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm
CVDBMonsterシステム名	2016CV-DataBaseMonster 試用版	

処理呼び出しボタン

この画面のコマンドボタンをクリックするとユーザーフォーム「シート選択処理」が起動し、次の[図 1 3 1]の画面のようになります。ただし、[図 1 3 1]の画面ではタブ「システムファイルの閉閉」が選択されています。

[図 1 3 1]

処理・シート選択

システムファイルの閉閉 | CV-DataBaseMonsterの選択 | 制御ファイルのシート選択 | システムの一括処理

- 2021/12/18 9:04:29 -

2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm を開く
2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm を開く
2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm を開く
2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm を開く
2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版成績処理.xlsm を閉じる
2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm を閉じる
2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm を閉じる
2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm を閉じる

上記ファイル(2016CV-DataBaseMonster 試用版 Vol.1~4) 全てをを開く
システムの保存・非保存の選択をして閉じる
システムを保存して閉じる

ユーザーフォーム を閉じる	CV-DataBaseMonster 制御ファイルを保存しないで閉じる	CV-DataBaseMonster 制御ファイルを保存して閉じる
標準画面表示	全画面表示	シート見出し表示
		シート見出し非表示

「2016CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルのいずれかのファイルの名前を変更して閉じる場合は、上の[図 1 3 1]の画面でコマンドボタン

システムを保存して閉じる

をクリックして、すべての「2016CVDataBaseMonsterVer1 試用版」のセットファイルを保存して閉じてください。なお、保存後はファイル名を変更した元のファイルは削除してフォルダー内を整理しておきましょう。

最後にご注意いただきたいことは、マクロの関係で、

ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」
のファイル名は絶対に変更しないでください。

5 個のファイル

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster 試用制御ファイル.xlsm」

あるいは、上側の 4 個のファイル名を変更した後、相互間に設定したマクロが正常に機能しなくなるからです。

なお、ファイル

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.1)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.2)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.3)Ver1 試用版.xlsm」

ファイル「2016CV-DataBaseMonster(Vol.4)Ver1 試用版.xlsm」

のいずれかのファイル名を変更した場合には、他のファイルについてもファイル名を変更してください。